

---

# 生徒ワークショップ 結果資料

---

木次中学校建設事業 木次中学校整備基本計画策定支援業務

テーマ① 問題点・改善点の把握

テーマ2 キーワードの選択

株式会社 教育施設研究所 広島事務所

---

# 目次

01	ワークショップのテーマ決めの背景	_____	P1
02	各テーマの作業内容（当日の進行資料より）	_____	P1
03	進行表・会場レイアウト	_____	P1
04	結果・まとめ（テーマ①）	_____	P2
05	結果・まとめ（テーマ②）	_____	P26
06	画像生成 AI	_____	P41
07	撮影写真	_____	P43
08	総括	_____	P50

※本資料の一部分に生徒の顔が映っている写真があるため、**取り扱い注意**でお願いいたします。

## 01 ワークショップのテーマ決めの背景

### ■ワークショップの目的

木次中学校の建て替えに関する意向調査票にて、「教室」や「トイレ」、「図書室」について、改善を求める意見が多く集まりました。改善すべき点の中には、実際のユーザーの声を聞かないと意見反映できないアイデアやイメージがあるため、これらの室に対するユーザー意見の深掘りを行う必要があります。

また、既存校舎の改善点の深掘りだけでなく、学校づくり（設計）の大切なキーワードに対する生徒のアイデアやイメージを把握し、今後の設計作業へ反映することも大切です。

生徒ワークショップでは、実際のユーザーである木次中学校の生徒（2年生）や教職員を対象に、新しい木次中学校の「教室」や「トイレ」、「図書室」のイメージをキーワードと補足イメージを用いながら意見聴取を行い、基本計画へ反映させることを目的とします。

### ■テーマについて

本ワークショップは、テーマ①「問題点・改善点の把握」とテーマ②「キーワードの選択」の計2つのテーマを設定しています。テーマ設定の意図を下図にまとめます。

#### テーマ① 「問題点・改善点の把握」

作業の概要：生徒が現状の問題点・改善点を把握する。

意図：意向調査票で聞いた問題点をより深掘する。

資料① 問題点・改善点シート（トイレ） 2025/6/18 生徒ワークショップ資料

	1階：入り口	2階：床	3階：大浴場・個室	4階：小浴場
出典画像				
出典画像			自由記述	自由記述
出典画像				

**作業シート**

#### テーマ② 「キーワードの選択」

作業の概要：学校づくり（設計）で重要なキーワードを3つ選ぶ。

意図：生徒にキーワードを選んでもらい、生徒が大切に思うことを把握すること。

資料② キーワード選択シート（トイレ） 2025/6/18 生徒ワークショップ資料

色・素材・デザイン		トイレの機能	
<b>キーワード1</b> ▶ 自然なツインカラーとした、清潔感のあるデザイン 	<b>キーワード2</b> ▶ 木の色を使用した自然な雰囲気のあるデザイン 	<b>キーワード3</b> ▶ 水まわりの機能について ▶ 手洗い ▶ 洗い水が出る ▶ 節電できる ▶ フェンレット機能 	<b>キーワード4</b> ▶ パブリックデザインについて ▶ たくれもトイレがある ▶ すり付きの壁紙 
<b>キーワード5</b> ▶ 男子・女子共用の手洗いがあ 		<b>キーワード6</b> ▶ トイレの近くにベンチがある 	
<b>その他</b> 			

**作業シート**

## 02 各テーマの作業内容（当日の進行資料より）

具体的な各テーマの作業内容については、別途資料「当日の進行資料」へまとめる。

## 03 進行表・会場レイアウト

具体的な内容については、別途資料「生徒 WS 進行表・会場レイアウト図」へまとめる。

## 04 結果・まとめ (テーマ①) - トイレ まとめ (概要) -







■ トイレ 問題点・改善方法のまとめ (概要版のため、重要な箇所のみ掲載。生徒が書いた付箋のコメントについて、適宜言い換えや補足説明を行い掲載。)

番号	問題点	改善方法
1番：入り口	・トイレの中が見える	・扉やカーテンをつける
	・入り口や手洗いスペースがせまく、暗い	・広くする ・照明を増やす
	・換気扇の騒音	—
	・入るときにだんさがある	—
2番：床	・床がぬれていたら転ぶ	・ショッピングモールのような床 (乾式床) にする
	・ポコポコで引っかかる	—
	・清潔感がない	—
	・床がダサい	—
	・スリッパへの履き替えが手間	・スリッパをなくす (上足でトイレへ入れるようにする)
3番：大便器・個室	・便器の数が少ない	・大便器の数を増やす
	・個室 (トイレブース) のサイズが小さい	・個室の広くする
	・和式便器が多い (洋式便器が少ない)	・和式便器の廃止 ※特に女子はスカートが床につくため、衛生面でも問題が生じている
	・個室 (トイレブース) の鍵が閉まりにくい	—
	・紙巻器が位置が使いづらい位置に設置されている	—
	・掃除がしづらい	—
4番：小便器	・小便器のサイズが小さい	・小便器を大きくする、長くする
	・仕切り板が小さい	・仕切り板を大きくする、長くする
	・小便器の数が少ない	・便器の追加
	・小便器の間隔が狭い	・小便器の間隔をあげる、小便器間に入一人分が入れるくらいの間隔
	・小便器の数とスリッパの数が合っていない	・スリッパを増やす
5番：手洗い	・手洗いの数が少ない	・手洗いの数を増やす
	・鏡が小さい	・鏡の面積を広くする
	・電気を点けても暗い	・照明を明るくする
	・手洗いの間隔が狭い	・鏡の面積を広くする、鏡を横長にし10人くらい映るものにする
	・石鹸置き (洗面台) が狭く、洗面台の上の物が落ちそうになる	・石鹸を置くスペースをつくる
6番：多目的トイレ	・便器が小さい	・大きくする
	—	・便器が奥まった場所に配置されているため入り口に近づける
	・内装のデザインが良くない	—
自由記述 (新出の内容のみ)	・日当たりの悪さ	・窓を大きく設置する
	・トイレの臭さ	・消臭剤を増やす
	—	・木でつくる

04 結果・まとめ (テーマ①) - トイレ 作業シート -

資料① 問題点・改善点シート (トイレ)

2025/6/18 生徒ワークショップ資料

問題点				
改善方法				
問題点				
改善方法				

04 結果・まとめ (テーマ①) - トイレ 1番:入り口-

1組グループ

資料① 問題点・改善点シート (トイレ) / 1 1

1番	
問題点	<p>入り口</p> <p>ドアがない ドアがない 中が見える</p> <p>ドアがはく 中が見える。 くさい</p> <p>ふいんをがからい みすを せまたい</p>
改善方法	<p>ドアがない ドアを つける</p> <p>でんをつける</p>
5番	

2組グループ

資料① 問題点・改善点シート (トイレ) / 1 1

1番	
問題点	<p>入り口</p> <p>入り口が せまい 中が見える 中が見えている</p> <p>おる見え 中が見える 中が見えている</p> <p>かえきもかかっている</p>
改善方法	<p>かえき入り口 を広くしてほしい 入り口 せ まくす でんをつける</p> <p>ドアとかカーテン とかをつけてほしい また ドアがほしい ドアがほしい</p> <p>見えにくいにしてほしい</p>
5番	

3組グループ

資料① 問題点・改善点シート (トイレ) / 1 1

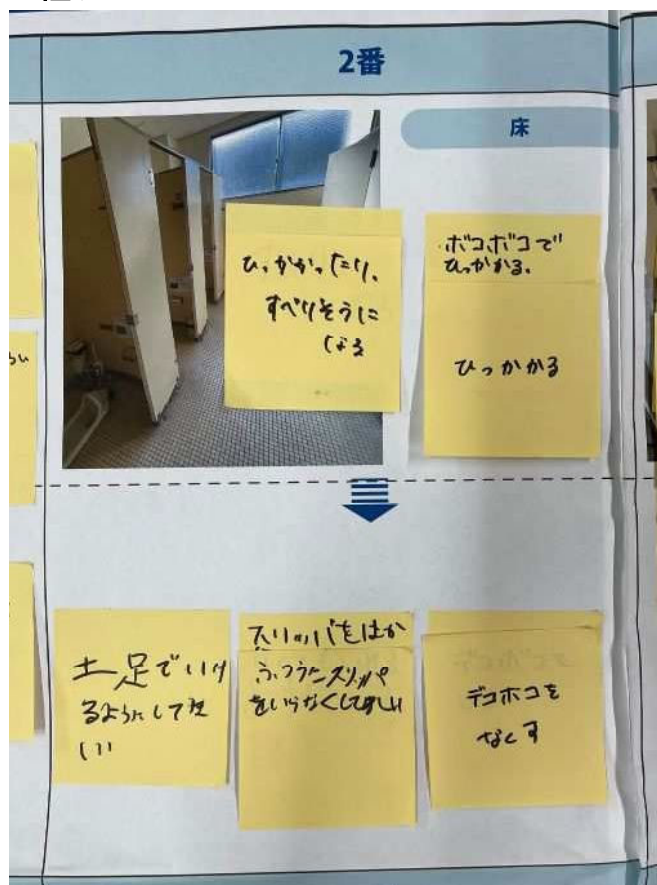
1番	
問題点	<p>入り口</p> <p>入り口が せまい</p> <p>外から 見える</p> <p>スリッパにはきか える所がせまい</p> <p>入るときに だんさがある</p>
改善方法	<p>入り口開く お</p> <p>ドアをつける</p>
5番	

**概要** 「 」内は付箋コメントの内容 (一部言い換えや省略有り)

- ・「トイレの中が見える」という問題点に対し、「扉やカーテンをつける」という改善方法が多く見られた。
- ・「入り口や手洗いスペースがせまく、暗い」という問題点に対し、「広くする、照明を増やす」という改善方法が多く見られた。
- ・その他、「換気扇の騒音」や「入るときにだんさがある」について指摘が見られた。

## 04 結果・まとめ (テーマ①) - トイレ 2番: 床 -

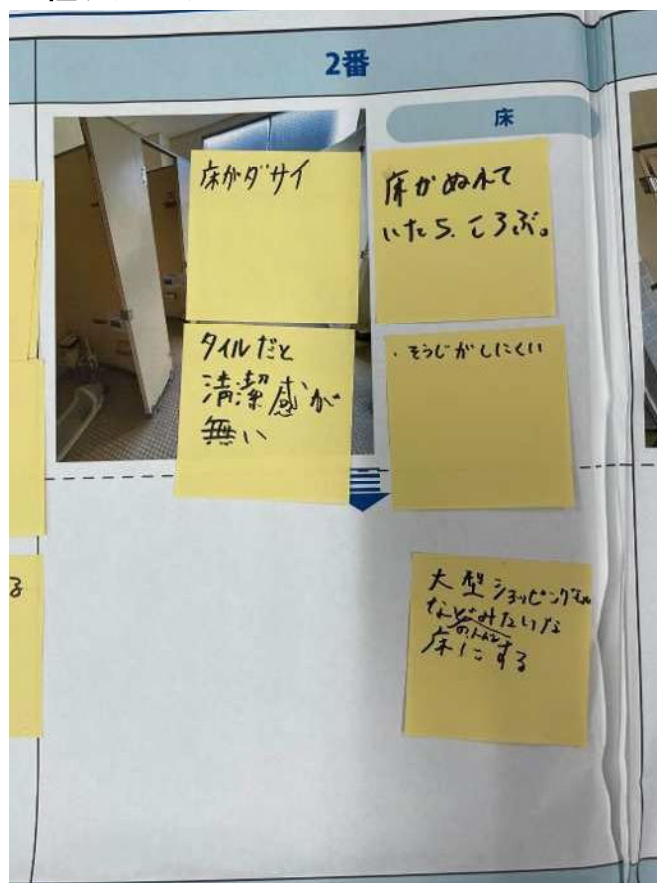
### 1組グループ



### 2組グループ



### 3組グループ

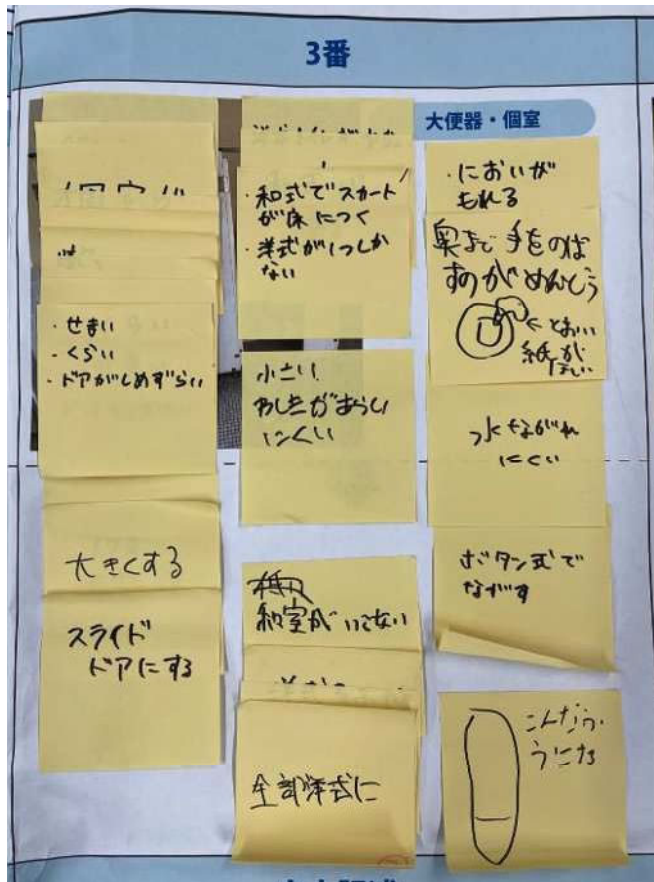


**概要** 「 」内は付箋コメントの内容 (一部言い換えや省略有り)

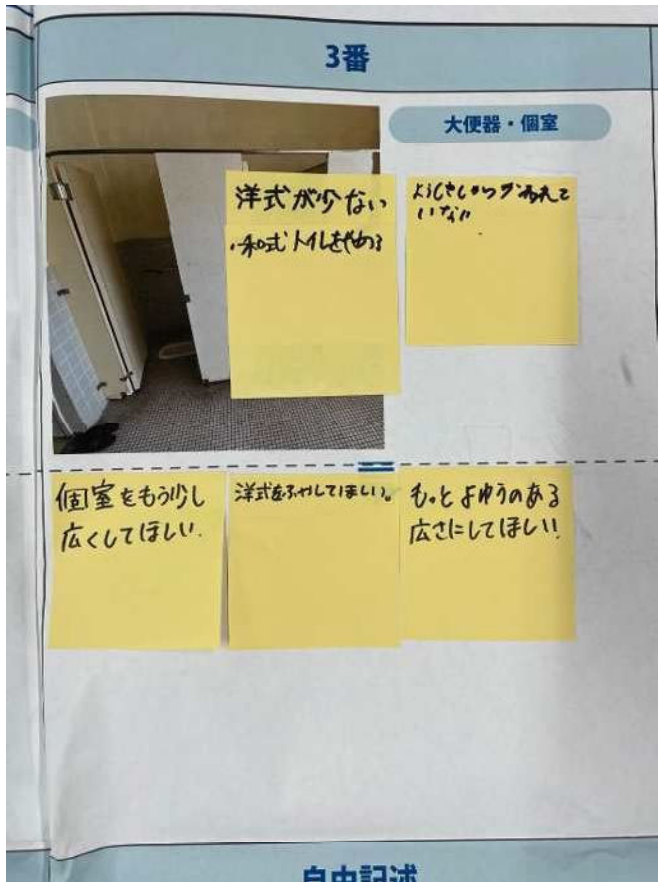
- ・「床がぬれていたら転ぶ、ポコポコで引っかかる」という問題点に対し、「ショッピングモールのような床(乾式床)にする」という改善方法が多く見られた。
- ・「清潔感がない」、「床がダサイ」、「スリッパへの履き替えが手間」という問題点が見られた。

04 結果・まとめ (テーマ①) - トイレ 3番：大便器・個室 -

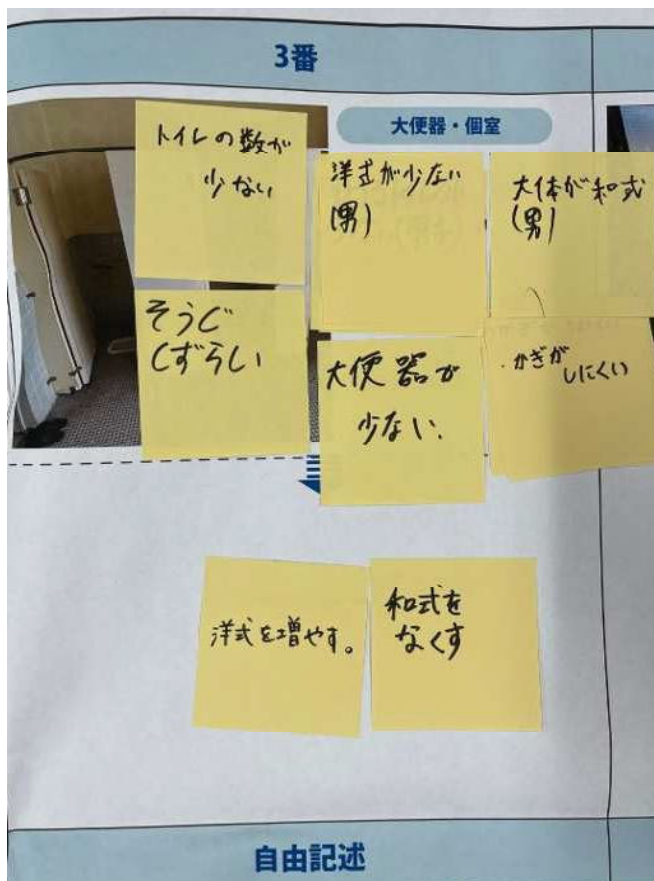
1組グループ



2組グループ



3組グループ

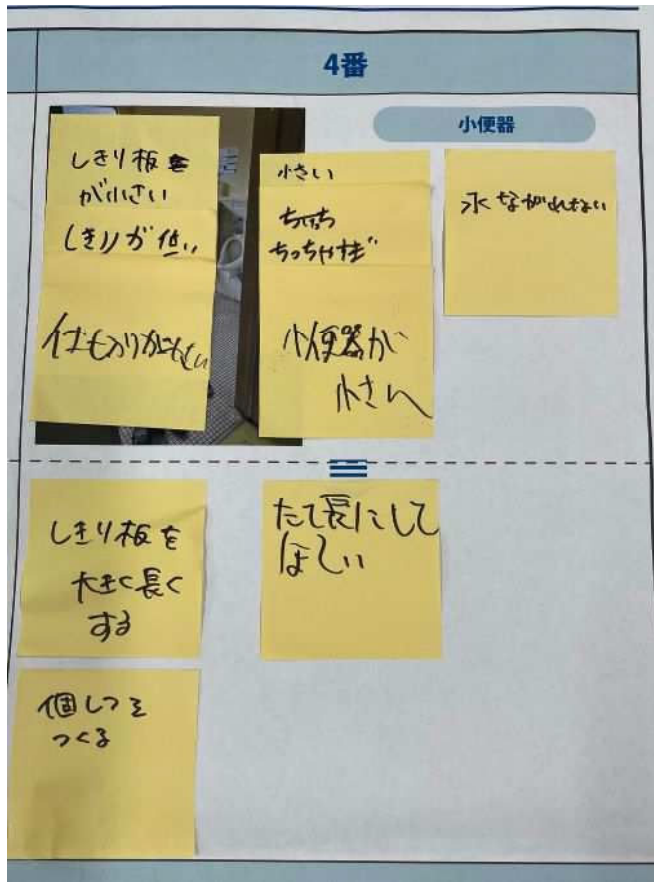


**概要** 「 」内は付箋コメントの内容 (一部言い換えや省略有り)

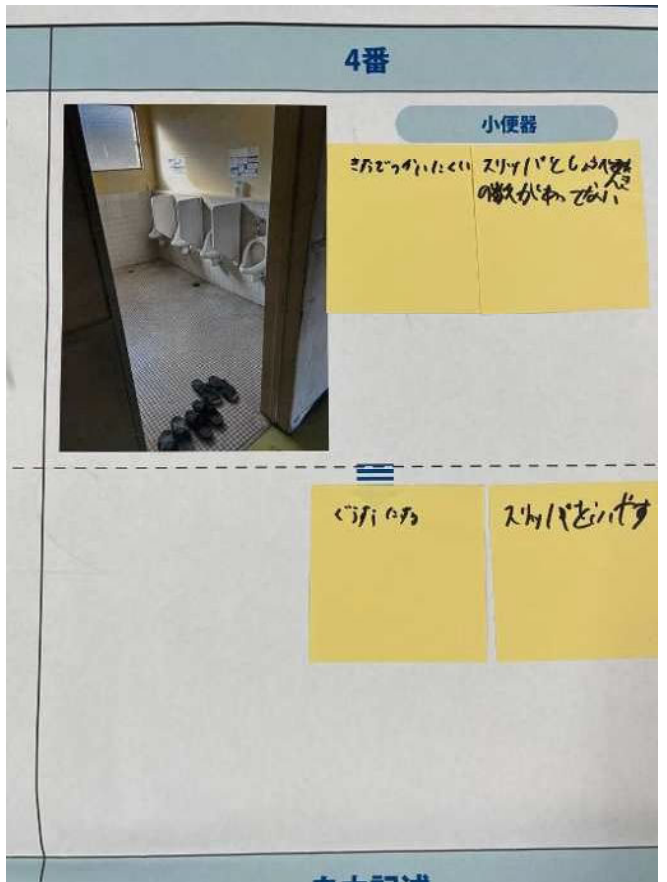
- ・「便器の数が少ない、個室 (トイレブース) のサイズが小さい」という問題点が多く見られ、改善方法として「大便器の数を増やす、個室の広くする」といった意見が見られた。
- ・「和式便器が多い (洋式便器が少ない)」という問題点に対し、「和式便器の廃止」という改善方法が多く見られた。※特に女子はスカートが床につくため、衛生面でも問題が生じている。
- ・その他、「個室 (トイレブース) の鍵が閉まりにくい」や「紙巻器が位置が使いづらい位置に設置されている」といった現状の便器まわりの不便さや、「掃除がしづらい」といった問題点が見られた。

04 結果・まとめ (テーマ①) - トイレ 4番：小便器 -

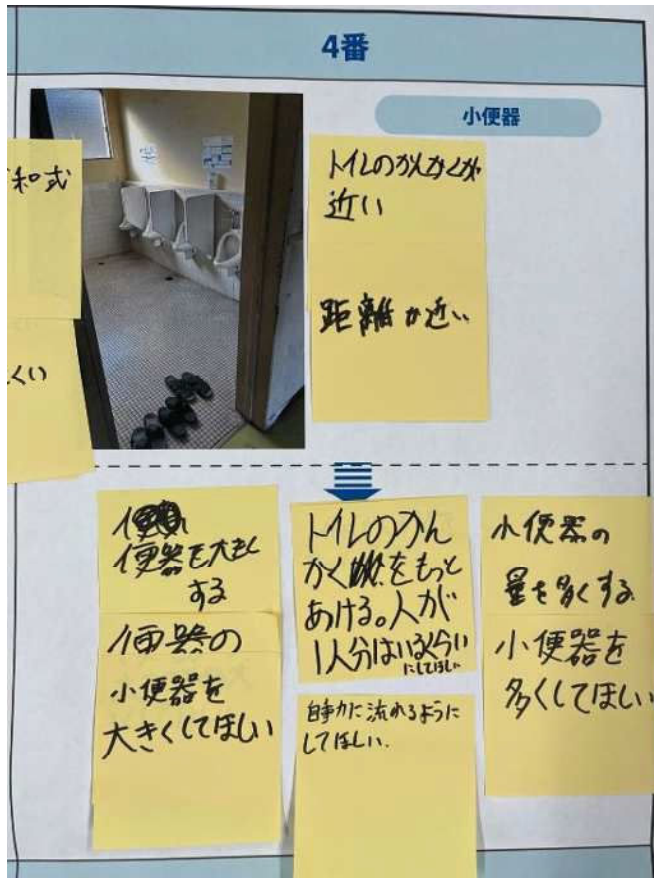
1組グループ



2組グループ



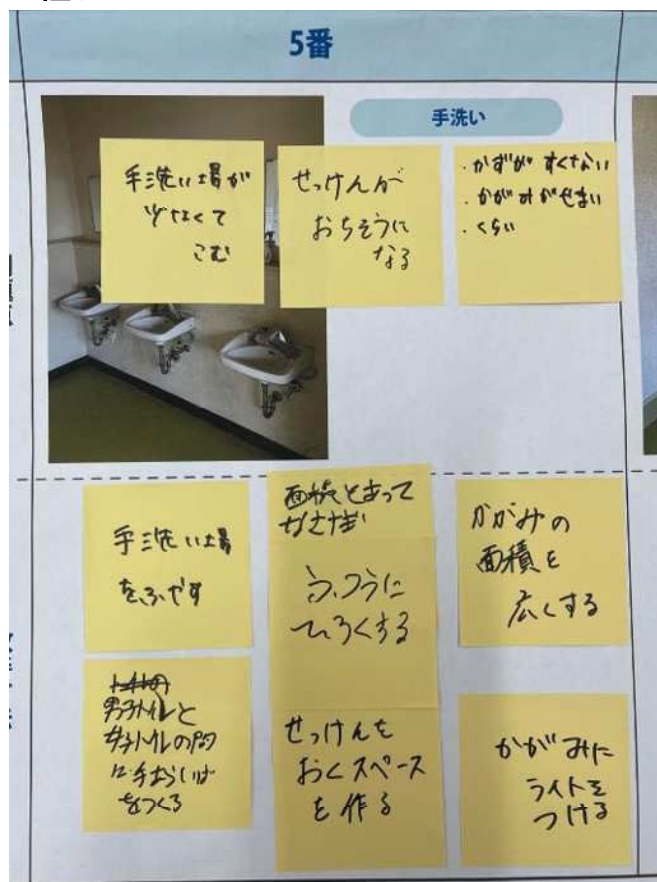
3組グループ



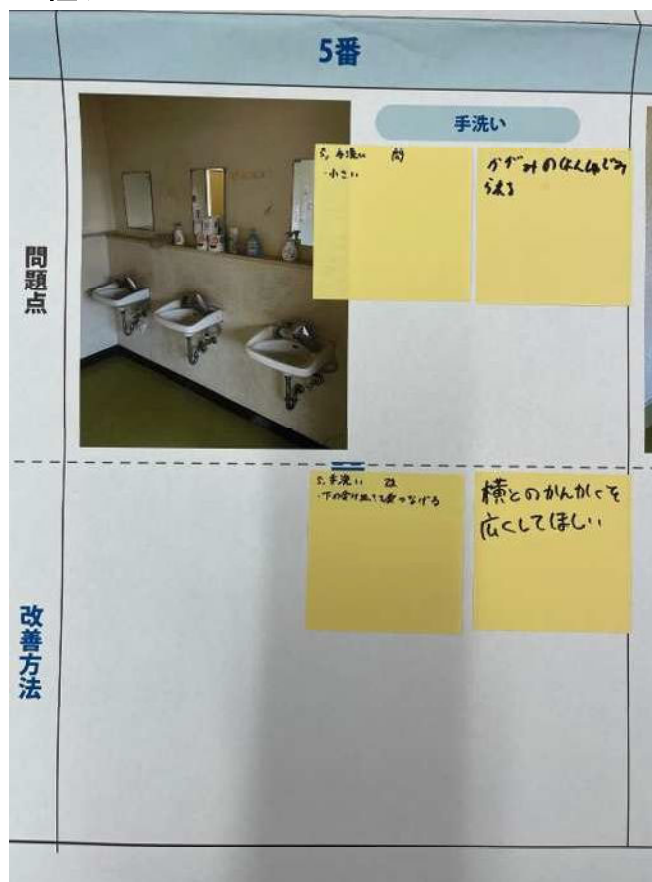
- 概要** 「 」内は付箋コメントの内容 (一部言い換えや省略有り)
- ・「小便器のサイズが小さい、仕切り板が小さい」という問題点が多く見られ、改善方法として「小便器、仕切り板共通で大きくする」という意見が見られた。
  - ・「小便器の数が少ない」という問題点に対し、「小便器の追加」という改善方法が見られた。
  - ・その他、「小便器の間隔が近い」や「小便器の数とスリッパの数が合っていない」といった問題点が見られた。

## 04 結果・まとめ (テーマ①) - トイレ 5番：手洗い -

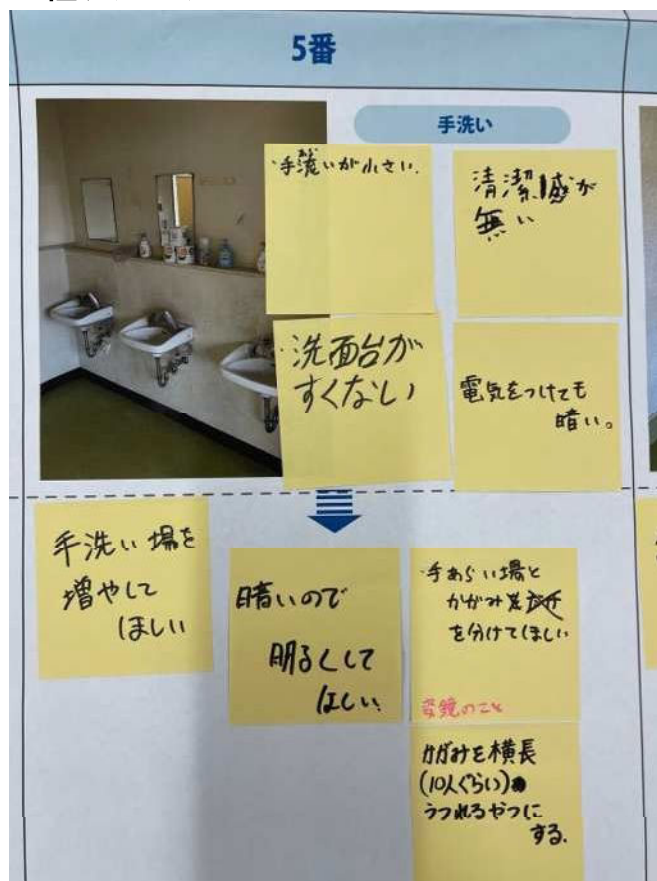
### 1組グループ



### 2組グループ



### 3組グループ



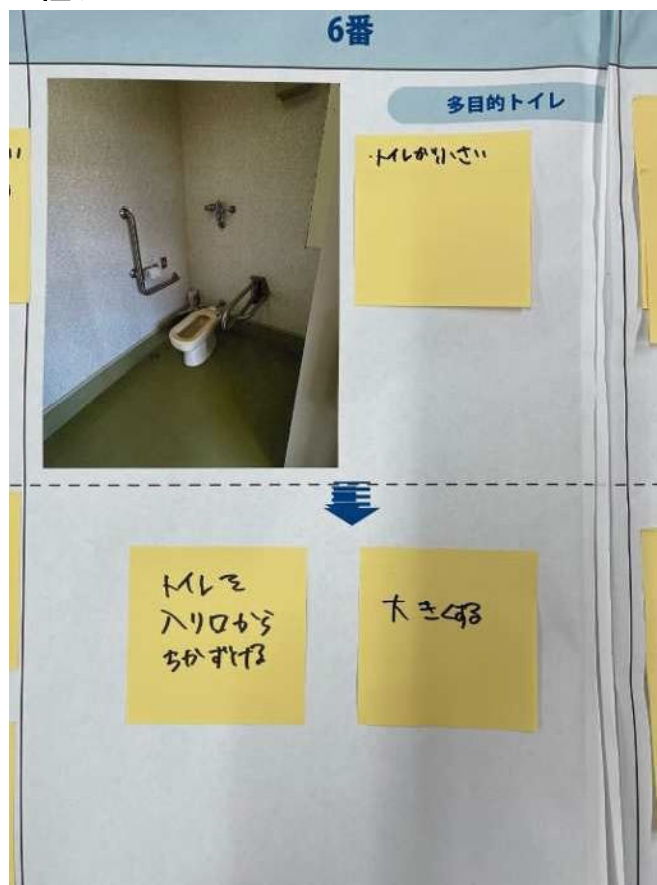
### 概要

「 」内は付箋コメントの内容（一部言い換えや省略有り）

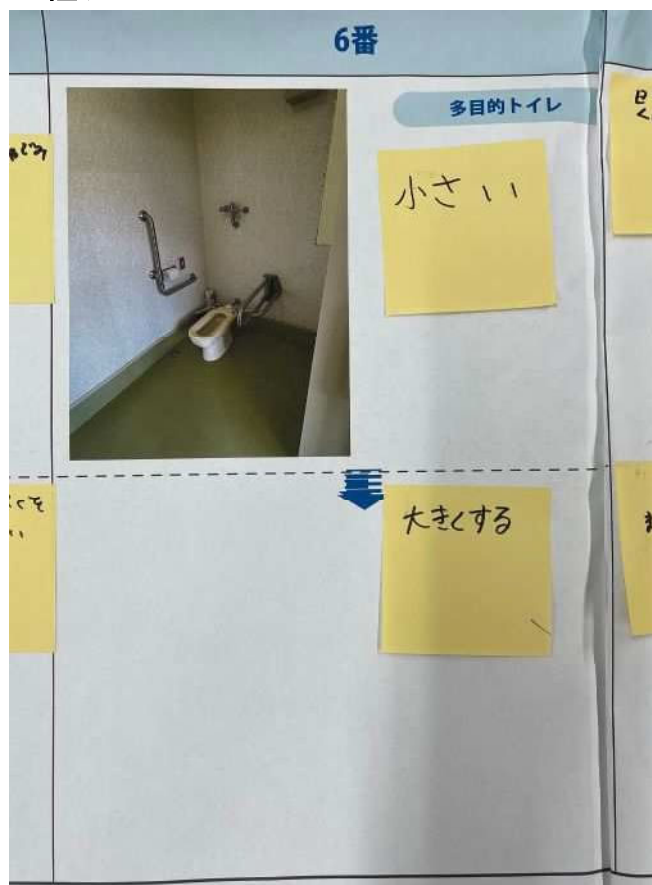
- ・「手洗いの数が少ない、鏡が小さい」という問題点が多く見られ、改善方法として「手洗いの数を増やす、鏡の面積を広くする」という意見が見られた。
- ・「電気を点けても暗い」という問題点が多く見られ、改善方法として「照明を明るくする」という意見が見られた。
- ・その他、「手洗いの間隔が狭い」や「石鹸置き（洗面台）が狭く、洗面台の上の物が落ちそうになる」といった問題点が見られた。

04 結果・まとめ (テーマ①) - トイレ 6番：多目的トイレ -

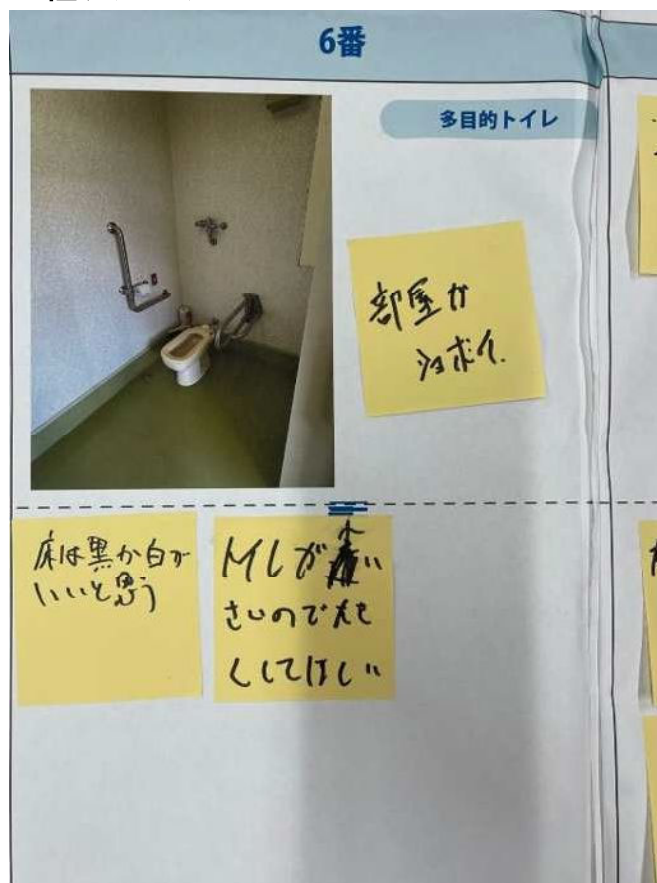
1組グループ



2組グループ



3組グループ

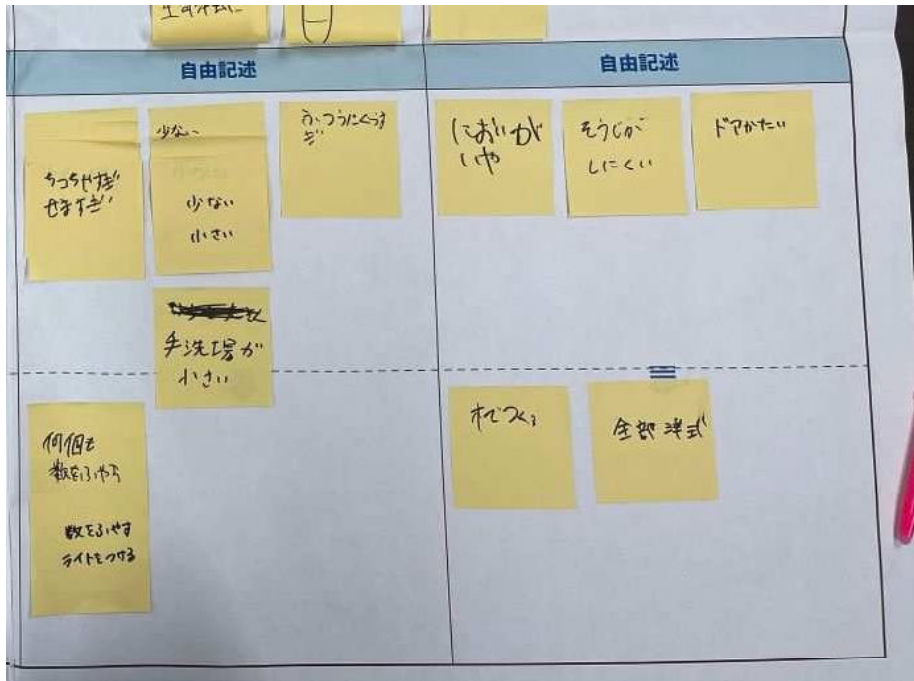


**概要** 「 」内は付箋コメントの内容（一部言い換えや省略有り）

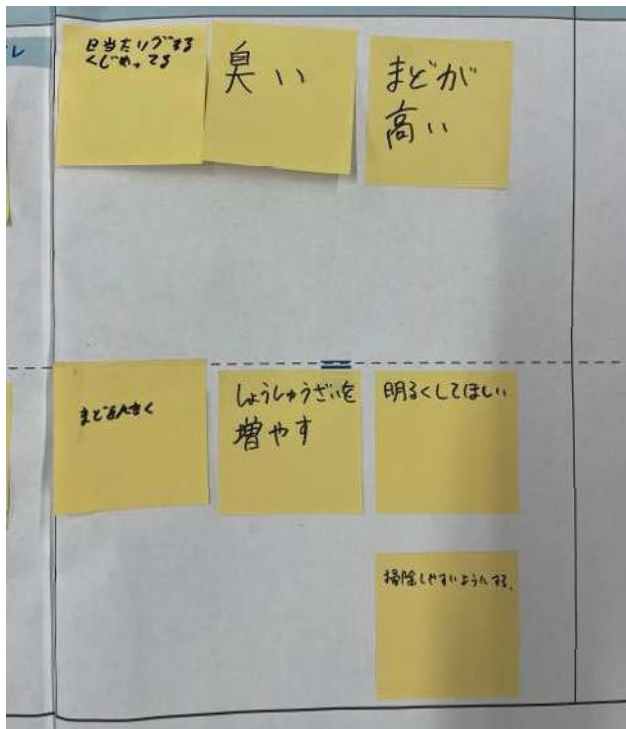
- ・「便器が小さい」という問題点が多く見られ、改善方法として「大きくする」という意見が見られた。
- ・その他、「便器が奥まった場所に配置されているため入り口に近づける」や「内装のデザインが良くない」といった意見が見られた。

## 04 結果・まとめ (テーマ①) - トイレ 自由記述 -

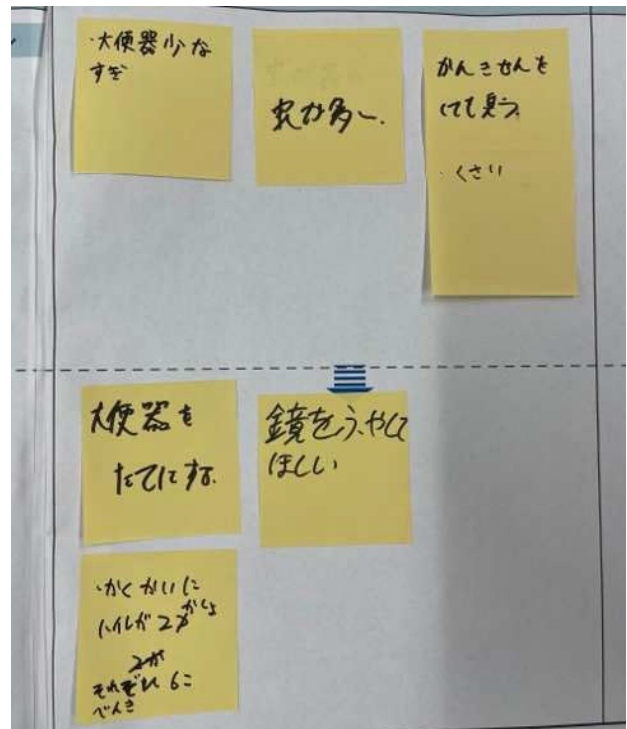
### 1組グループ



### 2組グループ



### 3組グループ



**概要** 「 」内は付箋コメントの内容（一部言い換えや省略有り）

- ・「大便器の小ささ」や「個室の狭さ」といった既出の問題点に加え、トイレ全体の狭さや数の少なさについて意見が見られた。
- ・自由記述での新規要素として、「日当たりの悪さ、トイレの臭さ」といった問題点が見られ、「窓を大きく設置する、消臭剤を増やす」といった改善方法が見られた。
- ・「木でつくる」といった、トイレの木質化についての意見が見られた。

## 04 結果・まとめ (テーマ①) - 図書室 まとめ (概要) -





■ 図書室 問題点・改善方法のまとめ (概要版のため、重要な箇所のみ掲載。生徒が書いた付箋のコメントについて、適宜言い換えや補足説明を行い掲載。)

番号	問題点	改善方法
1番:勉強スペース	・椅子と机の数が少ない	・数を増やす
	・机が狭い	・広くする
	—	・座り心地が悪いため、ソファを設置する
	—	・たたみのような座れる場所が欲しい
	—	・個別で勉強できる机と椅子
2番:本の量	・本の量が少ない	・数を増やす ・本を収納する棚を高くして、収納量を増やす ・みんなが知っている本を増やす
	—	・今でも本の量がちょうど良い
	—	
3番:広さ	・図書室が狭い	・部屋を広くする
4番:本の展示	・どこにどれがあるかわからない	・本の検索機械をおいてほしい、ジャンルごとに分けてほしい
	・一番上の段がとりにくい	・本棚を低くしてほしい
	—	・本の種類を増やしてほしい
	—	・絵本や漫画が欲しい
自由記述 (新出の内容のみ)	・貸し借りスペースが入り口付近あるため、通行の邪魔になる	・貸し借りスペースを奥の方へ設置
	—	・図書室の内装木質化
	・現代の情報を知らない人が多い	・テレビでニュースを流す
	—	・大きな窓が欲しい

04 結果・まとめ (テーマ①) - 図書室 作業シート -

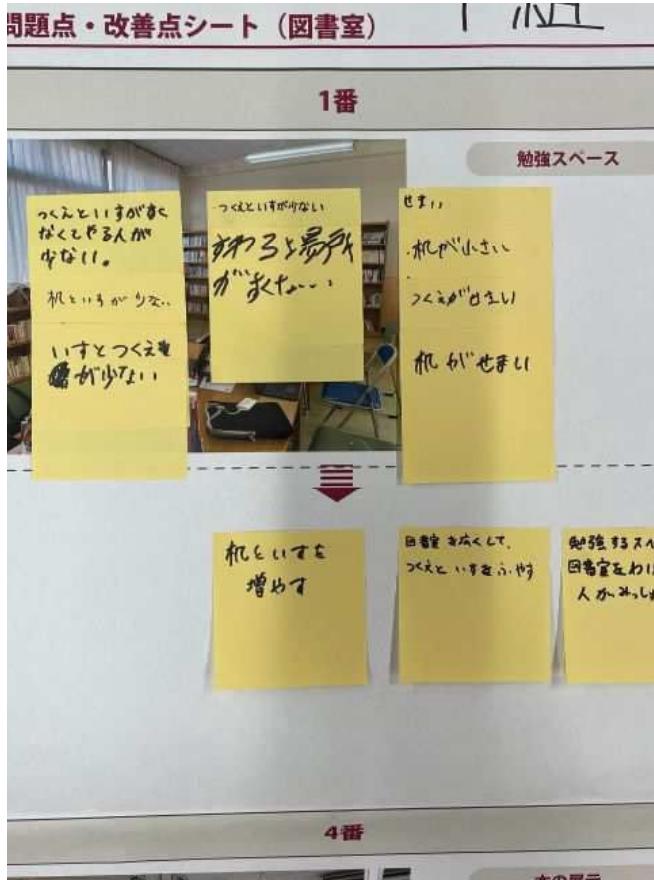
資料① 問題点・改善点シート (図書室)

2025/6/18 生徒ワークショップ資料

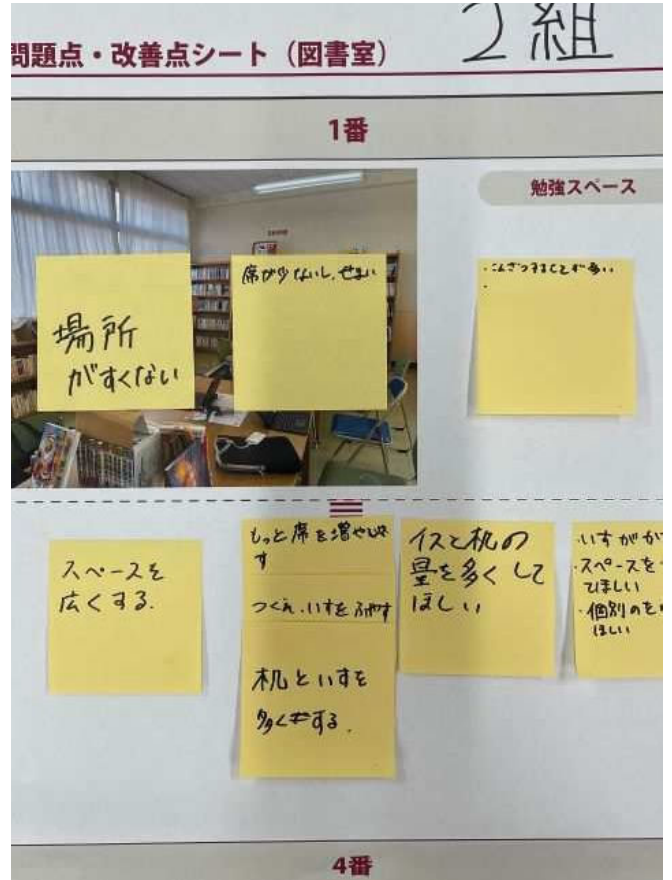
<p>1番：勉強スペース</p> 	<p>2番：本の量</p> 	<p>3番：広さ・ゆとり</p> 
<p>問題点</p>	<p>改善方法</p>	<p>自由記述</p>
<p>問題点</p>	<p>改善方法</p>	<p>自由記述</p>
<p>4番：本の展示</p> 	<p>問題点</p>	<p>改善方法</p>

04 結果・まとめ (テーマ①) -図書室 1番：勉強スペース-

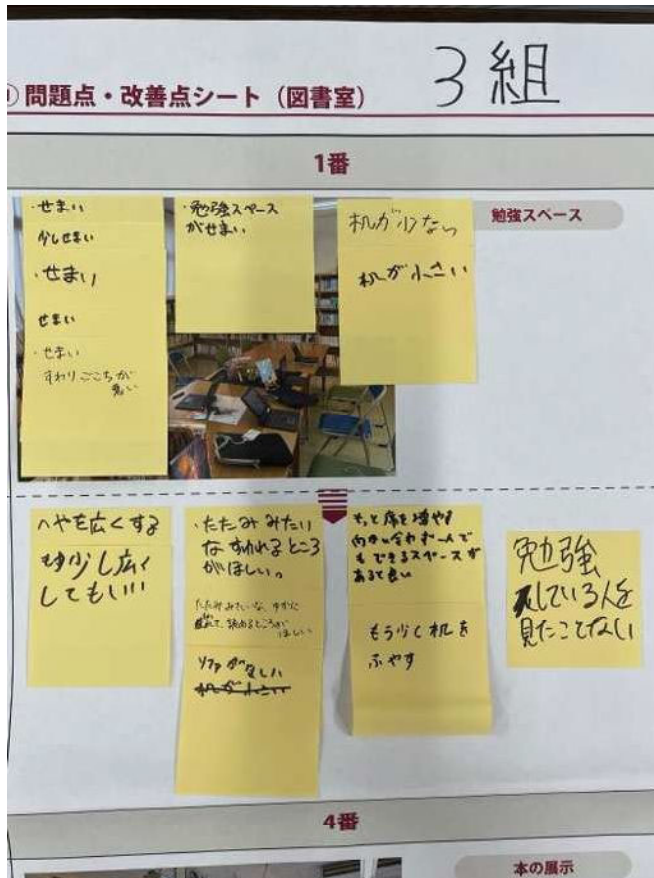
1組グループ



2組グループ



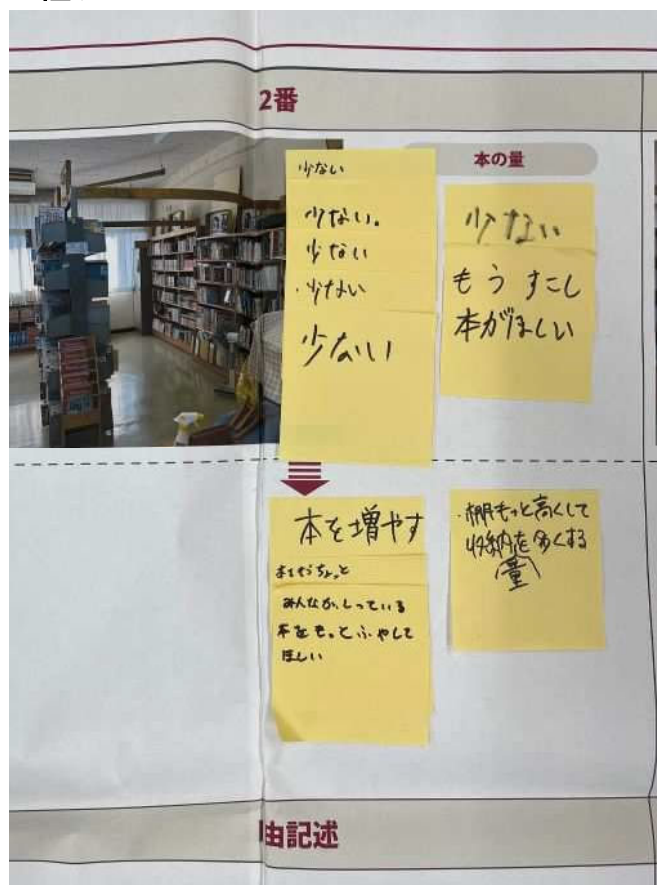
3組グループ



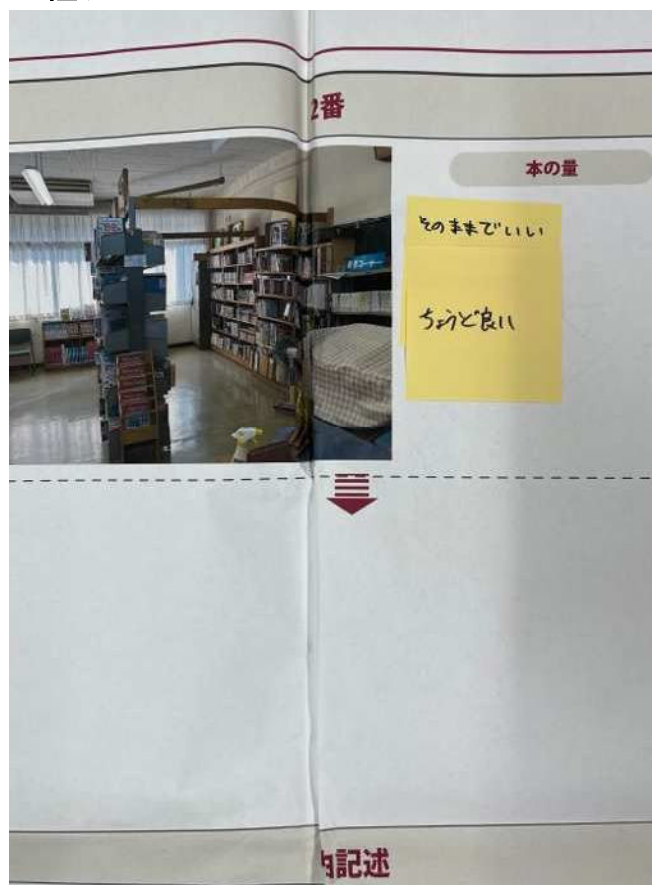
**概要** 「 」内は付箋コメントの内容（一部言い換えや省略有り）

- ・「椅子と机の数が少ない」という問題点が多く見られ、改善方法として「数を増やす」という意見が見られた。
- ・「机が狭い」という問題点が見られ、改善方法として「広くする」という意見が見られた。
- ・その他、「座り心地が悪いため、ソファを設置する」や「たたみのような座れる場所が欲しい」、「個別で勉強できる机と椅子」といった改善方法が見られた。

1組グループ



2組グループ



3組グループ

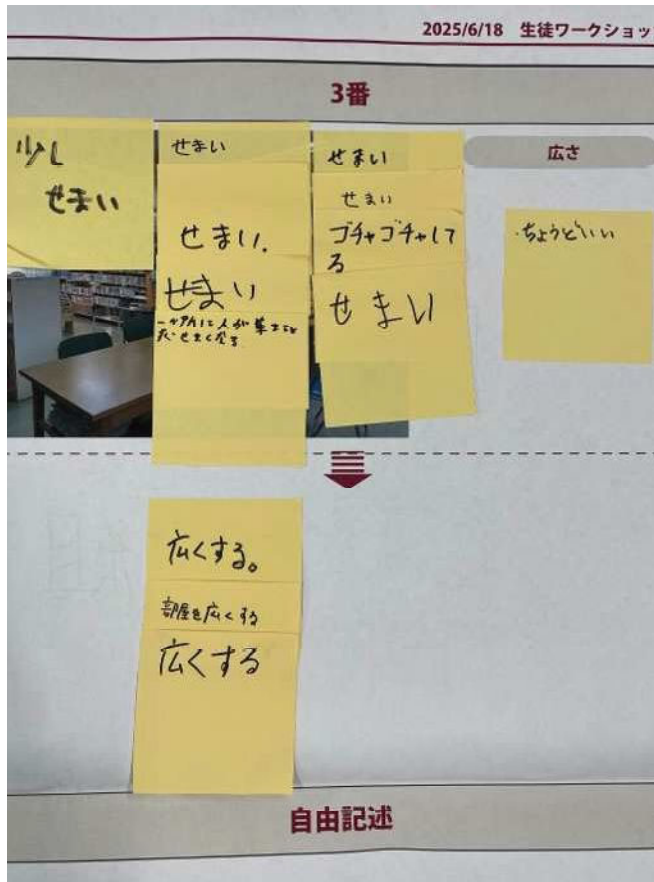


**概要** 「 」内は付箋コメントの内容（一部言い換えや省略有り）

- ・「本の量が少ない」という問題点が多く見られ、改善方法として「数を増やす」という意見が見られた。また、改善方法では「本を収納する棚を高くして、収納量を増やす」や「みんなが知っている本を増やす」といった具体的な意見も見られた。
- ・今でも本の量がちょうど良いという意見も見られた。

04 結果・まとめ (テーマ①) - 図書室 3番：広さ -

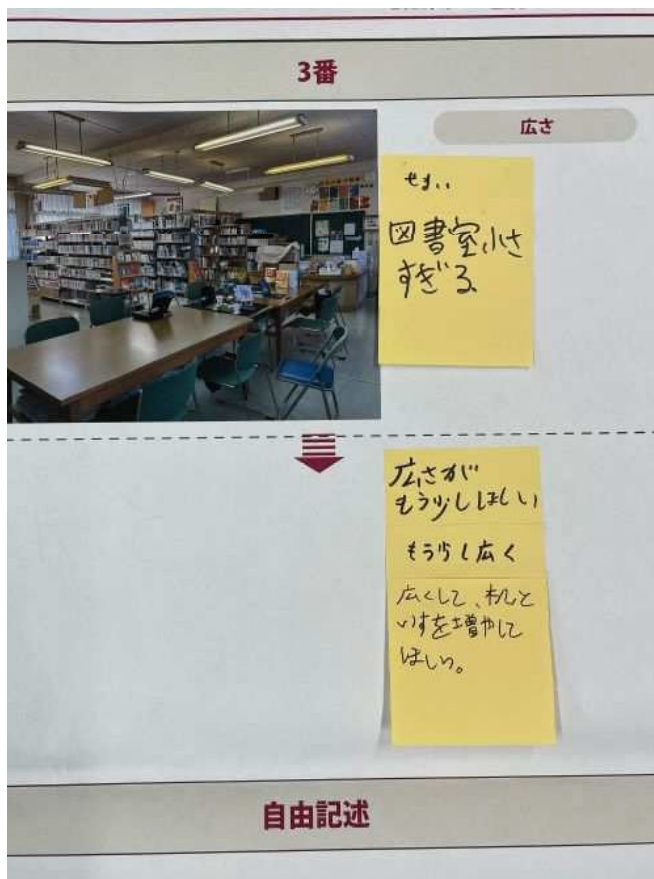
1組グループ



2組グループ

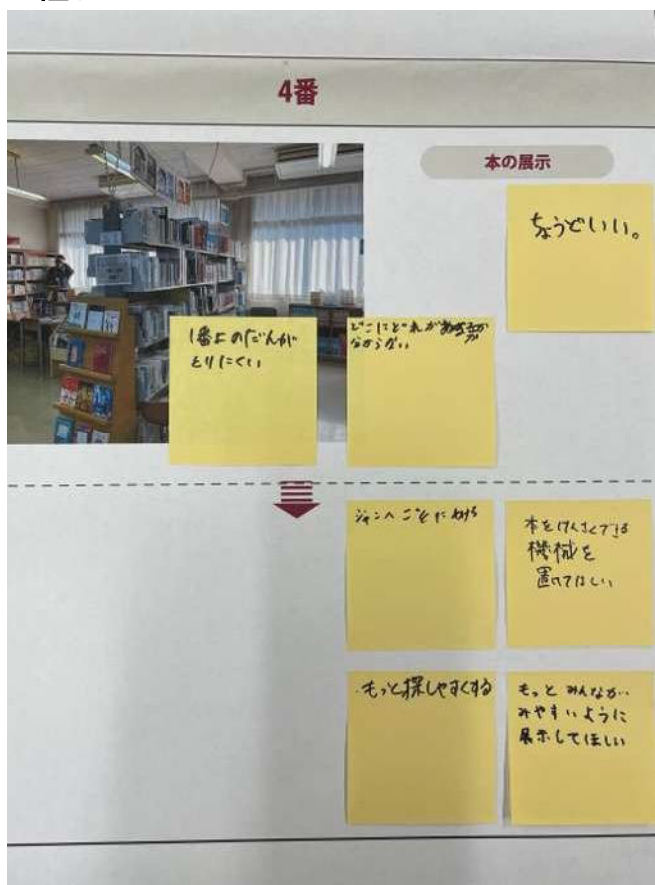


3組グループ

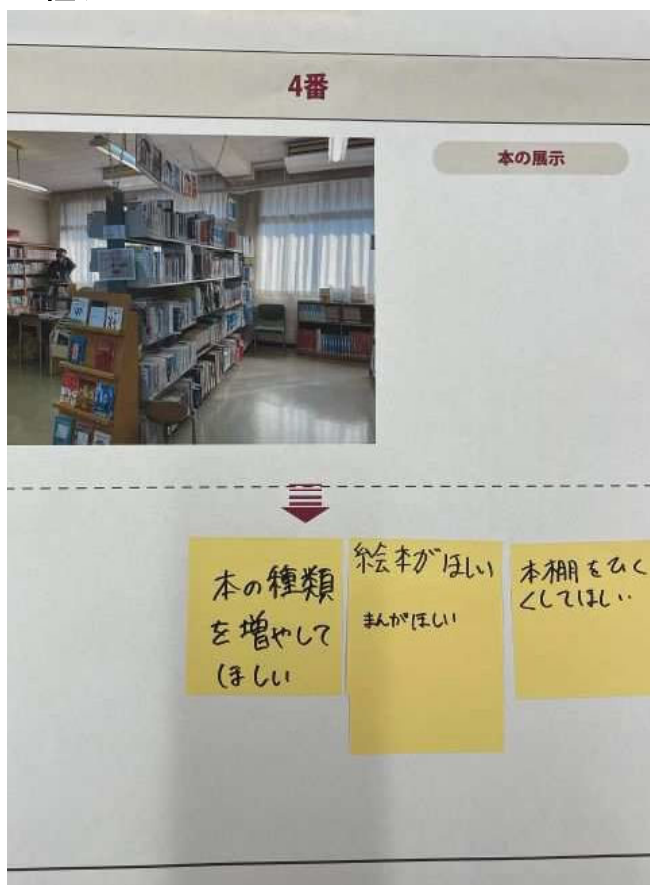


**概要** 「 」内は付箋コメントの内容（一部言い換えや省略有り）  
 ・大半の問題点が「図書室が狭い」という意見で、改善方法として「部屋を広くする」という意見が見られた。

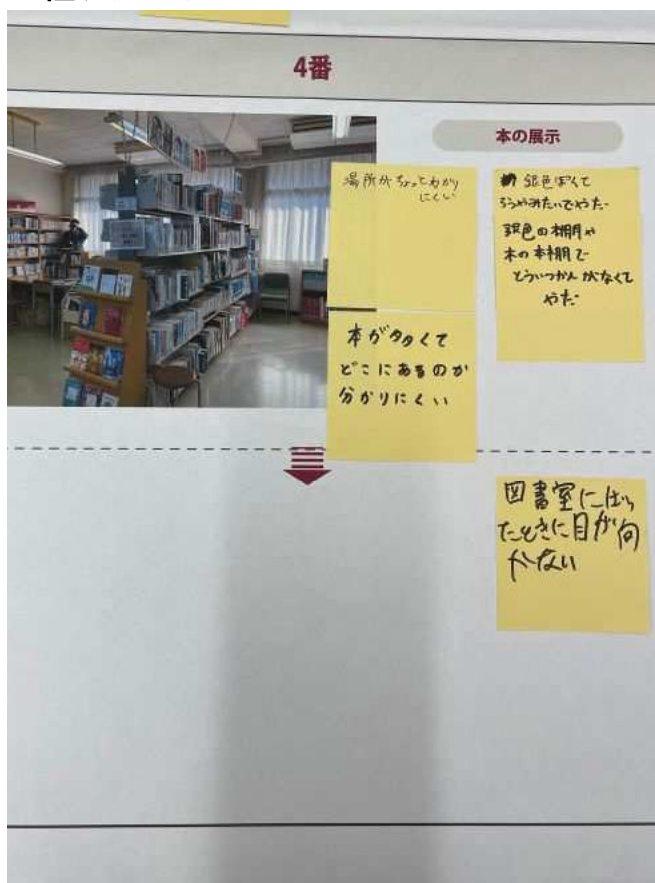
1組グループ



2組グループ



3組グループ



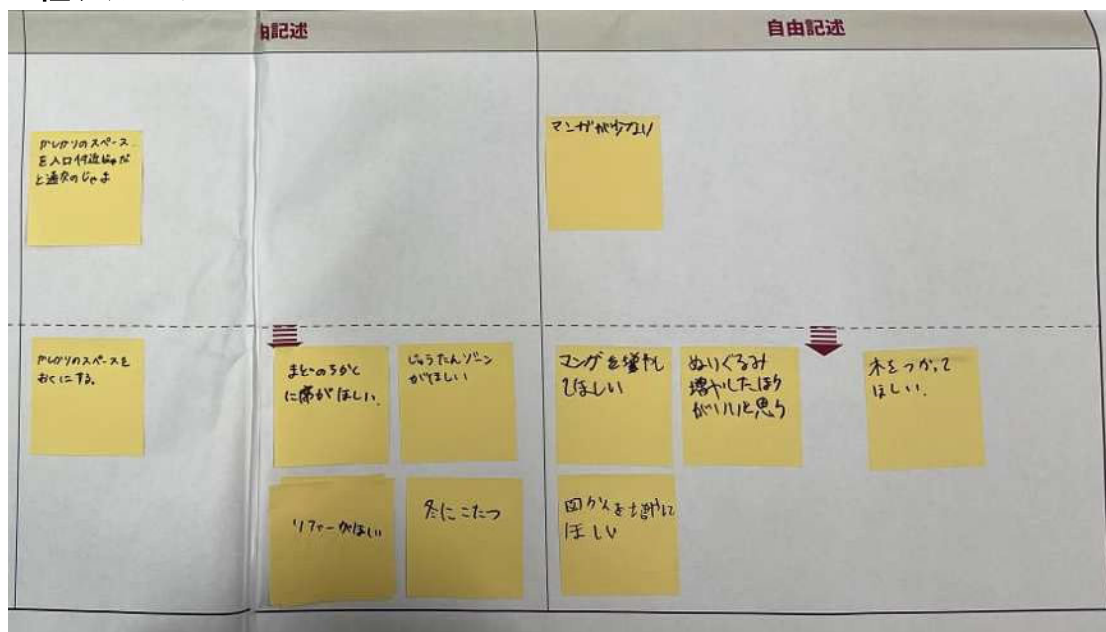
**概要** 「 」内は付箋コメントの内容（一部言い換えや省略有り）

- ・「どこにどれがあるかわからない」という問題点に対し、「本の検索機械をおいてほしい、ジャンルごとに分けてほしい」という改善方法が見られた。
- ・「一番上の段がとりにくい」という問題点や、「本棚を低くしてほしい」といった改善方法が見られた。
- ・その他、「本の種類を増やしてほしい」や「絵本や漫画が欲しい」、「本棚を低くして欲しい」といった改善方法が見られた。

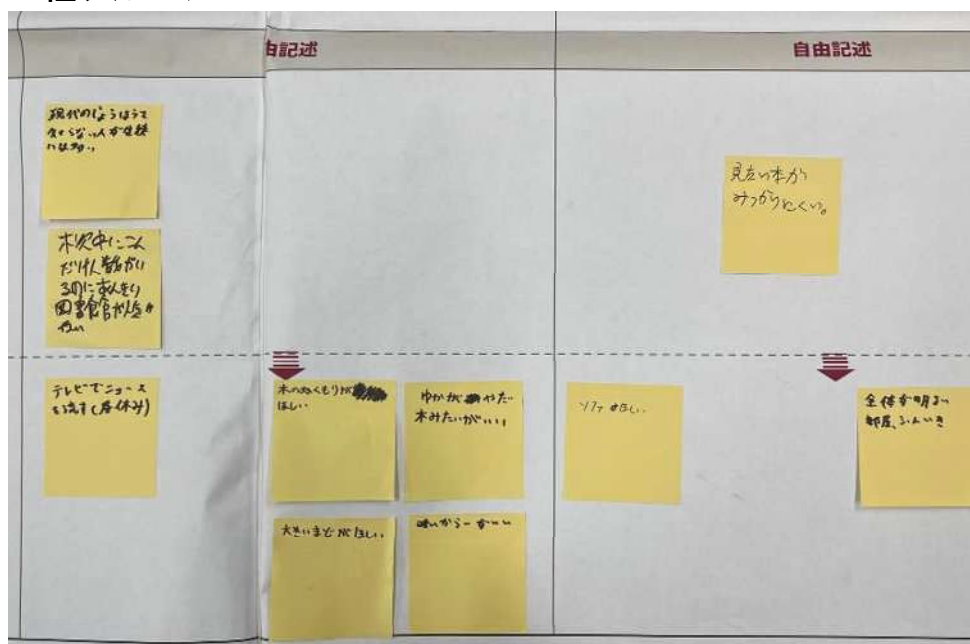
## 04 結果・まとめ (テーマ①) -図書室 自由記述-

### 1組グループ 自由記述なし

### 2組グループ



### 3組グループ



### 概要 「 」内は付箋コメントの内容 (一部言い換えや省略有り)

- ・「ソファを置いて欲しい、畳のような床に座れる場所が欲しい、漫画や図鑑を増やしてほしい」という既出の要望が多くあった。
- ・自由記述での新規意見として、「貸し借りスペースが入り口付近あるため、通行の邪魔になる」という問題点に対し、「貸し借りスペースを奥の方へ設置」といった改善方法が見られた。
- ・その他、「図書室の内装木質化」や「社会情勢等の情報発信」、「照明を明るくする」、「大きな窓がほしい」といった改善方法が見られた。

## 04 結果・まとめ (テーマ①) - 教室 まとめ (概要) -






■ 教室 問題点・改善方法のまとめ (概要版のため、重要な箇所のみ掲載。生徒が書いた付箋のコメントについて、適宜言い換えや補足説明を行い掲載。)

番号	問題点	改善方法
1番：広さ	—	・全体的に広くする、横幅を大きくする
	—	・天井を高くする
	—	・教室でタブレットを充電できるようにする
	—	・コンクリート以外の床にする、床が汚いため木の床にする
	—	・風通しを良くする
	—	・壁に固定されたストープにする
2番：授業の道具	・テレビが小さい	・テレビを大きくしてほしい ・テレビを真ん中へ配置してほしい
	・後ろから少し小さくて見えにくい。 ・投影機の調子が悪いところがある	・スクリーンを大きくする ・プロジェクターの画質を上げる
	・机が狭い	・机を大きくする
	・椅子がかたい、ガタガタする	・椅子にクッションをつける
	—	・タブレットを充電したい、机にコンセントをつける
	—	・黒板をホワイトボードにしてほしい
	—	・全面ホワイトボード
	—	・窓やカーテンのUVカット
	—	・デジタル時計の設置
	—	・建具が風でガタガタすることの解消
	—	・網戸の設置
	—	
3番：給食台・荷物	・廊下がせまい、2列で並んでいると通れなくなる	・廊下を広くする、横幅を広くする
	・廊下に設置しているS字フックが落ちて無くなる	・フックを固定する
	・フックがすぐ曲がる	—
	—	・廊下のフック(荷物置き場)を移動する、ラックが欲しい
	・給食台がじゃま	・給食台をしまし場所をつくる ・配膳台に引き出しを設けコンパクトにする
	—	・網戸の設置
4番：ロッカー	・ロッカーがせまい	・ロッカーを大きくする ・上着を掛けられる場所を設ける ・バックが入る大きさのロッカーとする
	・ロッカーにほこりがたまる	・扉付きのロッカーとする
	・下の段のロッカーは掃除の際に汚れる	—
	・ロッカーが低く腰が痛くなる	・ロッカーの現状より高い位置へ設置する
5番：掲示面	・上の方の字を書きにくい	—
	・画紙ではるのがめんどくさい	—
	・小さい	・掲示面を広くしてほしい、大きくしてほしい
	—	・明るい色にしてほしい
	—	・磁石を増やす
自由記述 (新出の内容のみ)	・エアコンが当たる箇所とあたらない箇所がある	・シーリングファンをつける ・机に扇風機をつける ・こたつをつける
	—	・黒板を大きく、音楽室のようにきれいな黒板にしてほしい
	—	・ベランダが欲しい
	—	・屋上整備
	—	・エレベーターがほしい
	—	・床下収納がほしい

04 結果・まとめ (テーマ①) -教室 作業シート-

資料① 問題点・改善点シート (教室)

2025/6/18 生徒ワークショップ資料


問題点	<p>1番：広さ</p> 	<p>2番：授業の道具</p> 	<p>3番：給食台・荷物</p> 	<p>4番：ロッカー</p> 	改善方法	自由記述	自由記述	自由記述	自由記述
問題点	<p>5番：掲示面</p> 	自由記述	自由記述	自由記述	改善方法	自由記述	自由記述	自由記述	自由記述

04 結果・まとめ (テーマ①) - 教室 1番：広さ -

1組グループ

1番

広さ



問題点

改善方法

幅を広くする。  
全体的に大きくする。

教室でタブレットが充電できる/ストープが壁にあたって、はたがこいた。

天井を高くする


床をコンクリート以外の床にしてほしい  
ゆかかきたない、木にした方がよい。

風通しをよくする

2組グループ

1番

広さ



問題点

改善方法

もう少し広くしてほしい

前後を広くしてほしい

3つはあみだ時計を時計に時計の行

5番

掲示面

3組グループ

資料① 問題点・改善点シート (教室) 3組

1番

広さ



問題点

改善方法

テストの時と他壁に紙がつかないように、もう少し大きくしてほしい。

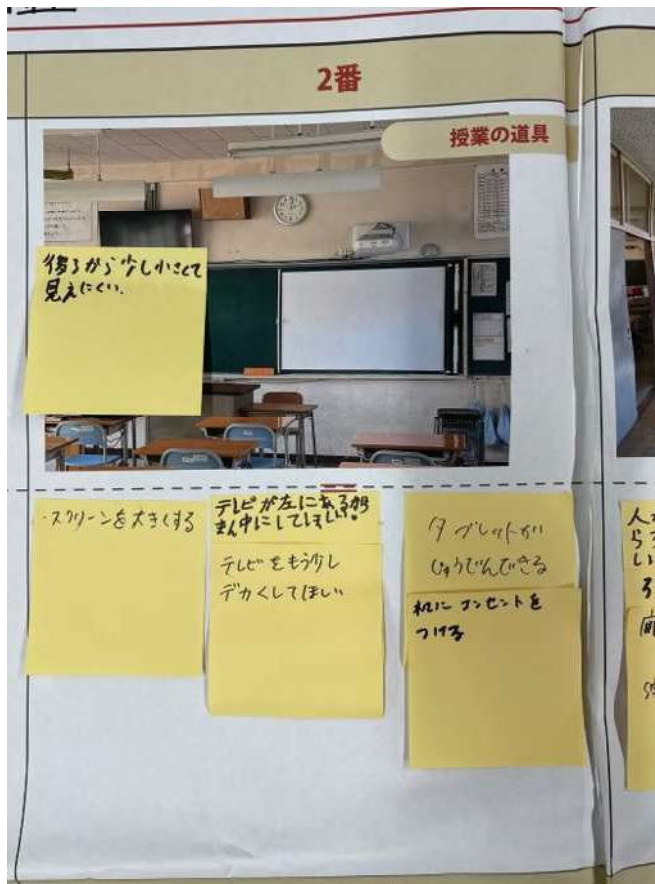
も広くする

5番

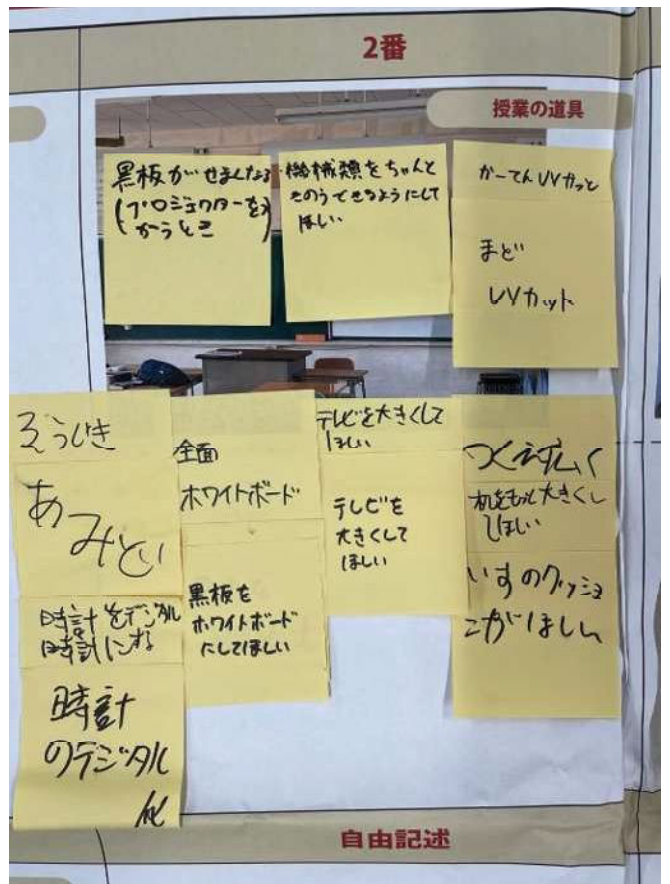
**概要** 「 」内は付箋コメントの内容 (一部言い換えや省略有り)

- ・「全体的に広くする」という改善方法が多く見られ、具体的な意見として、「横幅を大きくする、天井を高くする」等の改善方法が見られた。
- ・「教室でタブレットを充電できるようにする」といった改善方法が見られた。
- ・「コンクリート以外の床にする、床が汚いため木の床にする」といった床に関する改善方法が見られた。
- ・その他、「風通しを良くする」や「壁に固定されたストープにする」等の温熱環境に関する改善方法が見られた。

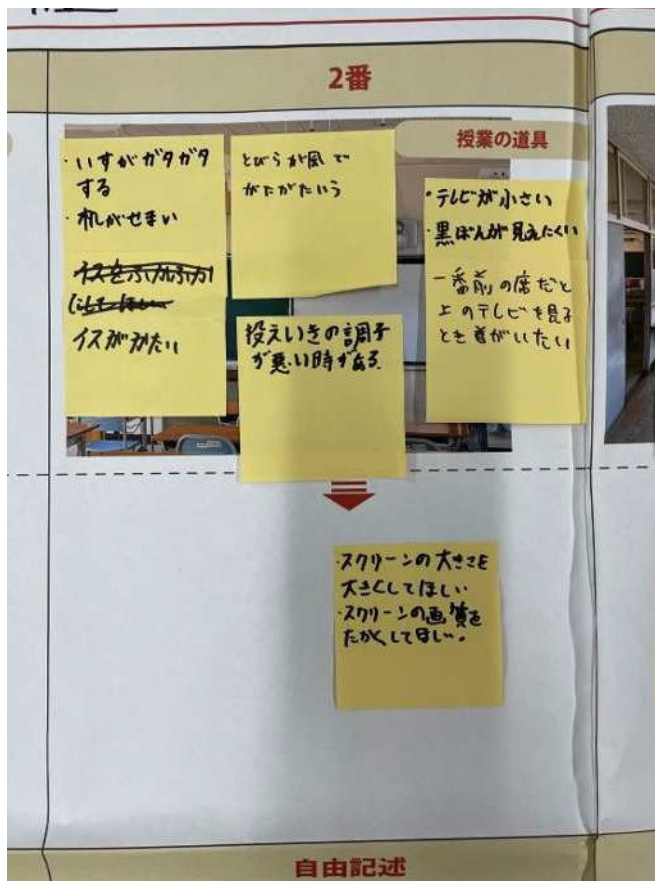
1組グループ



2組グループ



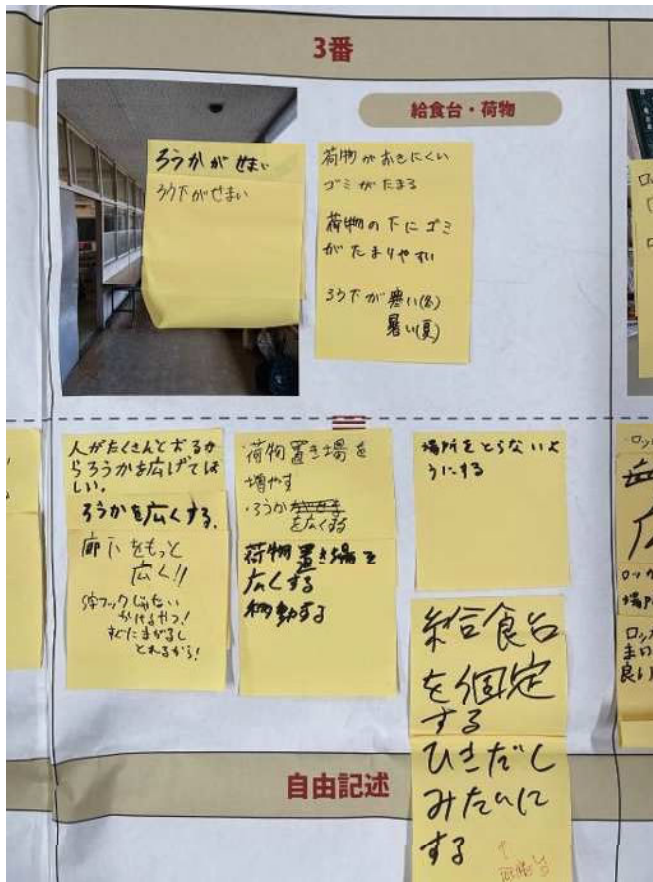
3組グループ



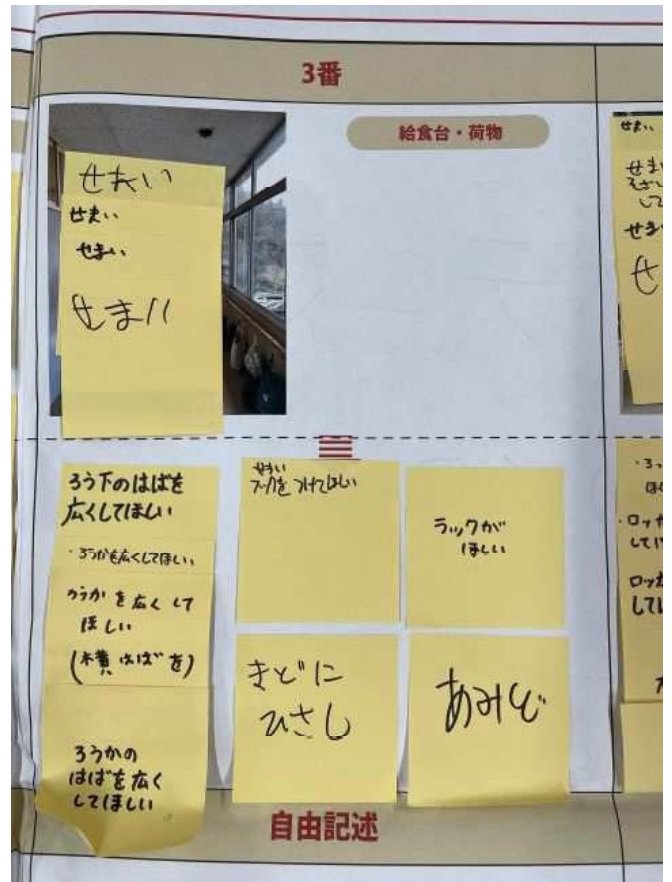
概要

- 「 」内は付箋コメントの内容 (一部言い換えや省略有り)
- ・「テレビを大きくしてほしい、テレビを真ん中へ配置してほしい」といった、テレビに関する改善方法が見られた。
  - ・「スクリーンを大きくする、プロジェクターの画質を上げる」といった、プロジェクター投影環境に関する改善方法が見られた。
  - ・「机を大きくする、椅子にクッションをつける」といった什器に関する改善方法が見られた。
  - ・「タブレットを充電したい、机にコンセントをつける」等のタブレットの利用環境に関する改善方法が見られた。
  - ・「黒板をホワイトボードにしてほしい、全面ホワイトボード」といった改善方法が見られた。
  - ・その他、「窓やカーテンのUVカット、デジタル時計の設置、建具が風でガタガタすることの解消」といった改善方法が見られた。

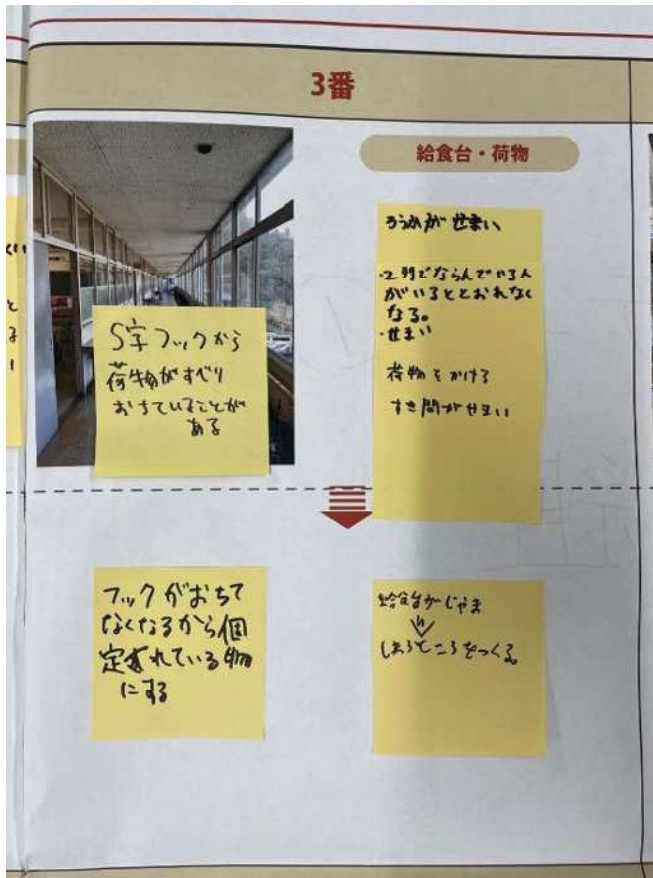
1組グループ



2組グループ



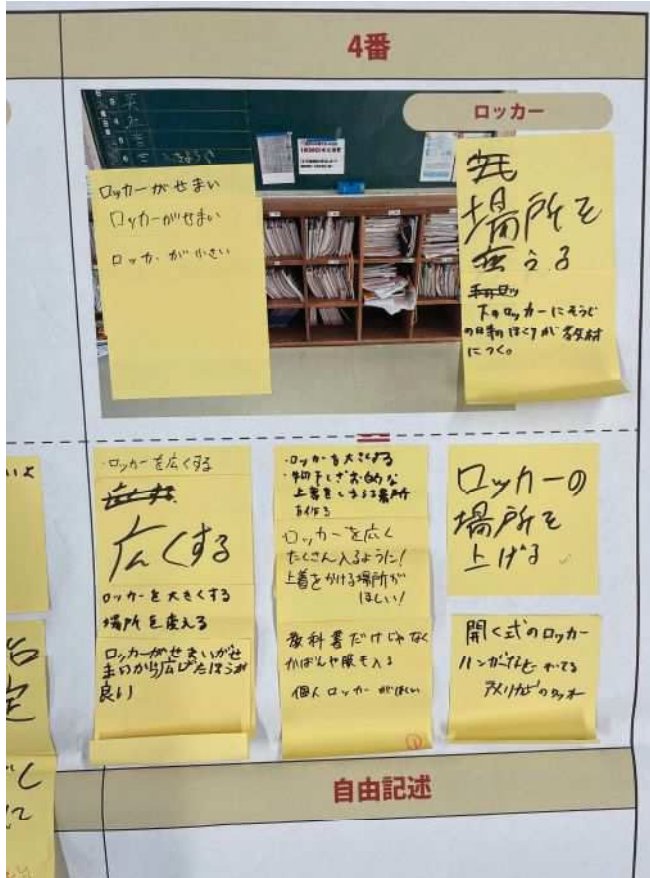
3組グループ



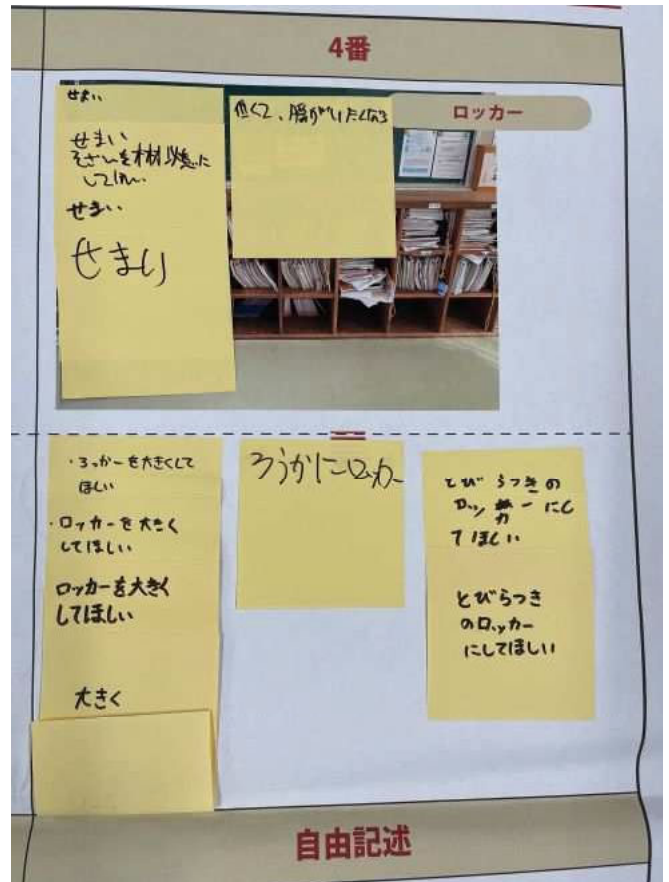
**概要** 「 」内は付箋コメントの内容 (一部言い換えや省略有り)

- ・「廊下がせまい、2列で並んでいると通れなくなる」といった問題点、「廊下を広くする、横幅を広くする」といった改善方法が見られた。
- ・「廊下に設置しているS字フックが落ちて無くなる、フックがすぐ曲がる」といった問題点に対して、「フックを固定する」という改善方法が見られた。また、フックは荷物掛けとして利用しているため、「荷物置き場を広くする、移動する」といった改善方法も見られた。
- ・廊下に給食台があることに関して、「給食台をしまう所をつくる、配膳台に引き出しを設けコンパクトにする」といった改善方法が見られた。
- ・その他「網戸の設置、廊下の窓に庇の設置」といった改善方法が見られた。

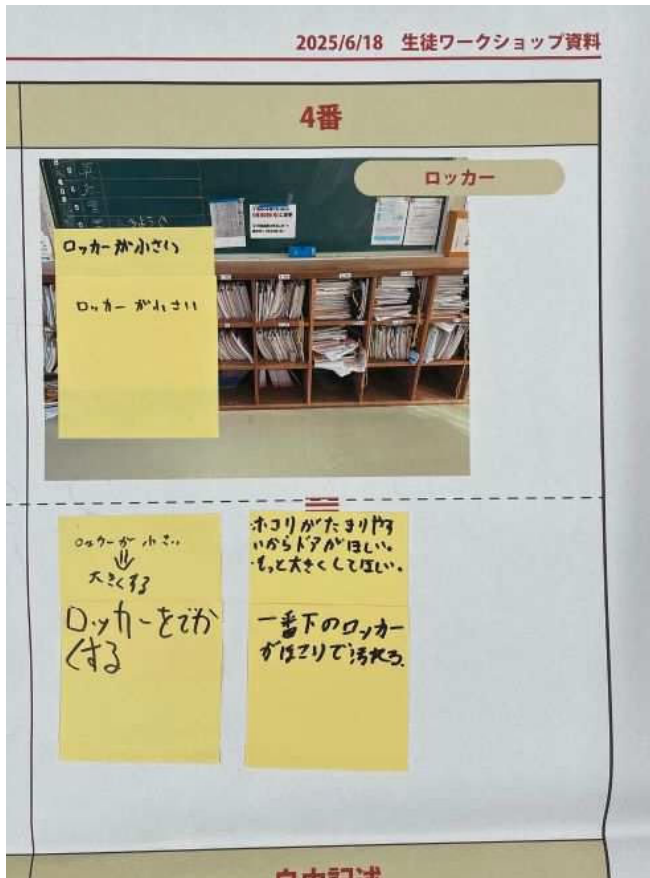
1組グループ



2組グループ



3組グループ



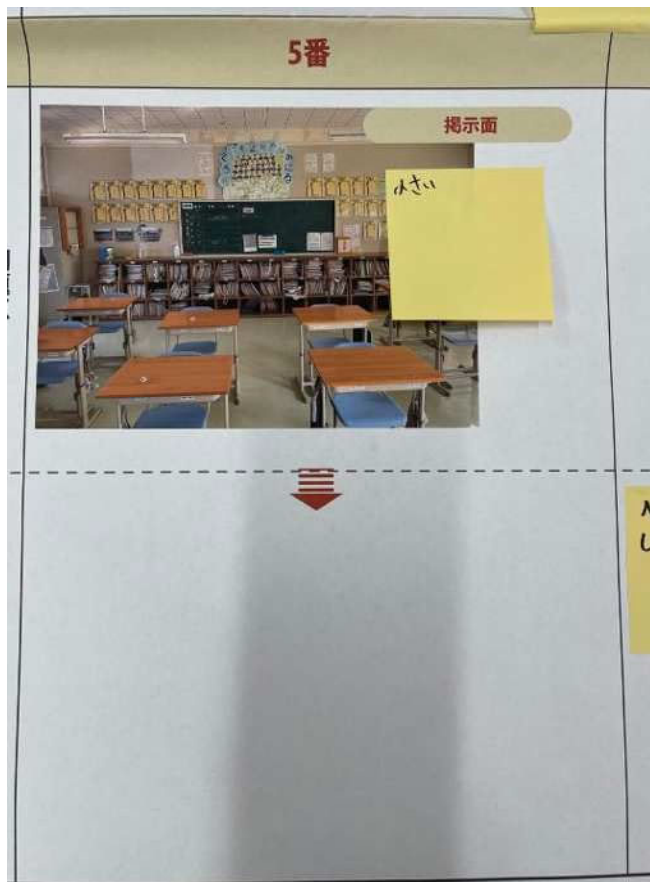
**概要** 「 」内は付箋コメントの内容 (一部言い換えや省略有り)

- ・「ロッカーがせまい」といった問題点に対し、「ロッカーを大きくする」といった改善方法が見られた。具体的な意見として「上着を掛けれる場所、扉付きのロッカー、バックが入る大きさ」といった改善方法が見られた。
- ・「ロッカーにほこりがたまる、下の段のロッカーは掃除の際に汚れる」といった問題点に対し、「扉付きのロッカーとする」といった改善方法が見られた。

1組グループ



2組グループ



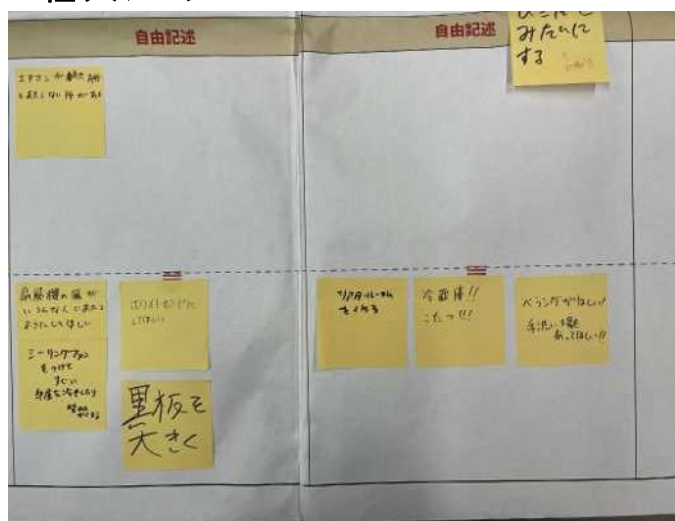
3組グループ



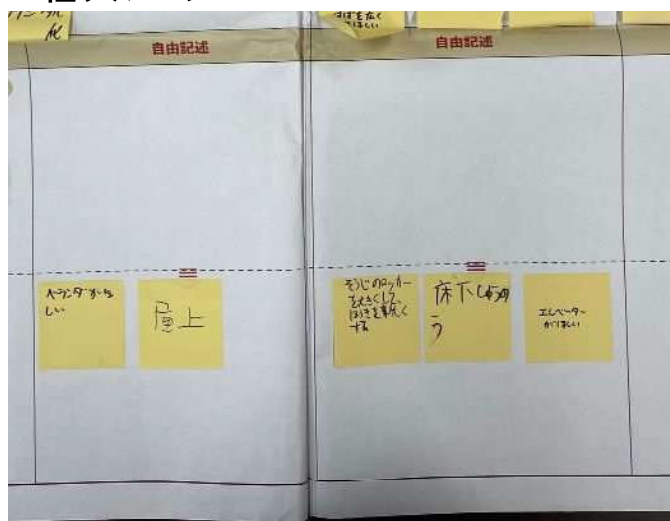
- 概要** 「 」内は付箋コメントの内容 (一部言い換えや省略有り)
- ・「上の方の字を書きにくい、画鋏ではるのがめんどくさい」といった問題点が見られた。
  - ・「掲示面を広くしてほしい、大きくしてほしい」といった改善方法が見られた。
  - ・「明るい色にしてほしい」といった改善方法が見られた。

## 04 結果・まとめ (テーマ①) - 教室 自由記述 -

### 1組グループ



### 2組グループ



### 3組グループ



**概要** 「 」内は付箋コメントの内容（一部言い換えや省略有り）

- ・「教室を横に広くしてほしい、掲示面を広くしてほしい、机を広くしてほしい、ホワイトボードにしてほしい」といった既出の要望が見られた。
- ・「エアコンがあたる箇所とあたらない箇所がある」という温熱環境の問題点に対し、「シーリングファンをつける」といった改善方法が見られた。温熱環境については他にも、「机に扇風機をつける、こたつをつける」といった改善方法が見られた。
- ・「黒板を大きく、音楽室のようにきれいな黒板にしてほしい」といった授業の環境についての改善方法が見られた。
- ・その他、「ベランダが欲しい、屋上整備、エレベーターがほしい、床下収納がほしい」といった要望が見られた。

## 05 結果・まとめ (テーマ②) - トイレ 集計表 -

■ トイレ 各グループのキーワード選択結果 ※2グループ以上に選択されたキーワードは、基本計画へ反映

		キーワード	1組グループ	2組グループ	3組グループ
色・素材・デザイン	1	白をメインカラーとした、清潔感のあるデザイン	●		●
	2	木の色を使用した自然な雰囲気のデザイン		●	
トイレの機能	3	水まわりの機能について	●		●
	4	バリアフリーデザインについて		●	
トイレまわりの交流空間	5	男子・女子共用の手洗いがあ			
	6	トイレの近くにベンチがある	●	●	●

■ その他の意見 まとめ

		その他の内容			
その他		・広くて良い (2組)			
		・前のトイレよりかは数倍良い (2組)			
		・トイレットペーパーが複数入るホルダーにしてほしい (教職員)			
		・便器は汚れが付きにくい素材で (教職員)			
		・床はタイル、コンクリはやめて (教職員)			
		・床、スリッパに履き替えなくても良い素材 (教職員)			

※キーワード選定の理由となった意見 (付箋コメント) については、次ページ以降の作業シートを参照すること。

<p><b>色・素材・デザイン</b></p> <p>キーワード1 ▶ 白をメインカラーとした、清潔感のあるデザイン</p>  <p>キーワード2 ▶ 木の色を使用した自然な雰囲気のデザイン</p> 	<p><b>トイレの機能</b></p> <p>キーワード3 ▶ 水まわりの機能について</p> <p>手洗い → 温かい水が出る → 自動で水が出る</p>  <p>キーワード4 ▶ バリアフリーデザインについて</p> <p>手すり付きの便器</p>  <p>WC (男) WC だれでも WC (女)</p>
<p><b>トイレまわりの交流空間</b></p> <p>キーワード5 ▶ 男子・女子共用の手洗いがあある</p>  <p>キーワード6 ▶ トイレの近くにベンチがある</p> 	<p><b>その他</b></p> <p>だれでもトイレとは？ → 車いすの方や体に不自由のある方など、だれでも利用できるトイレ → だれでもトイレは各年のトイレグループの中に1個設置</p>






### 資料② キーワード選択シート (トイレ)


色・素材・デザイン

**キーワード1**  
白をメインカラーとした、清潔感のあるデザイン



金銭が安く  
良い  
使いやすい  
洗いやすい  
掃除しやすい  
幅が狭い  
目立ちにくい  
清潔感が  
ある


**キーワード2**  
木の色を使用した自然な雰囲気のデザイン



明るい  
素材が  
いい

### トイレの機能


**キーワード3**  
水まわりの機能について



手洗い  
→ 温かい水が出る  
→ 自動で水が出る

止水の水が  
かき流す  
時間が  
長い


**キーワード4**  
パブリックデザインについて



いつでもトイレがある  
→ その場でトイレが使える  
→ 待たなくてもトイレが使える


WC (男)  
WC (女)  
WC (男女)

**キーワード5**  
男子・女子共用の手洗いがあがる



広さとして  
明るい

**キーワード6**  
トイレの近くにベンチがある



濃い水が  
いい

トイレの  
ベンチが  
いい

お掃除の  
時間  
がある

その他

## 05 結果・まとめ (テーマ②) - 図書室 集計表 -

■ 図書室 各グループのキーワード選択結果 ※2グループ以上に選択されたキーワードは、基本計画へ反映

		キーワード	1組グループ	2組グループ	3組グループ
学びの中心として	1	みんなが行きやすい場所			
	2	本の多く展示スペースがある	●		
	3	<b>広く、ゆとりがある</b>		●	●
学びやすさ	4	図書室で授業ができる			
	5	ICT環境が整った空間			
	6	勉強しやすい環境			
くつろげる空間	7	<b>眺めの良い空間</b>	●	●	●
	8	個人やグループでくつろげる空間			
	9	<b>木の温もりのある空間</b>		●	●

■ その他の意見 まとめ

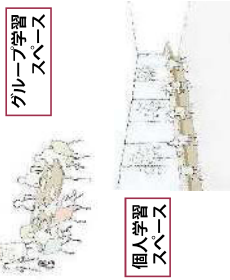
		その他の内容			
その他		・くつろげる空間の近くに図書室が欲しい (1組)			
		・図書室と勉強スペースをわせる (1組)			
		・先生用の個室 (1組)			
		・バーコード読み取り機械を追加する (1組)			
		・音楽室のとなりに図書室をつくる (1組)			
		・廊下を広く (1組)			
		・図書室にトイレを設置する (1組)			
		・広い図書館で、夏は涼しく冬はあったかくしてほしい (1組)			
		・空気が良くなるように窓をつける (1組)			
		・2層の開放的な空間で図書室内にトイレを設ける (3組)			
		・音楽 (BGM) をかけてほしい (3組)			
		・統一感があるといいと思う (3組)			
		・みんなが集まれるストーブが欲しい (3組)			
		・椅子ではなく畳みたいな床が良い、また床に座りながら作業できる机が欲しい (3組)			
		・ふかふかで長いソファが欲しい (3組)			
		・寝ころべるところが欲しい (3組)			
		・図書室の人気を高めた方がよい (3組)			
		・プラネタリウムやゲーム部屋を設けてほしい (3組)			
	・走り回れたり、体育館のような場所にしてほしい (3組)				
	・本の日焼けを防ぐガラスだとうれしい (教職員)				

※キーワード選定の理由となった意見 (付箋コメント) については、次ページ以降の作業シートを参照すること。

学びやすさ

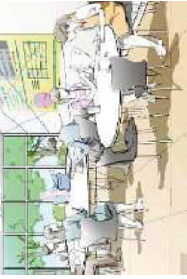
キーワード6

- ▶ 勉強しやすい環境  
→ グループ学習や自習ができる  
→ 静かで集中できる



キーワード5

- ▶ ICT環境が整った空間  
→ Wi-Fiがつながりタブレットが使える  
→ スクリーンがあり発表発表が行える



キーワード4

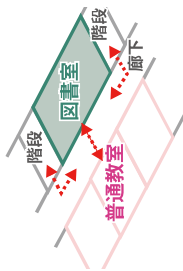
- ▶ 図書室で授業ができる  
→ 1クラスの人数分の机がある



学びの中心として

キーワード1

- ▶ みんなが行きやすい場所  
→ ① 普通教室と近い  
→ ② 他の階の人も階段で行きやすい



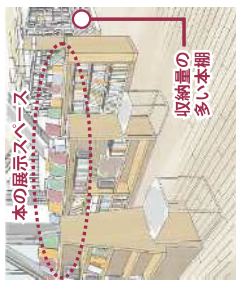
キーワード3

- ▶ 広く、ゆとりがある



キーワード2

- ▶ 本が多く展示スペースがある



その他

くつろげる空間

キーワード7

- ▶ 眺めの良い空間  
→ 木次の街並みが一望できる空間



キーワード8

- ▶ 個人やグループでくつろげる



キーワード9

- ▶ 木の温もりのある空間  
→ 壁や床に木が利用された空間



資料② キーワード選択シート (図書室)

学びの中心として

**キーワード1**  
▶ みんなが行きやすい場所  
→ ①普通教室と近い  
→ ②他の階の人も階段で行きやすい

**キーワード2**  
▶ 本が多く展示スペースがある

**キーワード3**  
▶ 広く、ゆとりがある

**キーワード4**  
▶ 図書室で授業ができる  
→ 1クラスの人数分の机がある

**キーワード5**  
▶ ICT環境が整った空間  
→ WiFiがつながりタブレットが使える  
→ スクリーンがあり発表授業が行える

**キーワード6**  
▶ 勉強しやすい環境  
→ グループ学習や自習ができる  
→ 静かで集中できる

学びやすさ

**キーワード7**  
▶ 静めの良い空間  
→ 木次の板壁が一望できる空間

**キーワード8**  
▶ 個人やグループでくつろげる

**キーワード9**  
▶ 木の温もりのある空間  
→ 壁や床に木が利用された空間

1クラス分の机

**キーワード10**  
▶ 勉強しやすい机がいっぱい

**キーワード11**  
▶ 1クラス人数の机が揃って机の配置が変えられる

**キーワード12**  
▶ 勉強しやすい環境  
→ グループ学習や自習ができる  
→ 静かで集中できる

**キーワード13**  
▶ 勉強しやすい環境  
→ グループ学習や自習ができる  
→ 静かで集中できる

その他

**キーワード14**  
▶ 先生用の机

**キーワード15**  
▶ 木のパーゴラを  
ロフトを  
ふやす

**キーワード16**  
▶ 木次が広く

**キーワード17**  
▶ 木次の自然  
が景観にいい  
が景観が壊れる  
が景観が壊れる

**キーワード18**  
▶ 木次が  
目に映る  
→ 窓の位置が  
いい

**キーワード19**  
▶ 木次が  
目に映る  
→ 窓の位置が  
いい


**キーワード20**  
▶ 木次が  
目に映る  
→ 窓の位置が  
いい

資料② キーワード選択シート (図書室) 2組

2025/6/18 生徒ワークショップ資料


**学びの中心として**

**キーワード1**  
▶ みんなが行きやすい場所  
→ ①普通教室と近い  
→ ②他の階の人も階段で行きやすい




たぶん  
いるむい

**キーワード2**  
▶ 本が多く展示スペースがある



本の展示スペース  
高い所にひびスペース  
奥の所に書く所が少なく  
所帯が少なく  
高い所と低い所に  
高い所と低い所に  
高さを  
たおいておいて  
おいておいて


**キーワード3**  
▶ 広く、ゆとりがある



広いゆとり  
ゆとりが  
ゆとりが  
ゆとりが  
ゆとりが  
ゆとりが


**学びやすさ**

**キーワード4**  
▶ 図書室で授業ができる  
→ 1クラスの人数分の机がある




1クラス分の机  
友達と協力  
しからず学んで  
いい

**キーワード5**  
▶ ICT環境が整った空間  
→ Wi-Fiがなかなかタブレットが使える  
→ スクリーンがあり発表発表が行える



ICT環境が整った空間  
Wi-Fiがなかなかタブレットが使える  
スクリーンがあり発表発表が行える


**キーワード6**  
▶ 勉強しやすい環境  
→ グループ学習や自習ができる  
→ 静かで集中できる



勉強しやすい環境  
グループ学習スペース  
個人学習スペース  
集中  
できる


**くつろげる空間**

**キーワード7**  
▶ 眺めの良い空間  
→ 木次の街並みが一瞥できる空間




眺めの良い空間  
木次の街並みが一瞥できる空間

**キーワード8**  
▶ 個人やグループでくつろげる



個人やグループでくつろげる

**キーワード9**  
▶ 木の温もりのある空間  
→ 壁や床に木が利用された空間



木の温もりのある空間  
壁や床に木が利用された空間

**その他**

景色が見えて  
奥が明るい

木におい  
でみたく  
いい

目にやさ  
しい

明るくていい



## 05 結果・まとめ (テーマ②) - 教室 集計表 -

■ 教室 各グループのキーワード選択結果 ※2グループ以上に選択されたキーワードは、基本計画へ反映

		キーワード	1組グループ	2組グループ	3組グループ
色・素材・デザイン	1	白をメインカラーとした、清潔感のあるデザイン	●		●
	2	木の色を使用した自然なデザイン		●	●
学びやすさ	3	理解度にあわせた授業/発表授業ができる			
	4	グループワークが行いやすい教室の広さ			
	5	先生の居場所	●	●	
生活環境	6	ロッカー等の収納スペースの広さ	●	●	
	7	夏に涼しく、冬は温かい空間			●

■ その他の意見 まとめ

		その他の内容			
その他		・ランチルーム みんなで食べたい (1組)			
		・男子の更衣室 (1組)			
		・ベランダがほしい (2組)			
		・シャワーがほしい (2組)			
		・更衣室 (2組)			

※キーワード選定の理由となった意見 (付箋コメント) については、次ページ以降の作業シートを参照すること。

資料② キーワード選択シート (教室)

2025/6/18 生徒ワークショップ資料

<p><b>色・素材・デザイン</b></p> <p>キーワード1</p> <p>▶ 白をメインカラーとした、清潔感のあるデザイン</p>  <p>キーワード2</p> <p>▶ 木の色を使用した自然なデザイン</p> 	<p><b>学びやすさ</b></p> <p>キーワード3</p> <p>▶ 理解度にあわせた授業 → 黒板をいくつも設置し、生徒の授業の理解度別に学習できる</p> <p>▶ 送養授業ができる → フロントエクターが使える</p>  <p>キーワード4</p> <p>▶ グループワークが行いやすい教室の広さ</p>  <p>キーワード5</p> <p>▶ 先生の居場所</p> 
<p><b>生活環境</b></p> <p>キーワード6</p> <p>▶ ロッカー等の収納スペースの広さ</p>  <p>キーワード7</p> <p>▶ 夏に涼しく、冬は温かい空間 → 空気の稼働設備を整備 → エアコン設備や断熱の整備</p> 	<p><b>その他</b></p>



**資料② キーワード選択シート (教室)**

**2組**

色・素材・デザイン

**キーワード1**  
▶ 白をメインカラーとした、清潔感のあるデザイン



よこ木が目を引く

**キーワード2**  
▶ 木の色を使用した自然なデザイン



木は暖か  
ほい  
からやん

自然  
かんが  
免れたい

木の色  
あつ  
あつ

学びやすさ

**キーワード3**  
▶ 理解速いあわせた授業  
→ 黒板をいくつも設置し、生徒の授業の理解度別に学習できる  
▶ 授業授業からできる  
→ プロシエクターが使える



先生にまでたいめ  
授業が早いだけ  
書きかえれば  
なごめる

**キーワード4**  
▶ グループワークが行いやすい教室の広さ



いすかあたら  
せ、広い  
たれ

**キーワード5**  
▶ 先生の居場所



先生の居場所  
があまりの狭い  
とごまかす

丸座があれ  
おもしろ  
てよ

---

生活環境

**キーワード6**  
▶ ロッカー等の取柄スペースの広さ



かばんも  
るから  
めい

たぶん  
入る程度!!!

1日1回  
いそい

**キーワード7**  
▶ 夏に涼しく、冬は温かい空間  
→ 空気の換気設備を数備  
→ エアコン設備や断熱の整備



暖かい  
あつ  
あつ

その他

車いす

シャワー  
がほしい

ベランダ  
がほしい

資料② キーワード選択シート (教室)

色・素材・デザイン

**キーワード1**  
 ▶ 白をメインカラーとした、清潔感のあるデザイン

**キーワード2**  
 ▶ 木の色を使用した自然なデザイン

**キーワード3**  
 ▶ 理解度にあわせて授業  
 → 難解ないくつも設置し、生徒の授業の理解度別に学習できる  
 授業内容がわかる  
 → 木目やカラーがわかる

**キーワード4**  
 ▶ グループワークが行いやすい教室の広さ

**キーワード5**  
 ▶ 先生の居場所

その他

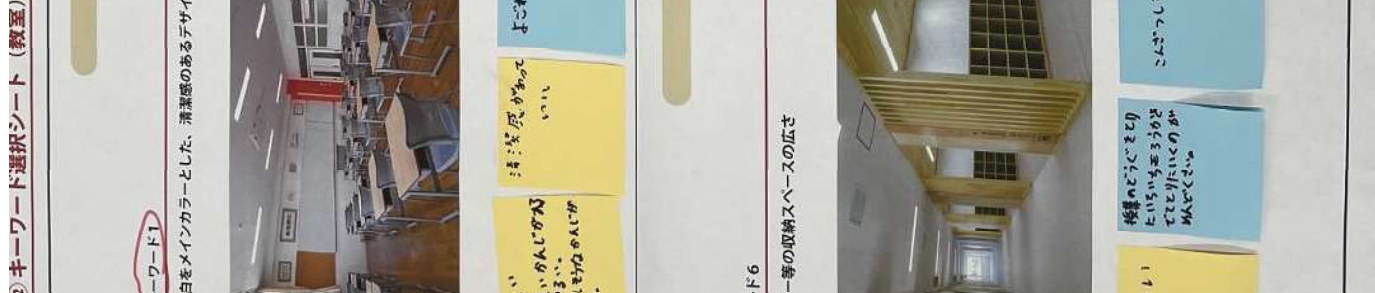
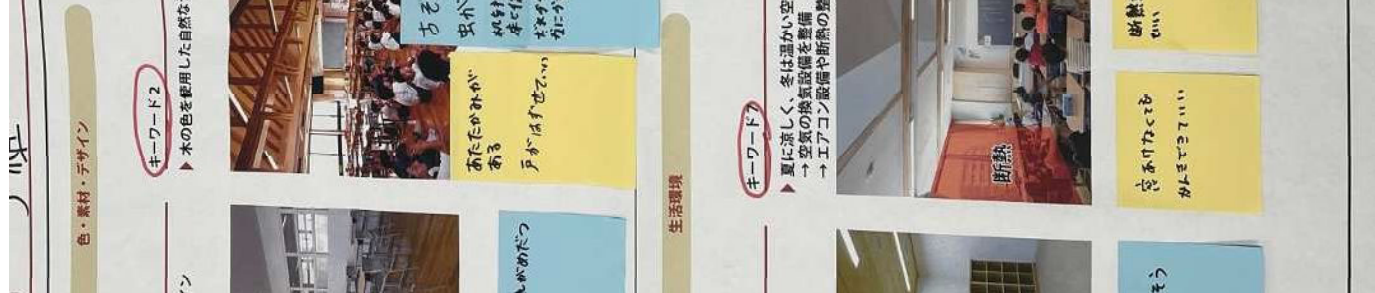
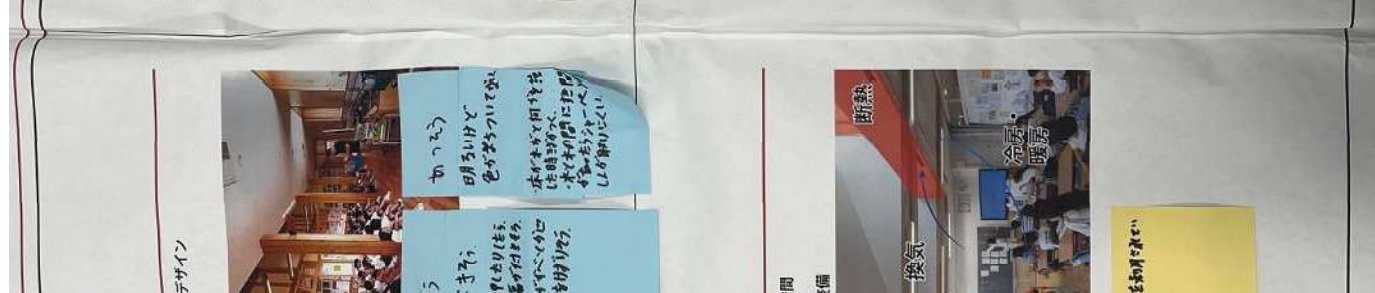
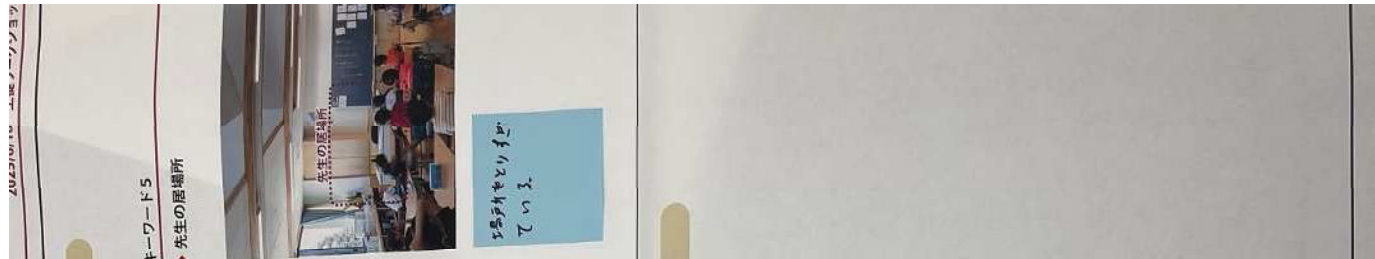
---

生活環境

**キーワード6**  
 ▶ ロッカー等の収納スペースの広さ

**キーワード7**  
 ▶ 夏に涼しく、冬は暖かい空間  
 → 空気の換気設備を準備  
 → エアコン設備や断熱の整備

その他



## 06 画像生成 AI

### ■ 画像生成 AI の活用について

ワークショップの最後に、近年の発達がめざましい AI 技術を活用したワークショップの成果発表を行った。テーマ②において生徒が選んだキーワードをプロンプトとして画像生成ツールに入力し、AI が生成した画像をそのまま発表した。

※プロンプトとして入力するキーワードは、画像生成 AI が適切に画像を生成できるよう言い回しの微調整を行っているため、作業シートに記載の実際のキーワードと異なる部分があります。

### ■ 使用した画像生成 AI ツール

Adobe Firefly (<https://firefly.adobe.com/generate/image>) を使用した。

### トイレグループ

#### 1 組



#### プロンプト

1 白をメインカラーとした、清潔感のあるデザイン / 3 手洗いやウォッシュレット機能の付いたトイレ / 6 トイレの近くのベンチ

#### 2 組



#### プロンプト

2 木の色を使用した自然な雰囲気デザイン / 4 だれでもトイレや手すり付きの便器 / 6 トイレの近くのベンチ

#### 3 組



#### プロンプト

1 白をメインカラーとした、清潔感のあるデザイン / 3 手洗いやウォッシュレット機能の付いたトイレ / 6 トイレの近くのベンチ

図書室グループ



教室グループ



## 07 撮影写真



## 07 撮影写真



## 07 撮影写真

4. 図書室グループ (1組) テーマ① グループ作業



4. 図書室グループ (2組) テーマ① グループ作業



4. 図書室グループ (3組) テーマ① グループ作業



3. 教室グループ テーマ①の説明



3. 教室グループ テーマ① 個人作業



4. 教室グループ (1組) テーマ① グループ作業



4. 教室グループ (2組) テーマ① グループ作業



4. 教室グループ (3組) テーマ① グループ作業



## 07 撮影写真



## 07 撮影写真

7.トイレグループ (3組) プレゼンテーション



5.図書室グループ テーマ②の説明



6.図書室グループ (1組) テーマ② グループ作業



6.図書室グループ (2組) テーマ② グループ作業



6.図書室グループ (3組) テーマ② グループ作業



6.図書室グループ テーマ② キーワードを選ぶ様子



7.図書室グループ (1組) プレゼンテーション



7.図書室グループ (3組) プレゼンテーション



## 07 撮影写真



## 07 撮影写真

7. 教室グループ (2組) プレゼンテーション①



7. 教室グループ (3組) プレゼンテーション



8. トイレグループ ふりかえり



8. 図書室グループ ふりかえり



8. 教室グループ ふりかえり



8. 画像生成 AI の発表①



8. 画像生成 AI の発表②



9. 閉会の挨拶 (教育施設研究所)



## 07 撮影写真



## 08 総括

本ワークショップにご協力いただいた全ての皆様に感謝いたします。ワークショップで集まった意見を精査し、基本計画へ反映いたします。

木次中学校の屋内運動場は現在も地域開放を行っていますが、地域の方々がより利用しやすくなるためにはどうなるか、以下の条件を守った上で自由に意見を書いてください。

- 条件
- ・体育館は改修を前提に建て替えは基本的に行わない。
  - ・体育館内の各部屋のサイズは変更しない。部屋の中にある設備の改修を主とする。  
例) 更衣室ロッカーの増設 など
  - ・木次体育館の廃止した場合、木次中学校体育館を代替施設として活用する。

### テーマ① 体育館本体の設備に関する意見（フロア、トイレ等）

- ・アリーナの冷房が欲しい。
- ・職員控室の冷房が欲しい。
- ・アリーナは温熱環境が悪い、風の通りが悪い。

### テーマ② 運用に関する意見（社会体育等での活用）

- ・木次体育館の後、木次中学校を社会体育として利用できるか？
- ・鍵の利用方法、管理者。
- ・木次体育館は管理者4人で体制。
- ・常時利用できる社会体育施設は難しい。
- ・地域の人限定の玄関が必要。
  
- ・中学校の体育館だけで運用が成り立っていないのに、木次体育館の代替施設となり得るのか？
- ・中学校が現状の木次体育館を利用していることに違和感。
- ・木次中学校 テニス部雨天時 木次体育館を活用。
- ・地域利用は夜間・土日限定の話。
  
- ・斐伊体育館では利用者が多いため、体育館が空いている時間が少ない。

### テーマ③ 周辺環境に関する意見（駐車場、車の進入路等）

- ・中学校へ上がる前面の坂道が狭い。
- ・駐車場 車の進入路の改修は必須。
- ・体育館 玄関以外で直接入れる進入口が欲しい。
- ・体育館の入り口付近等に、熱中症で具合が悪くなった生徒が休める場所が欲しい。

### その他

不便に感じていること、あったらよい機能、利便性向上に資する要望、どんな役割があると良いか など

- ・中学校としての利用が大前提。現状より大きくは変わらない、改修するにも限度がある。
- ・夏の労働環境について、教職員の労働安全衛生法は大丈夫か？
- ・参考資料の2ページ目に書いている物を整備。
- ・放送室にのぞき窓が無いいため設置してほしい。

★地域開放する屋内運動場の現状整理 (屋外部分)

**★1 駐車場**

現状



- 雪解けの悪い駐車場
- 転回のしづらい駐車場

**★3 駐輪場**

現状



駐輪場上屋の発錆、劣化。

**★2 屋内運動場の外装材**

現状



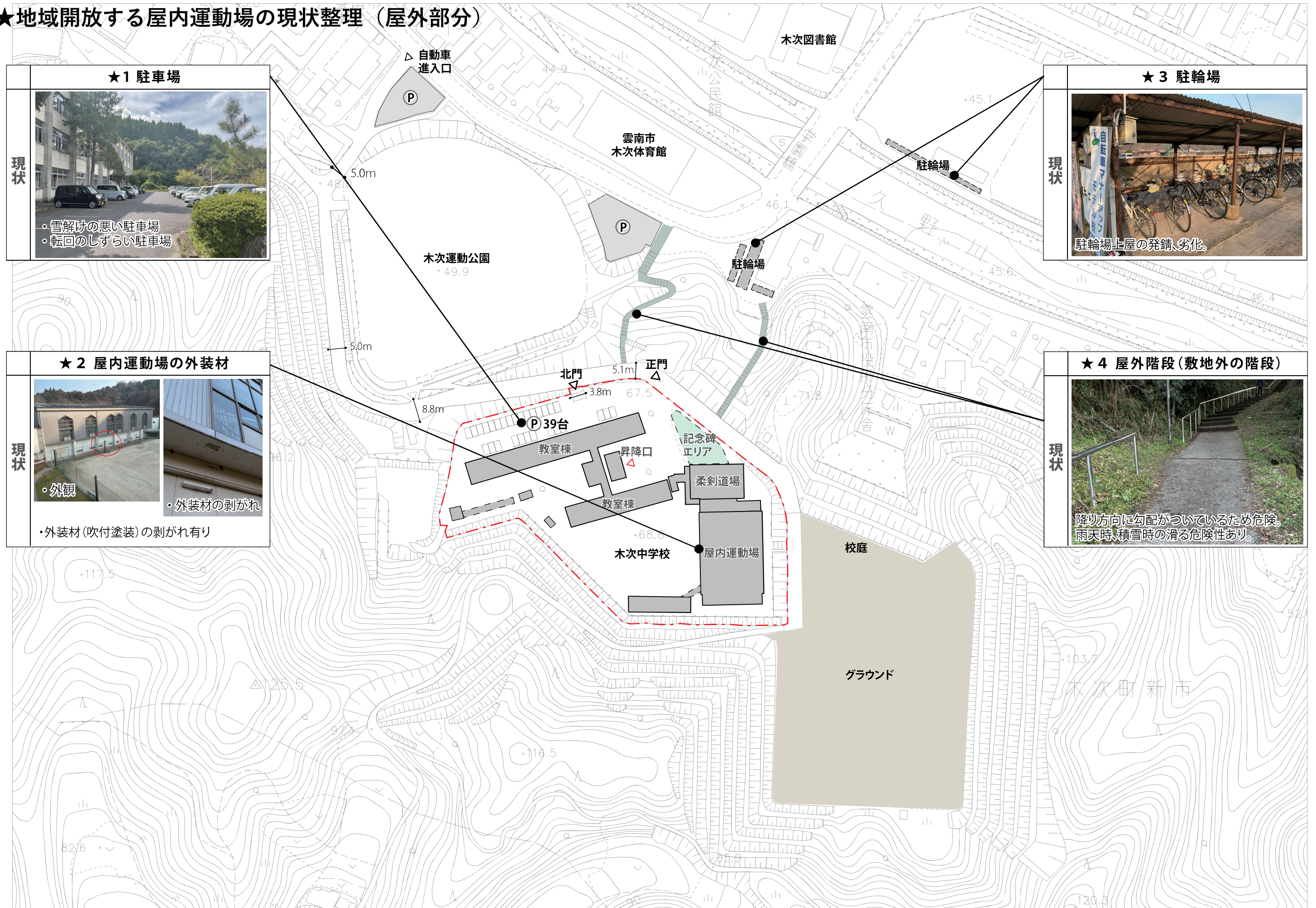
- 外観
- 外装材の剥がれ
- 外装材 (吹付塗装) の剥がれ有り

**★4 屋外階段 (敷地外の階段)**

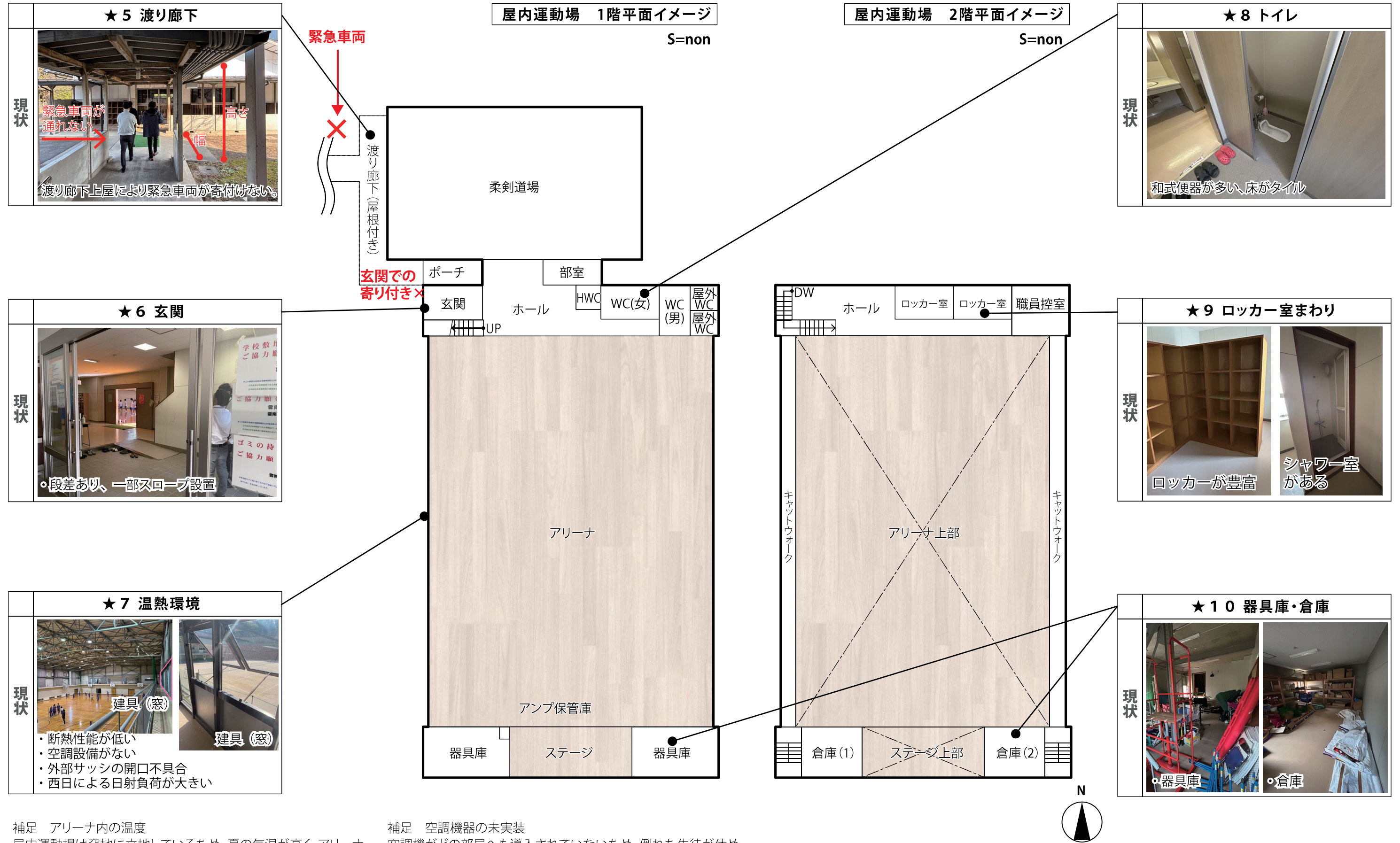
現状



降り方向に勾配がついているため危険。雨天時、積雪時の滑る危険性あり。



★地域開放する屋内運動場の現状整理（屋内部分）



補足 アリーナ内の温度  
屋内運動場は窪地に立地しているため、夏の気温が高く、アリーナ内での活動が危険となる。

補足 空調機器の未実装  
空調機がどの部屋へも導入されていないため、倒れた生徒が休めるような涼しい場所が、屋内運動場内に存在しない。

A-室リスト比較表、特別教室の室面積根拠資料

4. 必要諸室リスト

※基本計画段階での試算であり、今後の協議により変更の可能性あり。

1. 普通教室・特別支援学級部門										
室名	三刀屋中※対象室抜粋			既存校舎※施設台帳より			新校舎			諸条件
	面積	室数	計	面積	室数	計	面積	室数	計	
普通教室（1年生）	76.0	7	532	63.0	3	189.0	68.0	2	136.0	
ロッカースペース等							34.0	2	68.0	・普通教室に近接して設置。
普通教室（2年生）	(1～3年、計7学級)			63.0	2	126.0	68.0	2	136.0	
ロッカースペース等							34.0	2	68.0	・普通教室に近接して設置。
普通教室（3年生）	(1～3年、計7学級)			63.0	2	126.0	68.0	2	136.0	
ロッカースペース等							34.0	2	68.0	・普通教室に近接して設置。
教材庫	30.4	1	30.4				20.4	4	81.6	・各科目（国語・数学・英語・社会）1室配置する。
特別支援学級（三刀屋：協和学級）	31.2	2	62.4	31.5	3	94.5	34.0	3	102.0	・普通教室の近くへ配置。 ・可動間仕切りで2室へ分割できる仕様 ・クールダウン用の小スペースを適宜設置
知的指導教室（三刀屋：協和学級）	25.4	1	25.4	31.5	1	31.5	68.0	1	68.0	・1階へ配置。 ・手洗いを設置。 ・クールダウン用の小スペースを適宜設置
通級指導教室（三刀屋：特別活動教室）	67.6	1	67.6	43.5	1	43.5	34.0	1	34.0	・直接外部からの出入口が必要。
合計			717.8			610.5			897.6	
2. 特別教室部門										
室名	三刀屋中※対象室抜粋			既存校舎※施設台帳より			新校舎			諸条件
	面積	室数	計	面積	室数	計	面積	室数	計	
理科室	103.5	2	207.0	79.1	2	158.2	102.0	2	204.0	
理科準備室	69	1	69.0	54.3	1	54.3	34.0	1	34.0	
美術室	96	1	96.0	94.5	1	94.5	102.0	1	102.0	
美術準備室	31.2	1	31.2	32.8	1	32.8	34.0	1	34.0	
調理室	102.5	1	102.5	137.2	1	137.2	102.0	1	102.0	
家庭科準備室（既存：調理準備室）	31.2	1	31.2	31.9	1	31.9	34.0	1	34.0	・準備室は、調理・被服 兼用
被服室	102.8	1	102.8	127.2	1	127.2	102.0	1	102.0	
被服準備室				31.5	1	31.5				
技術室	102.8	1	102.8	170.6	1	170.6	102.0	1	102.0	・音楽室と離して配置
技術準備室	31.2	1	31.2	21.9	1	21.9	34.0	1	34.0	
音楽室	120	1	120.0	127.2	1	127.2	102.0	1	102.0	・技術室と離して配置
音楽準備室	19.5	1	19.5	31.5	1	31.5	51.0	1	51.0	・楽器の移動へ配慮 (1階配置、またはエレベーターの近くへ配置)
器具庫	32.5	1	32.5	64.1	1	64.1				・準備室と兼用
図書室（メディアセンター）	154.9	1	154.9	148.4	1	148.4	136.0	1	136.0	・管理書庫スペースの確保 ・書架の収納数を確保 ・図書を配架スペース、展示スペースを充実させる ・1学級の人数分の机数を確保 ・図書の劣化への配慮（紫外線対策・湿気対策） ・メディアセンターと多目的ホールは近接させ、連携利用できるように配慮。
多目的ホール（三刀屋：地域開放ホール） ※壁で廊下と区切り、室内化	463.2	1	463.2				136.0	1	136.0	メイン利用：学年集会、サブ利用：少人数学習 ・学年集会などの様々な利用人数、利用方法に対応できる家具・什器の設置。 ・2室以上へ分割する遮音性・移動性に配慮した仕切り壁の設置
集会室				85.4	1	85.4				
多目的室（既存校舎：学習室） （三刀屋：特別活動教室）	(通級指導教室と兼ねている?)			63.0	2	126.0	68.0	1	68.0	・少人数学習等の実施。 ・可動間仕切りで2室へ分割できる仕様
PC室（準備室込み）	96	1	96.0	170.6	1	170.6				
合計			1659.6			1613.2			1,241.0	

3. 管理諸室部門										
室名	三刀屋中※対象室抜粋			既存校舎※施設台帳より			新校舎			諸条件
	面積	室数	計	面積	室数	計	面積	室数	計	
校長室	43.1	1	43.1	31.5	1	31.5	34.0	1	34.0	
職員室・事務室	173.1	1	173.1	94.5	1	94.5	170.0	1	170.0	・昇降口の近くに配置し、見守りに配慮することが望ましい。 ・給湯室・打合せコーナーを含む ・保健室と離れすぎないことが望ましい。 ・職員室と事務室は一体の部屋として計画
湯沸室	7.6	1	7.6	21.1	1	21.1			職員室へ	
資料室							13.6	1	13.6	・会議室と兼ねることが可能
会議室	67.6	1	67.6	63.0	1	63.0	54.4	1	54.4	・資料室と兼ねることが可能
職員更衣室	25.4	1	25.4	12.4	2	24.8	17.0	2	34.0	
機材庫（三刀屋：倉庫）							20.4	1	20.4	・工具等の機材置き場兼、校務技師の作業スペースを確保。 ・直接外部と出入りができること
機械室	18.8	1	18.8	32.3	1	32.3	20.4	1	20.4	・ボイラー、灯油保管庫等 ・維持管理や更新がしやすいように車両の寄り付きを考慮。
保健室	67.6	1	67.6	63.0	1	63.0	68.0	1	68.0	・緊急車両や保護者の送迎車の寄り付きへの配慮 ・職員室との距離が離れすぎないことが望ましい。 ・配膳室との隣接配置は避けること。 ・カウンセリングスペースを設ける。
相談室	15.1	1	15.1	31.5	1	31.5	13.6	2	27.2	・通用口の近くに配置 ・1階に設置
放送室	10.6	1	10.6	15.8	1	15.8	20.4	1	20.4	
スタジオ				15.8	1	15.8				
配膳室（プラットホーム込み）	70.1	1	70.1				68.0	1	68.0	・保健室と離れた配置
配膳プール				16.8	3	50.3	20.4	2	40.8	
消火ポンプ室							13.6	1	13.6	・維持管理や更新がしやすいように車両の寄り付きを考慮。
小会議室	0.0	0	0.0	31.5	1	31.5				
電気室	0.0	0	0.0	19.8	1	19.8				
自学室（既存：自習室） （三刀屋：特別活動教室）										・人目に付きにくい配置。 ・通用口の近くに配置。
倉庫	7.2	1	7.2	15.2	4	60.7			資料室等へ	・別棟も含めて設置を検討
印刷室	19.1	1	19.1							
階段下程度										
合計			525.3			586.9			652.8	9.6

4. 共用空間部門											
室名	三刀屋中※対象室抜粋			既存校舎※施設台帳より			新校舎			諸条件	
	面積	室数	計	面積	室数	計	面積	室数	計		
昇降口（来客玄関を含む）	238.0	1	238	96.1	1	96.1	136.0	1	136.0	・玄関ホールを含む ・既存校舎の過去のスポーツの表彰記念品等を展示する、メモリアルコーナーを設置する。	
生徒更衣室							20.4	2	40.8	・人目に付きにくい室配置が望ましい。	
生徒会室	35.4	1	35.4	32.8	1	32.8	27.2	1	27.2		
※トイレ・廊下・階段・各メディアセンター等（新校舎：廊下係数1.4）									1520.0	1198.2	・職員専用トイレの設置 ・自学室・相談室へアクセスしやすい位置に通用口を設置 ・通用口付近へ車を横付けできるスペースを設ける。
合計			273.4			1648.8			1,402.2		

合計面積

既存校舎

4,459 m<sup>2</sup>

新校舎

4,194 m<sup>2</sup>

< 4,257 m<sup>2</sup> (1-2. 全体規模にて算出した計画面積)

### ■ 多目的室まわりの詳細整理（面積縮減の整理）

結論としては、多目的室・多目的ホールのどちらもあった方が使い勝手が良いと判断。

メディアセンターの204㎡より68㎡削減し、多目的室の68㎡を捻出。

室	室㎡	室数	用途
多目的室（既存校舎：学習室）	102	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数学習</li> <li>・日本語指導学習</li> </ul> ※普通教室から近い位置、遠い位置にそれぞれあると良い。
多目的ホール ※室内化	136	1	<b>メイン利用は学年集会、サブで日本語指導等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋を分割可能、少人数学習や日本語指導学習に活用</li> <li>・学年集会（最大3学級）</li> <li>・発表授業（1学級～2学級）</li> </ul> ※普通教室から近い位置、遠い位置にそれぞれあると良い。
メディアセンター	136	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室（書架の展示、司書による図書の管理等）</li> <li>・発表授業（～1学級）</li> <li>・図書室内での調べ学習（1学級）</li> </ul> <b>■面積内訳</b> 書架、展示：68㎡、管理書庫（司書スペースを含む）：20㎡、閲覧(1学級分)：48㎡
自学室（既存校舎：自習室）	68	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室へ入れられない生徒の生活場所</li> <li>・通用口の近くに配置</li> </ul>
相談室	13.6	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着きのない生徒等の一時避難場所</li> <li>・不登校生徒等の相談場所</li> </ul> ※他物件事例：4人機が入るくらいの室サイズ
通級指導教室	34	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通教室に在籍している生徒が、別の教室で個別の支援を受ける</li> </ul>

### ■ 多目的ホール 室分割の際の必要な仕様

必要な仕様は、「2室へ分割する遮音性・移動性に配慮した仕切り壁の設置」、「少人数学習や学年集会などの様々な利用人数、利用方法に対応できる家具・什器の設置」です。

#### 【仕様の例】

- 仕切り壁 → スライディングウォール（遮音性：○・移動性：△）  
 イースターカーテン（遮音性：△・移動性：○） 等
- 家具・什器 → 複数面へ黒板、ホワイトボード、スクリーンの設置（少人数対応）  
 移動性・収納性の高い、キャスター付机・椅子（スタッキング収納可能）（学年集会対応）

## 1-4 所要室の種類・面積・室数

### 1. 普通教室・特別教室の室数設定、教室利用率の算定（特別教室型の場合）

各教室の室数設定は基本的には**教室の利用率に基づき**、適正な室数で設定します。

利用率の算定について、考えやすいように**週あたりの各科目の授業数（コマ数）**をまず算出します。計算過程を表1にまとめます。週あたりコマ数ですが、年間のコマ数である標準授業時数を年間授業日数（35週）で除算することで算出されます。標準授業時数について、各学年の合計コマ数は1015コマで統一されていますが、科目のコマ数は各学年でばらつきがあります。

教室利用率の目標値については、カリキュラム上無理なく運用できる**教室利用率を80%以下を目標とし、教室数を設定**します。

利用率は、「週あたりのコマ数（表1：①,②,③,A） / 29コマ（表1：B）×設定教室数（表1：C）」で算定します。利用率算定方法の考え方は、特別教室（表1：青塗部）と普通教室（表1：オレンジ塗部）で異なります。まず、特別教室の利用率算定方法の考え方ですが、「全学年の週あたりのコマ数（A）」を「週あたり最大で実施できるコマ数（B×C）」で除算する考え方です。次に、普通教室の利用率算定方法の考え方ですが、「普通教室で実施する各科目（国語・社会・数学・外国語・道徳・総合学習・特別活動）の週あたりのコマ数の合計（表2：Y①,Y②,Y③）」を「週あたり最大で実施できるコマ数（表1：X）」で除算する考え方です。「普通教室で実施する各科目」は、各学級それぞれ自分の普通教室で授業を実施できないといけないため、利用率計算の分母にあたる「週あたり最大で実施できるコマ数」は「29コマ（表1：X）」となります。

表1：利用率算定表

科目	1年生（学級数：2）		2年生（学級数：2）		3年生（学級数：2）		全学年（学級数：6）	実施教室	C設定教室数 （授業を行う場所）	利用率 (A/(B×C))
	標準授業時数	① 週あたりのコマ数 (標準授業時数/35週)	標準授業時数	② 週あたりのコマ数 (標準授業時数/35週)	標準授業時数	③ 週あたりのコマ数 (標準授業時数/35週)				
国語	140	4.0	140	4.0	105	3.0	22.0	普通教室	6	65.5%
社会	105	3.0	105	3.0	140	4.0	20.0	普通教室		
数学	140	4.0	105	3.0	140	4.0	22.0	普通教室		
理科	105	3.0	140	4.0	140	4.0	22.0	理科室	2	37.9%
音楽	45	1.3	35	1.0	35	1.0	6.6	音楽室	1	22.7%
美術	45	1.3	35	1.0	35	1.0	6.6	美術室	1	22.7%
保健体育	105	3.0	105	3.0	105	3.0	18.0	運動場等	—	—
技術・家庭科	70	2.0	70	2.0	35	1.0	10.0	技術室・調理室・被服室	3	11.5%
外国語	140	4.0	140	4.0	140	4.0	24.0	普通教室	6	65.5%
道徳	35	1.0	35	1.0	35	1.0	6.0	普通教室		
総合学習	50	1.4	70	2.0	70	2.0	10.9	普通教室		
特別活動	35	1.0	35	1.0	35	1.0	6.0	普通教室		
計	1015	B,X 29.0	1015	29.0	1015	29.0	174.0	合計教室数	13	

表2：普通教室の利用率算定

科目	1年生			2年生			3年生		
	標準授業時数	週あたりのコマ数	利用率 (Y①/X)	標準授業時数	週あたりのコマ数	利用率 (Y②/X)	標準授業時数	週あたりのコマ数	利用率 (Y③/X)
国語	140	4.0	↓	140	4.0	↓	105	3.0	↓
社会	105	3.0		105	3.0		140	4.0	
数学	140	4.0		105	3.0		140	4.0	
外国語	140	4.0		140	4.0		140	4.0	
道徳	35	1.0		35	1.0		35	1.0	
総合学習	50	1.4		70	2.0		70	2.0	
特別活動	35	1.0		35	1.0		35	1.0	
計	645	Y① 18.4	63.4%	630	Y② 18.0	62.1%	665	Y③ 19.0	65.5%

#### ■参照

標準授業時数：各学年で実施すべき授業時間の総時間数、各学年1015授業（学校教育法施行規則別表第四より）  
年間授業日数：35週（中学校学習指導要領より）

## 2. 教科教室の室数設定、教室利用率の算定（教科教室型の場合）

各教室の室数設定は基本的には**教室の利用率に基づき**、適正な室数で設定します。

利用率の算定について、1.と同様に週あたりのコマ数を算出し、**教室利用率80%以下を目標に教室数**を設定します。利用率は、「週あたりのコマ数（表1：①、②、③、A） / 29コマ（表1：B）×設定教室数（表1：C）」で算定します。道徳・総合学習・特別活動・保健の授業は全て多目的室で行う計算です。教科教室型の教室数設定を行う際の留意点を以下に記載します。

学校運営の変更、つまり**教科教室型から特別教室型へ変更する際に、学年のまとまりを確保しつつ学級の再割り当てが可能**であることです。令和12年度は各学年2～3学級、令和13年度以降は各学年2学級となることから、普通教室として扱える教室である国語教室・数学教室・社会教室・英語教室・予備教室の5種類（水色塗部）で、学年のまとまりを作る必要性があります。

以上の留意点をふまえて、教室数設定の考え方を以下に示します。

- ・特別教室型の場合の合計教室数と教科教室型の場合の合計教室数を揃える。
- ・数学教室+予備教室1つの学年まとまり、外国語教室で1つの学年まとまり、国語教室+社会教室で1つの学年まとまり、**計3つの学年まとまりを確保し、特別教室型への運用変更への配慮を行う。**

表3：利用率算定表（教科教室型）

科目	1年生（学級数：2）		2年生（学級数：2）		3年生（学級数：2）		全学年（学級数：6） A週あたりのコマ数 (①×2学級+②×2学級 +③×2学級)	実施教室	C設定教室 数 (授業を行 う場所)	利用率 (A/(B×C))
	標準授業時数	① 週あたりの コマ数 (標準授業時 数/35週)	標準授業時数	② 週あたりの コマ数 (標準授業時 数/35週)	標準授業時数	③ 週あたりの コマ数 (標準授業時 数/35週)				
国語	140	4.0	140	4.0	105	3.0	22.0	国語教室	1	75.9%
社会	105	3.0	105	3.0	140	4.0	20.0	社会教室	1	69.0%
数学	140	4.0	105	3.0	140	4.0	22.0	数学教室	1	75.9%
理科	105	3.0	140	4.0	140	4.0	22.0	理科室	2	37.9%
音楽	45	1.3	35	1.0	35	1.0	6.6	音楽室	1	22.7%
美術	45	1.3	35	1.0	35	1.0	6.6	美術室	1	22.7%
保健体育	105	3.0	105	3.0	105	3.0	18.0	運動場等	—	—
技術・家庭科	70	2.0	70	2.0	35	1.0	10.0	技術室・調理室・被服室	3	11.5%
外国語	140	4.0	140	4.0	140	4.0	24.0	英語教室	2	41.4%
道徳	35	1.0	35	1.0	35	1.0	6.0	予備教室	1	78.8%
総合学習	50	1.4	70	2.0	70	2.0	10.9	予備教室		
特別活動	35	1.0	35	1.0	35	1.0	6.0	予備教室		
計	1015	B, X 29.0	1015	29.0	1015	29.0	174.0	合計教室数	13	

### ■参照

標準授業時数：各学年で実施すべき授業時間の総時間数、各学年1015授業（学校教育法施行規則別表第四より）  
年間授業日数：35週（中学校学習指導要領より）

## B-木材利用について

### ■ 木材利用（内装木質化）についての整理

#### A.内装木質化のメリット

##### A-1 心理面の効果



- ・生理的な効果（香りや触感、調湿作用など）により、副交感神経が活発になり、リラックス効果が得られる。
- ・リラックス効果により、作業効率や学業成績の向上が期待できる。
- ・地元の木を使うことで建物自体に愛着が生まれる。

##### A-2 身体面の効果



- ・生理的な効果（香りや触感、調湿作用など）により、人がリラックスすることで、自己治癒力や免疫力が高まる。
- ・床のフローリング仕上は防滑性に優れるため、安全性の高い施設となる。

##### A-3 衛生・健康面の効果



- ・木材の調湿作用により、衛生的かつ健康的な室内環境となる。
  - 高温多湿環境の抑制（ダニ、カビの繁殖の抑制、建物内の結露の抑制等）
  - 低温多湿環境の抑制（ウイルス繁殖の抑制、肌の乾燥・ヒビ割れの抑制等）
- ・消臭や抗菌効果が得られる。

##### A-4 社会貢献する効果



- ・地元材・地域材のピーアール効果が得られる。
- ・地域経済に対する波及効果が得られる。

#### B.内装木質化範囲の考え方

内装木質化を優先して実施すべき室の考え方を下記にまとめる。

##### B-1 上記、内装木質化のメリットを優先して得たい室

- ・普通教室（+ロッカースペース）、特別支援学級、通級

理由：生徒たちの健康的な生活空間を確保するため。

##### ・図書室

理由：落ち着いた読書環境を確保するため。また、木材の調湿効果により、図書の品質を確保するため。

##### B-2 建物の見せ場、アクセント効果を得たい場所、来客対応スペース

- ・昇降口、校長室

##### B-3 吸音機能が必要な室（代替の吸音材もあるため、B-1、B-2と比べ優先度 低）

- ・音楽室、放送室

#### C.懸念点

##### C-1 法規制（内装制限）

建築物内の内装材が制限される法令。

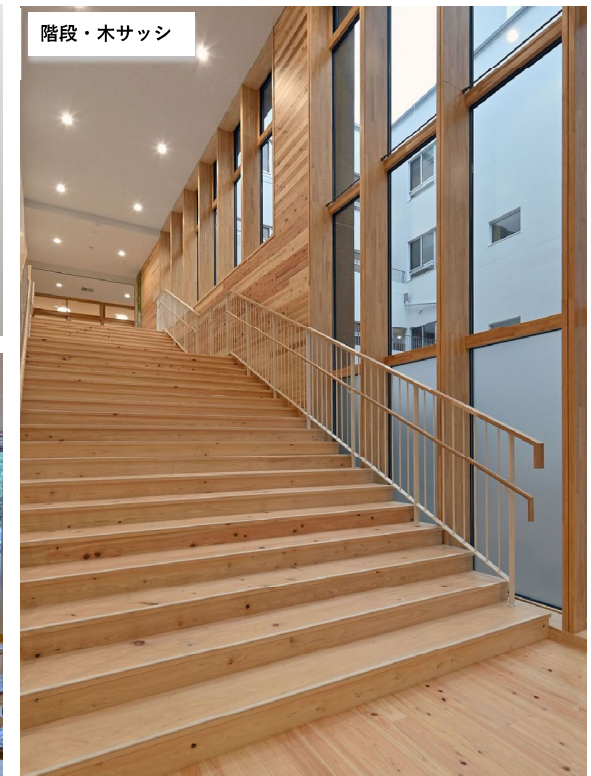
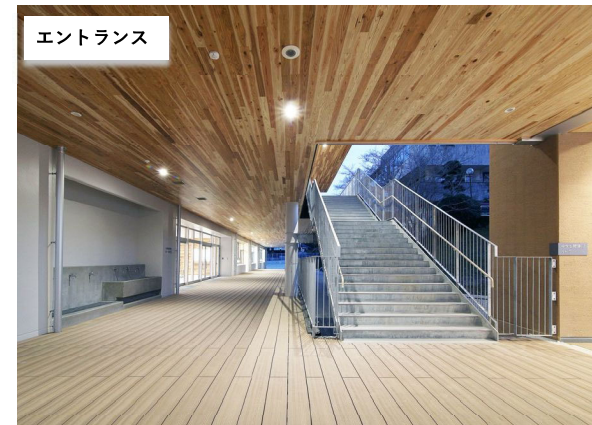
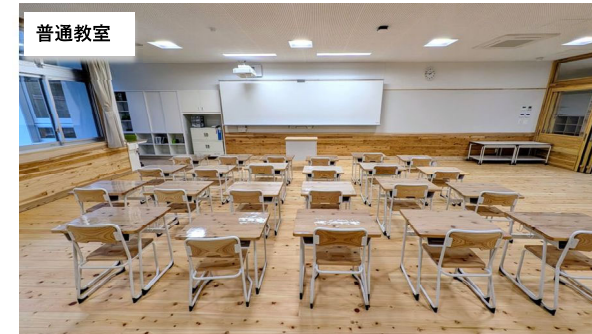
本計画の建物用途は中学校のため、内装制限は適用外となる。

##### C-2 コスト

内装木質化は、一般的な仕上げと比較しコスト増となる。弊社実績より、コスト比較を下記にまとめる。

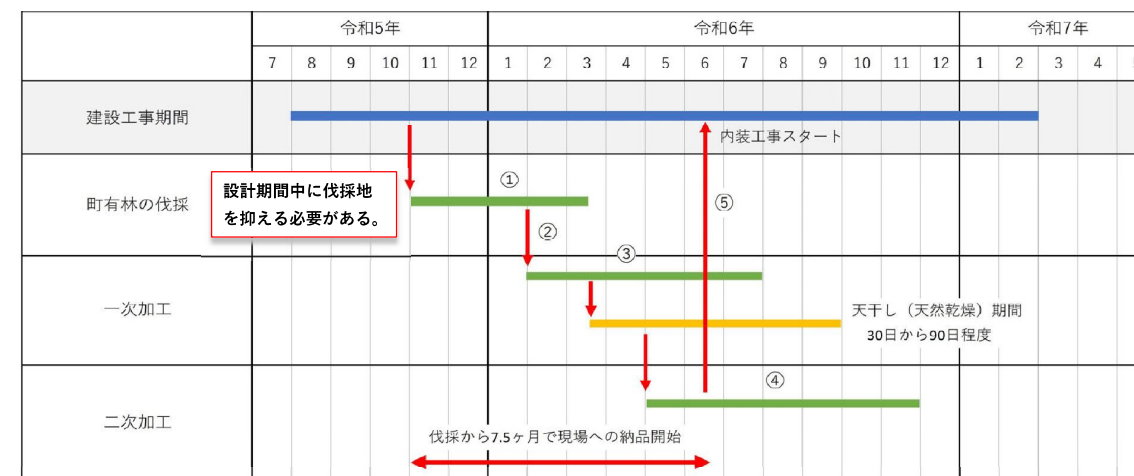
仕上	一般的な仕上げ	内装木質化	単価	工種
床仕上	一般的な仕上げ：ビニル床シート（柄有）	：4,500円/㎡（直工）		
	内装木質化：直貼りフローリング（市産材）	：18,450円/㎡（直工）		
壁仕上	一般的な仕上げ：塗装	：2,000円/㎡（直工）		
	内装木質化：腰木羽目板張り（市産材）	：46,740円/㎡（直工）		
天井仕上	一般的な仕上げ：ロックウール化粧吸音板	：4,560円/㎡（直工）		
	内装木質化：天井木羽目板張り（市産材）	：39,950円/㎡（直工）		

#### D.事例紹介（福岡市 添田町立添田小学校・添田中学校）

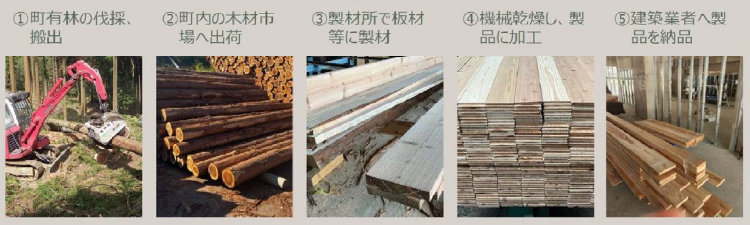
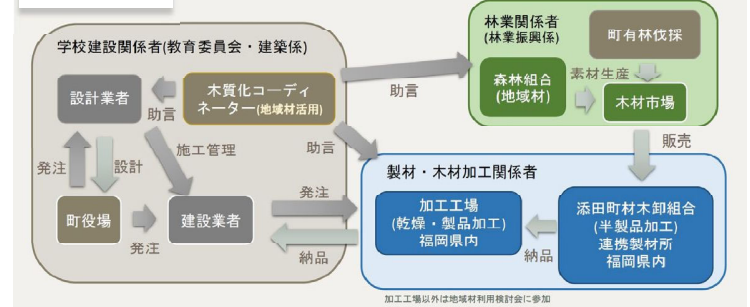


地域材を使った記憶として、工事で発生した木の端材を活用

#### 木材調達スケジュール



#### 取り組み体制



上記A～Dの項目に留意し、予算や目的に応じ内装木質化を設計で整理することが大切である。

## C-教室の併用について

### ■ 室兼用等による床面積の削減案について

木次中学校新校舎整備へ向けたコスト削減案として、床面積の削減が挙げられる。下記の3案について、事例を調査し、実現性をまとめる。

#### ①家庭科室と被服室の兼用

- ・メーカー聞き取りより、同規模校（各学年2～3学級）で家庭科・被服室は、別々としている。
- ・小規模校（各学年1学級）となると、兼用の事例も見られる。
- ・ただし、他の特別教室と比較し教室の利用率が低いため、室兼用を行う**優先度は高い**。

#### ①を行う上での、設計上の留意点

- ・被服室で利用するミシンを行えるよう、作業スペース付近にコンセントを設置する。
- ・被服授業は座り作業がメインとなるため、机の下部に足を収納できる等の足元への配慮が必要。
- ・他の特別教室と比べ室のサイズを広く設定。（調理・被服作業スペース、収納スペース等へ活用）

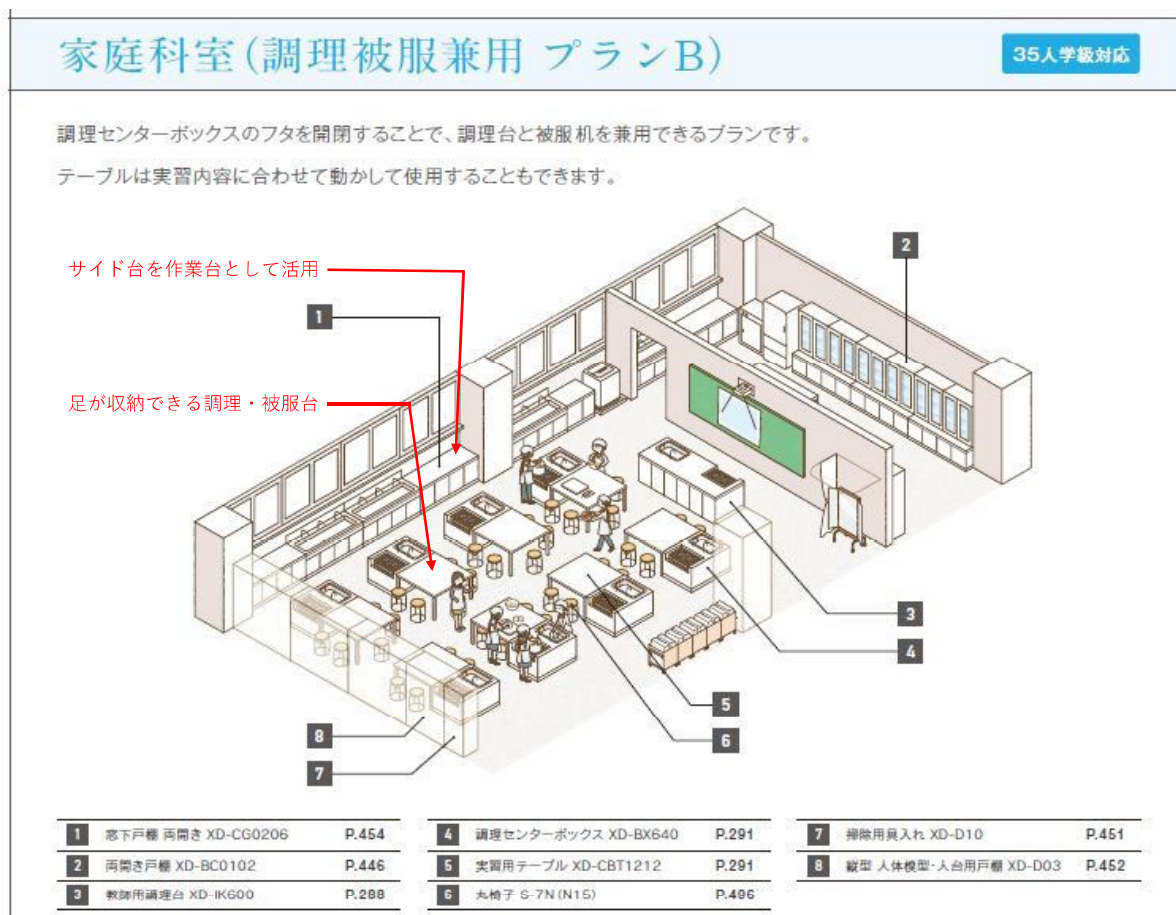
#### ②校長室と会議室の兼用

- ・メーカー聞き取りより、会議室と兼用している事例は見られなかった。校長室の一部を応接室として用いる事例は見られた。
- ・校長室（応接室）と会議室の用途が異なるため、可能であればそれぞれ1室として設けることが望ましい。**優先度は低い**

#### ③その他

- ・オープンスペース(OS)を狭くする等 あると便利ではあるが主の用途ではない室の面積を削減していく案。
- ・現状のプランで既にOS等の面積にゆとりがないため、**優先度は低い**。

#### ※家庭・被服兼用室のレイアウトイメージ



## D-吹抜きのメリット・デメリット整理

### ■ 吹抜け空間 メリット・デメリット

#### 吹抜きの事例写真



吹抜け階段



エントランス



ランチルーム

#### メリット

① 開放感と視覚的広がり 空間が縦に広がり、建物全体が広く明るく感じられ、ゆとりを演出可能。
② 採光・通風の改善 天井付近の窓（高窓・天窓）から自然光が深く届く。高天井により空気の流れが生まれやすく風通しが良好と
③ シンボル性・デザイン性 その建物の象徴となる空間演出が可能。
④ 一体感とコミュニケーション 複数フロアが視覚的・空間的に繋がるため、一体感やゆるやかな交流を生み出すことが可能。

#### デメリット

① 冷暖房効率の悪化 暖かい空気は上に逃げ、冷たい空気は下に溜まるため冬季の暖房が行いづらい。 ▶対策：高气密高断熱化、シーリングファン設置、床暖房、適切なエアコン選定。
② 音の拡散 室の容積が大きくなるため、生活音が響きやすい。 ▶対策：吸音材の検討
③ 高所メンテナンスの困難さ 天井が高く、届かない場所の掃除が困難。 ▶対策：メンテナンスバルコニーなどの設置、清掃面に配慮した仕上の検討
④ 構造・コスト増 吹き抜け部分の床面積を省くことが出来るが、その分単価が上昇する。

### (1) 検討の背景

木次中学校の建替えにあたっては、「雲南省の“人づくり”を実現する学校」のもと、生徒一人ひとりの学びと成長を支える教育環境の整備を目指し、原位置建替えを前提として検討を進めてきた。

配置計画および平面計画の検討においては、単なる建設効率や工期の観点にとどまらず、基本計画書第3章に定める施設整備方針である「学び」「生活」「安全」「地域」「環境」の5つの視点との整合を重視し、計画の検討を行った。

#### 【基本方針との整合】

基本計画書の施設整備方針との整合を図るため、以下の観点を重視した。

- ・ 学び：新しい時代の学びを実現する学校
- ・ 生活：健やかな心と体を育む学校
- ・ 安全：安全・安心な学校
- ・ 地域：地域と共に育つ学校
- ・ 環境：環境にやさしい学校

#### 【施設整備方針との整合】

特に次の観点を重視した。

- ・ 個別最適な学びの実現（学び）
- ・ 安全でスムーズな動線計画（安全）
- ・ 大人が見守りやすい、見通しの良い計画（安全）
- ・ 光と風を感じる健康的な生活空間（生活）
- ・ 優れた眺望や自然に配慮した学校づくり（環境）
- ・ 利用環境の改善による快適性の向上（環境）
- ・ 地域利用を念頭にした学校計画（地域）
- ・ 地域の将来を見据えた計画（地域）

## **(2) 配置案の比較検討**

これらの方針を踏まえ、A案～D案について、以下の視点から総合評価を行った。

- ・ 工事中の安全確保
- ・ 学校運営への影響低減
- ・ 生徒動線・車両動線の安全性
- ・ 駐車場確保および来客対応
- ・ 教育環境（採光・通風・眺望）
- ・ グラウンド機能の確保
- ・ 工期および経済性
- ・ 将来運用への柔軟性

### **A案（分割建替案）の評価**

A案は、既存施設を活用しながら段階的整備が可能である。

本案は仮設校舎を設置する計画であり、以下の特徴がある。

#### **【メリット】**

- ・ 校舎建設を比較的自由的な配置で進められる
- ・ 一定の工区分離が可能

#### **【デメリット】**

- ・ 仮設校舎整備費が必要となる
- ・ 仮設校舎整備費については制度上国庫補助金の対象となるものの、補助対象範囲および補助基準額が限定されており、国庫補助金は見込めない
- ・ 起債（過疎債）についても対象外となり、財政負担の多くを市が負担することになる
- ・ 生徒の移動負担が増加する
- ・ 教育環境の質が一時的に低下する
- ・ 学校運営への影響が大きい
- ・ 工事動線と学校動線が交錯しやすい
- ・ 工事期間中の安全管理負担が大きい

### **B案（一括建替案）の評価**

B案は、配置の工夫により一定の動線整理が可能な案である。

本案も仮設校舎を設置する計画である。

#### **【メリット】**

- ・ 段階施工がしやすい
- ・ 一部工区分離が可能

#### **【デメリット】**

- ・ 仮設校舎整備費が必要となる
- ・ 仮設校舎整備費については制度上国庫補助金の対象となるものの、補助対象範囲および補助基準額が限定されており、国庫補助金は見込めない
- ・ 起債（過疎債）についても対象外となり、財政負担の多くを市が負担することになる
- ・ 工事期間中（約2年間）は、仮設校舎を利用することになり、教育環境への影響が避けられない

- ・ 駐車場計画に制約がある
- ・ 工程調整が複雑になりやすい

### **C案（仮設無し案）の評価**

C案は、仮設校舎を必要としない計画である。

#### **【メリット】**

- ・ 既存敷地を効率的に活用できることから、整備コストの抑制が期待でき、経済性の面では優位性がある

#### **【デメリット】**

- ・ 校舎近接施工となるため、工事期間中の振動および騒音が教育活動へ影響を及ぼす可能性がある
- ・ 工事と学校活動が近接して並行するため、学習環境への配慮が特に必要となる
- ・ 動線交差が生じやすい
- ・ 駐車場確保に制約がある
- ・ 将来的な配置変更への柔軟性が限定的
- ・ 教育環境面でのゆとり確保に課題がある

### **D案（グラウンド整地案）の評価**

D案は、整地したグラウンドに新校舎を配置する計画である。

#### **【メリット】**

- ・ 既存敷地を効率的に活用できることから、整備コストの抑制が期待でき、経済性の面では優位性がある
- ・ 駐車場を最も多く確保できる
- ・ 引越し回数が少ないため、学校運営への負担が少ない

#### **【デメリット】**

- ・ 不整形な第一グラウンドとなる。
- ・ 生徒動線と工事車両の動線交差が長期間で発生する
- ・ 動線交差が生じやすい
- ・ 新校舎からの視認管理に懸念点がある

### **(3) D案（グラウンド整地案）の評価**

D案は、基本計画書第3章に定める施設整備方針の実現性が最も高い案であると評価した。

#### ①安全・安心な学校づくりの実現

- ・ 工事エリアと学校エリアを明確に分離できる
- ・ 生徒動線と工事動線の交差を最小化できる
- ・ 見守りやすく安全性の高い動線計画が可能

#### ②健やかな学びの環境の確保

- ・ 校舎南側にゆとりがあり良好な日照を確保できる
- ・ 採光・通風に配慮した配置計画が可能
- ・ 開放感のある教育環境を形成できる

#### ③安全・安心な環境の確保

- ・ 仮設校舎を設置する必要がない計画である
- ・ 工事期間中（約2年間）も現校舎授業継続が可能
- ・ 学習環境の大きな変更が生じないため、生徒および教職員の心理的・身体的負担を軽減できる
- ・ 学校運営を継続しながら安全に整備を進めることができる

#### ④地域と共に育つ学校づくり

- ・ 駐車場を現状より大幅に確保可能
- ・ 地域利用・来客対応に柔軟に対応可能
- ・ 地域開放を見据えた外構計画が可能

#### ⑤将来を見据えた計画

- ・ 配置の自由度が高く、将来的な施設変更に対応しやすい
- ・ 生徒数変動など学校規模の変化にも柔軟に対応可能

#### ⑥総合的な事業実現性

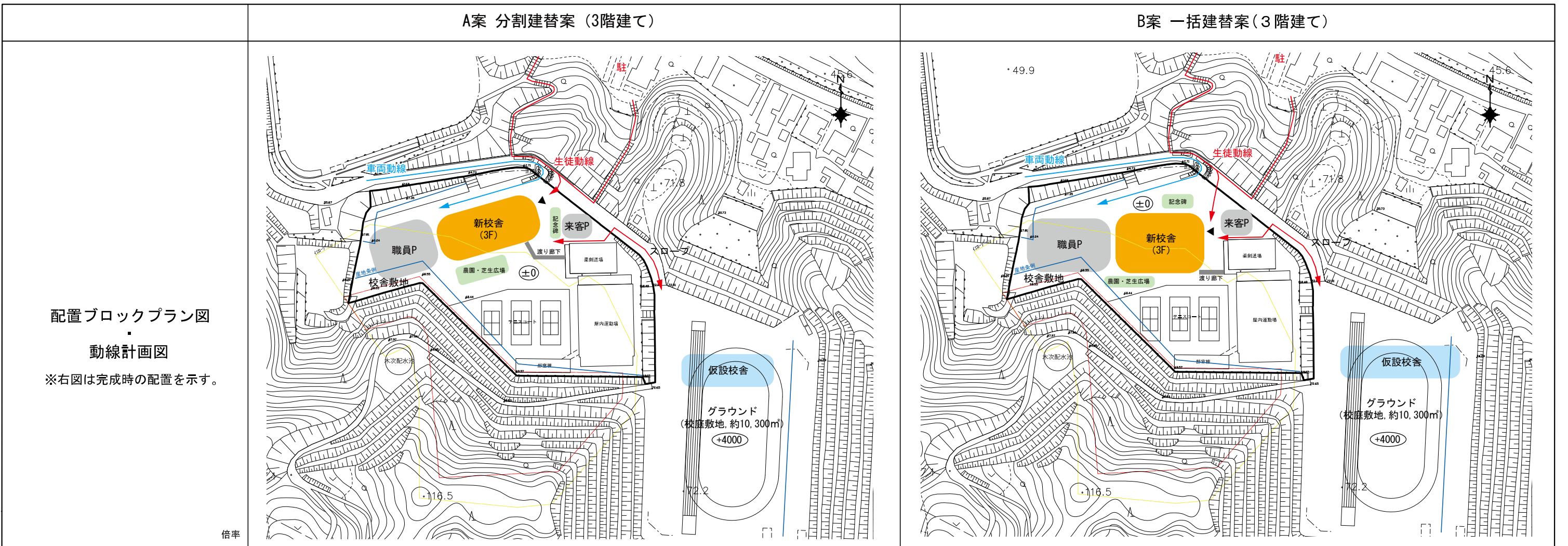
- ・ 安全性・教育環境・利便性のバランスに優れている
- ・ 工事計画が整理しやすく、段階的整備が可能
- ・ 仮設校舎整備が不要であり、事業費抑制が図られる
- ・ 国庫補助金の活用を見据えた計画とすることで財政負担の軽減が可能
- ・ 起債（過疎債）に活用により一般財源負担の平準化が可能
- ・ 財源確保の見通しが立てやすく、財政面から見ても実現性が高い計画である

### **(4) 結論**

以上の検討結果を踏まえ、基本理念および基本方針・施設整備方針の実現に最も適した配置計画として、**D案（グラウンド整地案）を採用案とする。**

今後は、本案を基本として設計および整備を進め、より具体的な計画の精査を行う。

※ 各配置案の詳細、評価項目等は、次ページの「配置ブロックプラン図・動線計画図」を参照。



項目	倍率	評価	説明	項目	倍率	評価	説明
完成後	1. 歩行者動線と車両動線の交差 ○動線交差 無、△動線交差 有り	1	○ (2)	動線交差が発生しない。	○ (2)	動線交差が発生しない。	
	2. ゆとりある車両動線の確保 ○：敷地内車道幅が広く曲がりやすい △：○の内容のいずれかが不足	1	△ (1)	正門まわりのスペースにゆとりが少ないため、車両のカーブが行いづらい。	○ (2)	正門まわりのスペースにゆとりが確保され、車両のカーブが行いやすい。	
	3. 駐車台数 (現状39台) ◎100台～、○60台～99台、△39～59台、×～38台	2	○ (4)	現状より多く確保できる。(地域開放・来客用：9台、木次中学校用：58台)	○ (4)	現状より多く確保できる。(地域開放・来客用：9台、木次中学校用：73台)	
	4. 自然採光・自然通風 ◎通風、採光いずれもよし、○通風、採光のどちらかが良い、△通風、採光のいずれも悪い	1	◎ (3)	新校舎の南にゆとりがあるため、日当たりが良い。屋内運動場との離隔距離を取っているため、自然通風が行われやすい。	◎ (3)	新校舎の南にゆとりがあるため、日当たりが良い。屋内運動場との離隔距離を取っているため、自然通風が行われやすい。	
	5. 眺望空間の確保 ◎最も良い、○良い、△悪い	2	◎ (6)	敷地北側に配置されているため、建物から木次の街並みを望める。他の案と比較し、建物の位置・角度的に最も眺望が優れている。	○ (4)	敷地北側に配置されているため、建物から木次の街並みを望める。	
	6. グラウンドの大きさ ○整形で広い、△狭いor不整形	1	○ (2)	整形で広い現状の大きさ (約10,300㎡) を維持できる。	○ (2)	整形で広い現状の大きさ (約10,300㎡) を維持できる。	
	7. 見守り ○多方向を見守れる、△いずれかを見守れない	1	○ (2)	新校舎より北側の正門付近と南側のテニスコートを見守ることが可能。	○ (2)	新校舎より北側の正門付近と南側のテニスコートを見守ることが可能。	
工事中	8. 工事中の動線 動線交差期間 ○：発生しない、△：いつれかの期間で発生、×：常に発生	1	△ (1)	仮設校舎解体期間 (4か月) で動線交差が発生。	△ (1)	仮設校舎解体期間 (4か月) で動線交差が発生。	
	9. 工事の難易度 ※工事エリアの明快さ、工事ヤードの広さで総合的に判断	1	△ (1)	工事エリアと学校運営エリアの区分けが複雑。	○ (2)	工事エリアと学校運営エリアの区分けが明快で広い工事ヤードを確保できる。	
	10. 工事中の騒音・振動 騒音・振動影響期間 ○：発生しない、△：いつれかの期間で発生、×：常に発生	1	△ (1)	新校舎へ引越後、既存校舎解体期間 (3か月) で騒音・振動の影響を受ける。	○ (2)	常に工事中の騒音・振動の影響を受けない。	
	11. 工事中の生活環境 ※引越しの回数、校舎の棟が離れるかどうか、仮設校舎を使用等 で総合的に判断	1	× (0)	仮設校舎を用いるため、内部の生活環境に難がある。既存校舎の特別教室棟と仮設校舎を併用する時期が存在し、生徒の管理の難しさがある。(引越し回数：2回)	△ (1)	仮設校舎を用いるため、内部の生活環境に難がある。(引越し回数：2回)	
その他	12. 工期 ○令和12年度開校、△令和13年度開校	1	○ (2)	令和12年9月より新校舎を利用可能。※概略工程表 参照	○ (2)	令和12年9月より新校舎を利用可能。※概略工程表 参照	
	13. 経済性 ◎：35億未満、○：35億～37億、△：38億～40億、×：41億以上 (仮設校舎は実質負担が大きい1ランクダウン)	2	× (0)	概算工事費：約38億円 (新校舎：32億円、仮設校舎：6億円) ※仮設校舎を用いるため、自治体の実質負担金額が大きい。	× (0)	概算工事費：約39億円 (新校舎：32億円、仮設校舎：7億円) ※仮設校舎を用いるため、自治体の実質負担金額が大きい。	
<b>総評</b>			△ (25)	工事中の評価が低く、経済性が低い。		△ (27)	総合的に評価が高いが、経済性で大きく劣る。

		C案 仮設無し案 (3階建て)		D案 グラウンド整地案 (3階建て)			
<p>配置ブロックプラン図 動線計画図 ※右図は完成時の配置を示す。</p>							
倍率							
完成後	1. 歩行者動線と車両動線の交差 ○動線交差 無、△動線交差 有り	1	○ (2)	動線交差が発生しない。	△ (1)	動線交差が発生する。	
	2. ゆとりある車両動線の確保 ○：敷地内車道幅が広く曲がりやすい △：○の内容のいずれかが不足	1	○ (2)	正門まわりのスペースにゆとりが確保され、車両のカーブが行いやすい。	○ (2)	正門まわりのスペースにゆとりが確保され、車両のカーブが行いやすい。	
	3. 駐車台数 (現状39台) ◎100台～、○60台～99台、△39～59台、×～38台	2	○ (4)	現状より多く確保できる。(地域開放・来客用：9台、木次中学校用：67台)	◎ (6)	現状より多く確保できる。(地域開放・来客用：19台、木次中学校用：49台) ※第二グラウンドを臨時的駐車場とすることで、合計100台以上の駐車が可能	
	4. 自然採光・自然通風 ◎通風、採光いずれも良し、○通風、採光のどちらかが良い、△通風、採光のいずれも悪い	1	△ (1)	部室棟、屋内運動場棟の近くに新校舎を配置するため、日当たりが良くない。建物が密集しているため、自然通風が行われにくい。	○ (2)	新校舎の南側にゆとりがあるため、日当たりが良い。新校舎と屋内運動場が近接しているため、風通しが悪い。	
	5. 眺望空間の確保 ◎最も良い、○良い、△悪い	2	△ (2)	建物が敷地南側に配置されており、少し奥まるため建物から木次の街並みを望みにくい。	○ (4)	建物が既存グラウンドの敷地に配置されており、北側の森林を伐採すれば建物から木次の街並みを望める。	
	6. グラウンドの大きさ ○整形で広い、△狭いor不整形	1	○ (2)	整形で広い現状の大きさ (約10,300㎡) を維持できる。	△ (1)	不整形でグラウンドが分割される。 (第一グラウンド約9,000㎡、第二グラウンド約3,000㎡)	
	7. 見守り ○多方向を見守れる、△いずれかを見守れない	1	△ (1)	新校舎より北側の正門付近を見守ることが可能。テニスコートを敷地北西側へ配置するため、新校舎から見守りにくい。	△ (1)	新校舎より北側の正門付近を見守ることが可能。テニスコートは段差があるため見守り不可。	
工事中	8. 工事中の動線 動線交差期間 ○：発生しない、△：いずれかの期間で発生、×：常に発生	1	× (0)	工事車両動線と生徒の生活動線が常に交差する。	× (0)	造成工事期間 (1年) と新校舎建設工事期間 (1年4ヵ月) で動線交差が発生。	
	9. 工事の難易度 ※工事エリアの明快さ、工事ヤードの広さで総合的に判断	1	△ (1)	工事エリアと学校運営エリアの区分けが複雑。	○ (2)	工事エリアと学校運営エリアの区分けが明快で広い工事ヤードを確保できる。	
	10. 工事中の騒音・振動 騒音・振動影響期間 ○：発生しない、△：いずれかの期間で発生、×：常に発生	1	△ (1)	既存校舎 (特別教室棟、WC棟) 解体期間 (3ヵ月)、新校舎建設期間 (1年4ヵ月) で工事中の振動・騒音を受ける。	○ (2)	常に工事中の騒音・振動の影響を受けない。	
	11. 工事中の生活環境 ※引越しの回数、校舎の棟が離れるかどうか、仮設校舎を使用等で総合的に判断	1	× (0)	工事中は、普通教室棟と特別教室棟が常に離れており、生徒の管理の難しさがある。工事中は、屋内運動場、新特別教室棟のトイレを使用。(引越し回数：2回)	◎ (3)	常に校舎の棟がまとまっており、生徒の管理がしやすい。(引越し回数：1回)	
その他	12. 工期 ○令和12年度開校、△令和13年度開校	1	△ (1)	令和13年9月より新校舎を利用可能。※概略工程表 参照	△ (1)	R13年9月より新校舎を利用可能。※概略工程表 参照	
	13. 経済性 ◎：35億未満、○：35億～37億、△：38億～40億、×：41億以上 (仮設校舎は実質負担額が大きいため1ランクダウン)	2	◎ (6)	概算工事費：約32億円 ※自治体の実質負担額が少ない。	○ (4)	概算工事費：約37億円 (校舎：33億円、造成：4億円) ※造成高さを高くすれば、減額が可能	
総評		△ (23)		工事中の評価や自然通風・自然採光で評価が劣る。	○ (29)		総合的に評価が高いためD案を最優秀案とする。

D-1案 普通教室 各階配置 案

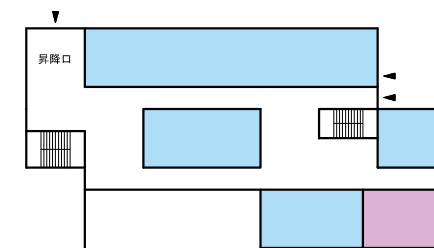
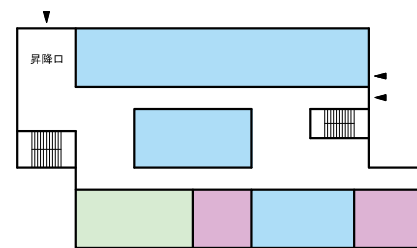
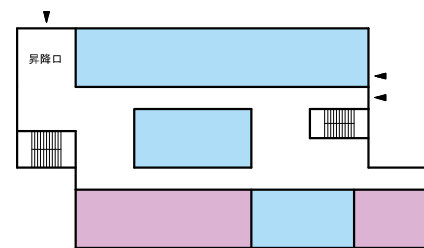
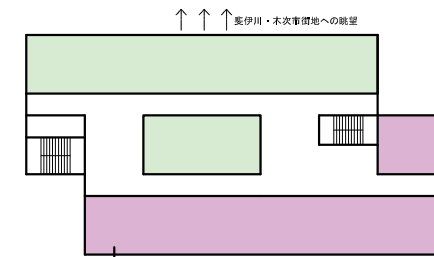
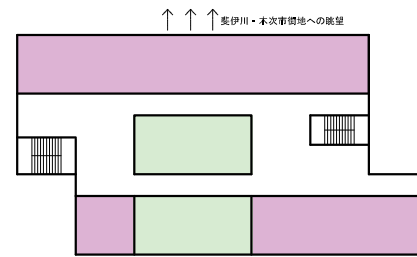
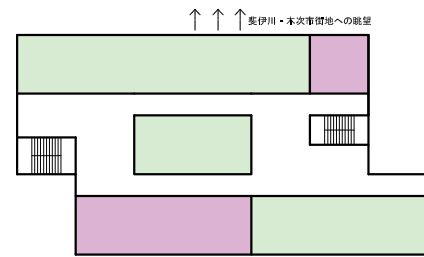
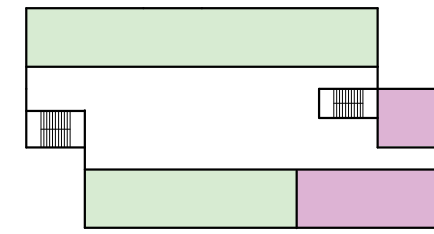
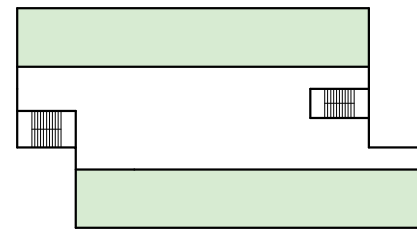
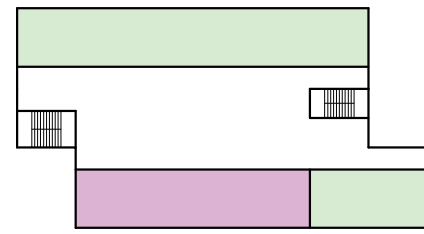
D-2案 2階 普通教室部門 案

D-3案 第2グラウンド接続案

平面ゾーニング図  
動線計画図

■ 凡例

- 普通教室部門
- 特別教室部門
- 管理諸室部門



プランの特徴	—	各階の南側に普通教室を配置した案 回遊型廊下により他学年の前を通過する動線が発生しない動線計画	—	教室の利用率の高い普通教室を2階に配置し、3階に特別教室を配置した案。 回遊型廊下により他学年の前を通過する動線が発生しない動線計画	—	2階の特別支援学級から、直接外へ（農園へ）出られる案。 回遊型廊下により他学年の前を通過する動線が発生しない動線計画
自然採光・自然通風	○	日当たりの良い南側に生徒の主な生活空間となる普通教室を配置している。 生徒の生活場所である1階の普通教室の通風環境が良くない。	○	採光・通風に優れる2階以上に生徒の主な生活空間となる普通教室を配置している。 一部、北側普通教室が発生する。	○	採光・通風に優れる2階以上に生徒の主な生活空間となる普通教室を配置している。 一部、北側普通教室が発生する。
眺望できる共用空間の確保	○	多学年の共用空間である2階メディアセンターからの木次の街並みへの眺望をできる。	○	生徒の主な生活空間となる普通教室から、木次の眺望を望める。	○	多学年の共用空間である2階メディアセンターからの木次の街並みへの眺望をできる。
メディアセンターとの連携	△	メディアセンターと普通教室が離れている。	○	メディアセンターを普通教室と同一階に配置しているため、各教室と連携が行いやすい。	○	メディアセンターを普通教室と同一階に配置しているため、各教室と連携が行いやすい。
総評	—	各学年の普通教室とメディアセンターが離れている点で劣る。	—	各部門のゾーニングにまとまりがある案。	—	第2グラウンドへのアクセス性を確保した案。また、造成コストの削減が可能な案。

# D-1案 各階 普通教室案 [ S=1/500 ]

※今後の配置・平面作業のための検討資料で、参考図となります。



第1グラウンド

柔剣道場

屋内運動場

部室棟

防球ネット

記念碑  
関係

生徒

昇降口

体育館へ

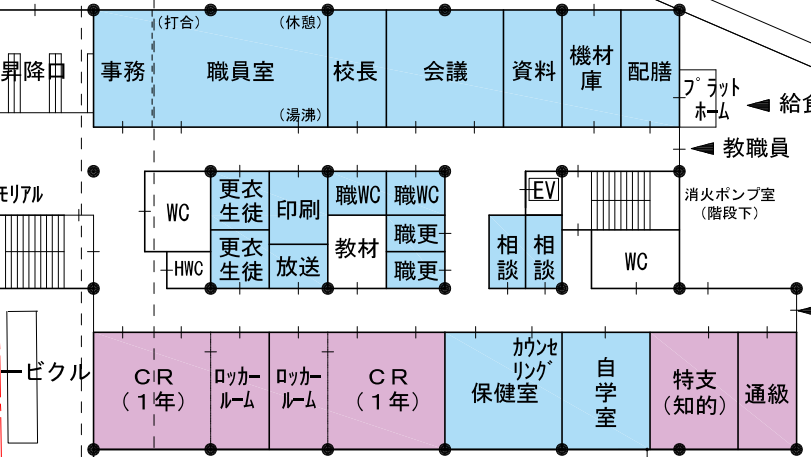
メモリアル

機械室  
(階段下)

キュービクル

造成範囲

付け替え後 市道  
敷地内歩道



駐車場 (19台)  
(来客用)

9780

第2グラウンド

芝生・農園

駐車場 (49台)  
(木次中学校用)

鉄棒・遊具

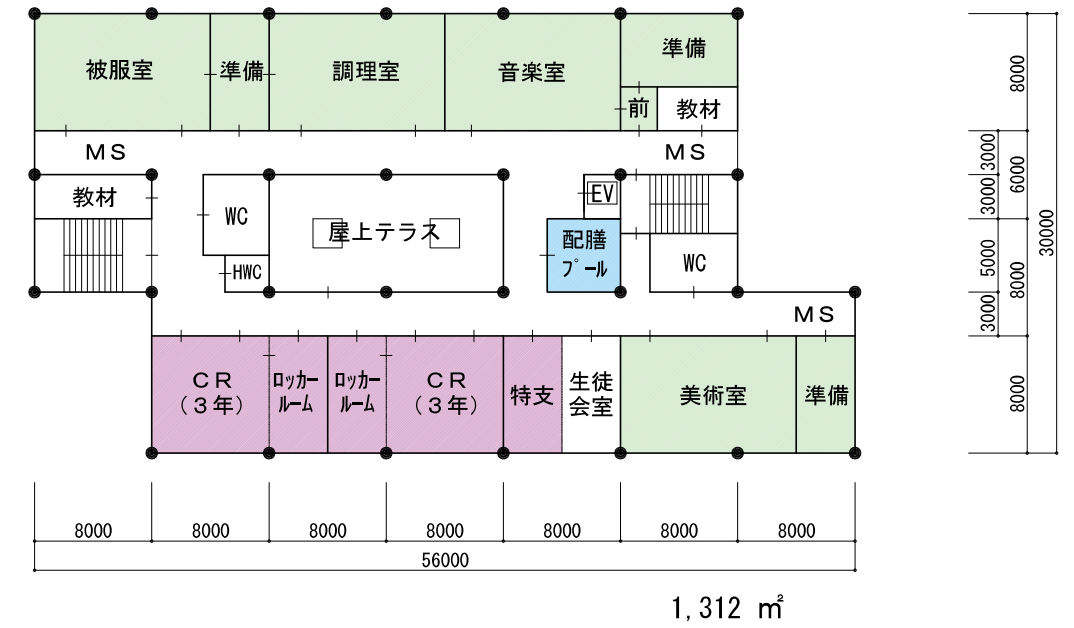
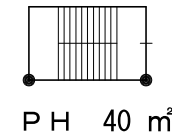
テニスコート

# D-1案 普通教室 各階配置案 [ S=1/500 ]

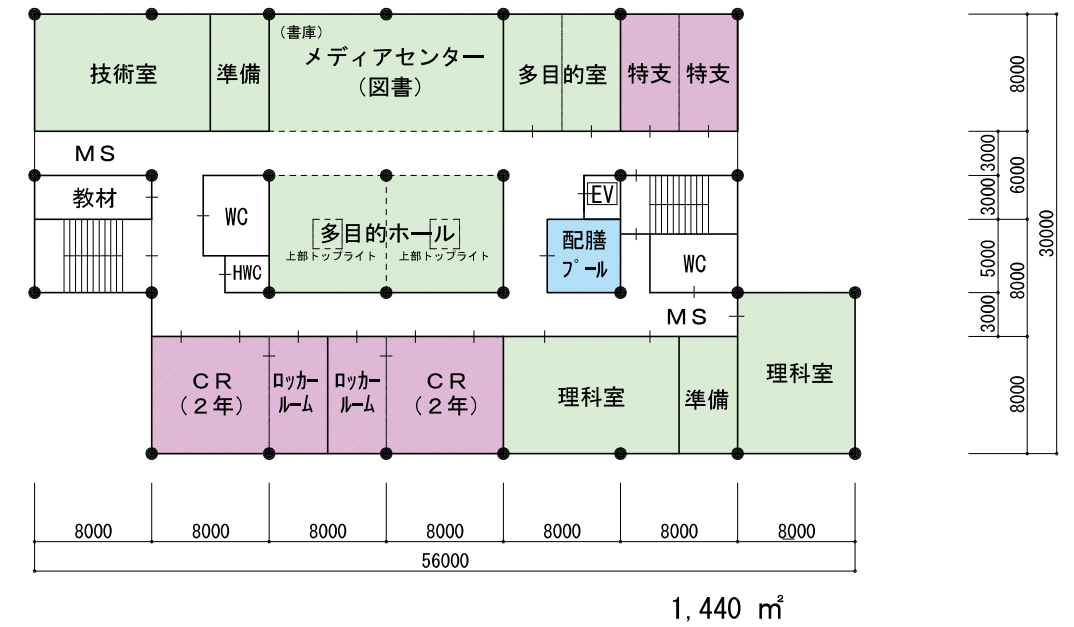
## ■凡例

- 普通教室・特別支援学級部門
- 特別教室部門
- 管理諸室部門

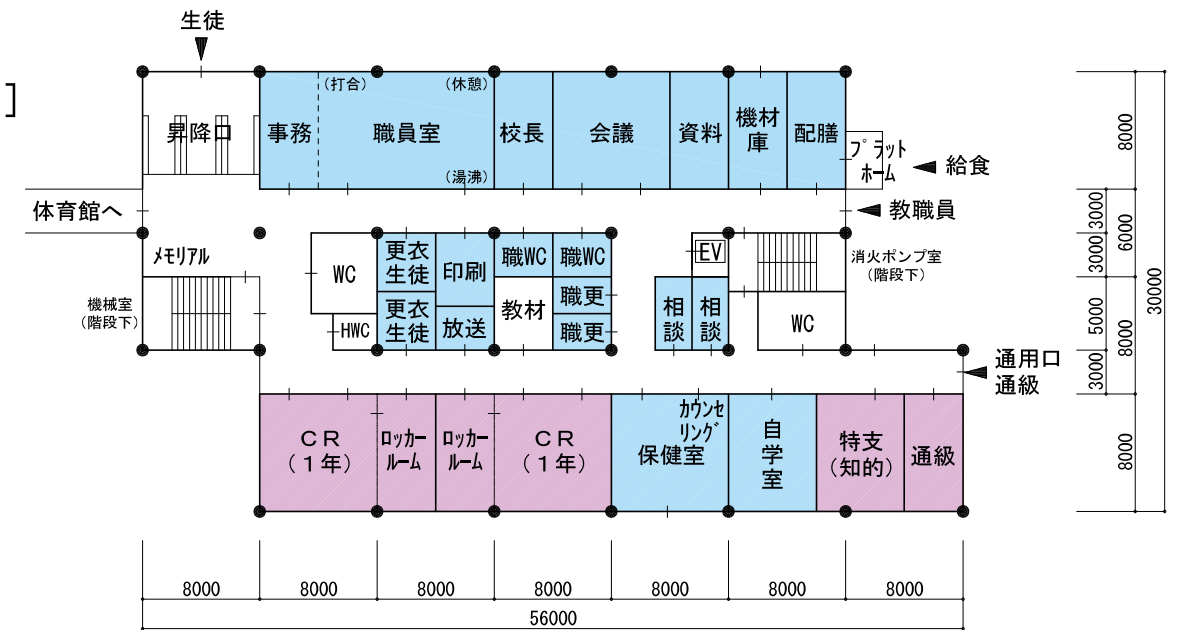
3階 平面図 [ S=1/500 ]



2階 平面図 [ S=1/500 ]



1階 平面図 [ S=1/500 ]



プランの特徴	—	各階の南側に普通教室を配置した案 回遊型廊下により他学年の前を通過する動線が発生しない動線計画
自然採光・自然通風	○	日当たりの良い南側に生徒の主な生活空間となる普通教室を配置している。 生徒の生活場所である1階の普通教室の通風環境が良くない。
眺望できる共用空間の確保	○	多学年の共用空間である2階メディアセンターからの木次の街並みへの眺望をできる。
メディアセンターとの連携	△	メディアセンターと普通教室が離れている。
総評	—	各学年の普通教室とメディアセンターが離れている点で劣る。

1,440 m<sup>2</sup>  
合計 4,232 m<sup>2</sup> (≦4,257)

# D-2案 2階普通教室 案 [ S=1/500 ]

※今後の配置・平面作業のための検討資料で、参考図となります。



第1グラウンド

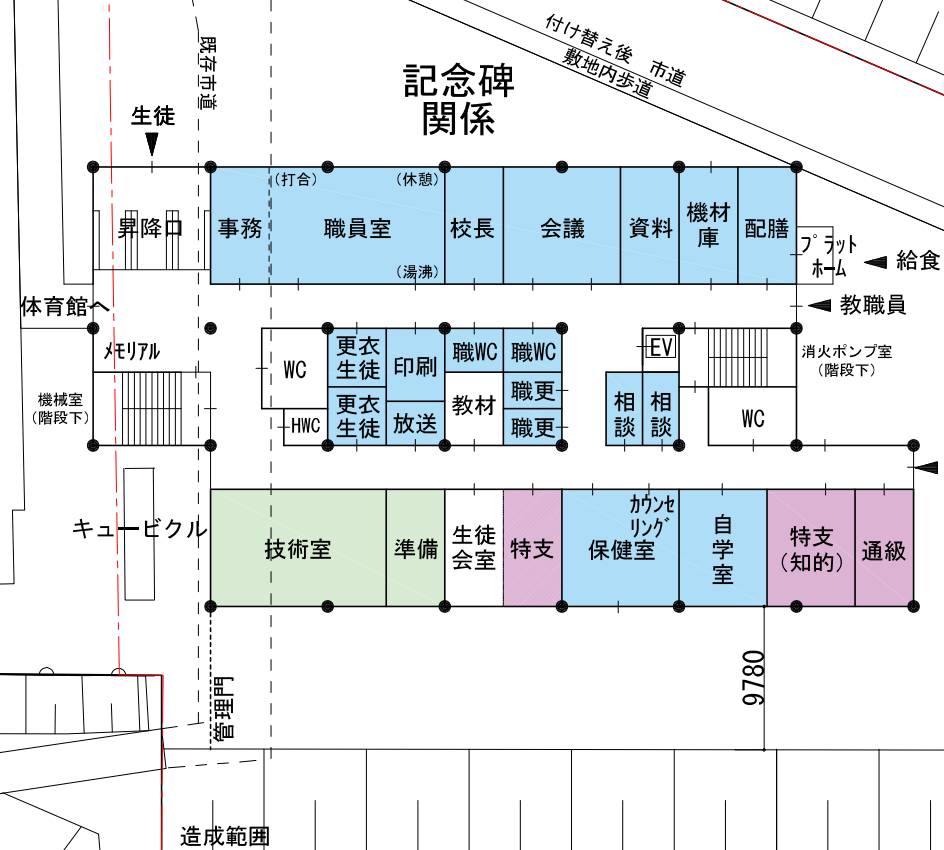
柔剣道場

屋内運動場

部室棟

防球ネット

記念碑  
関係



駐車場(19台)  
(来客用)

第2グラウンド

芝生・  
農園

駐車場(49台)  
(木次中学校用)

鉄棒・  
遊具

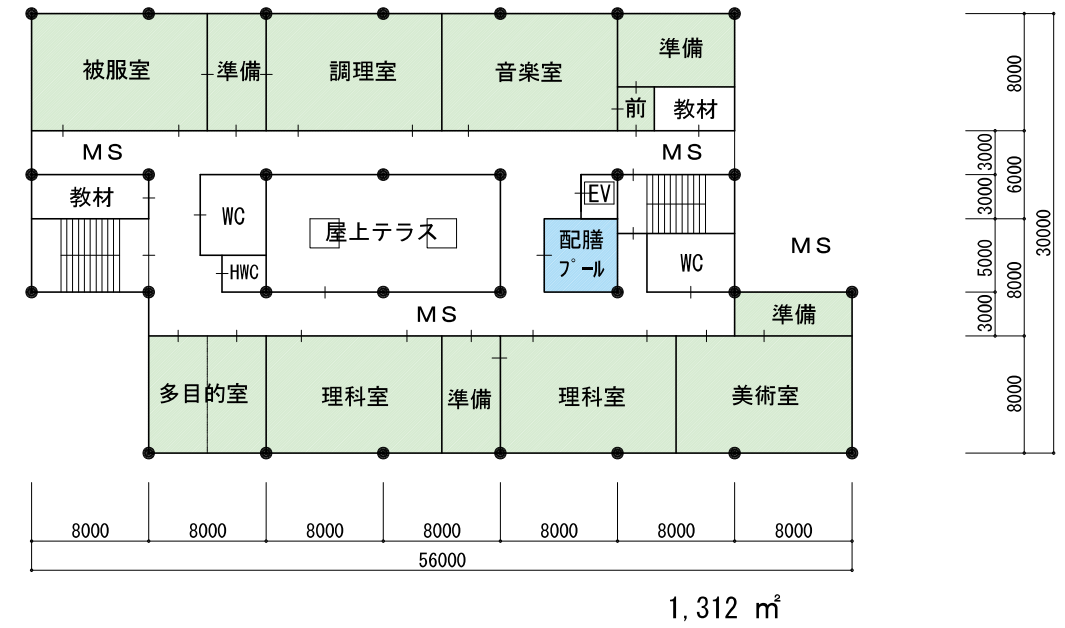
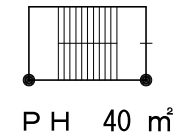
テニスコート

# D-2案 2階 普通教室部門 案 [ S=1/500 ]

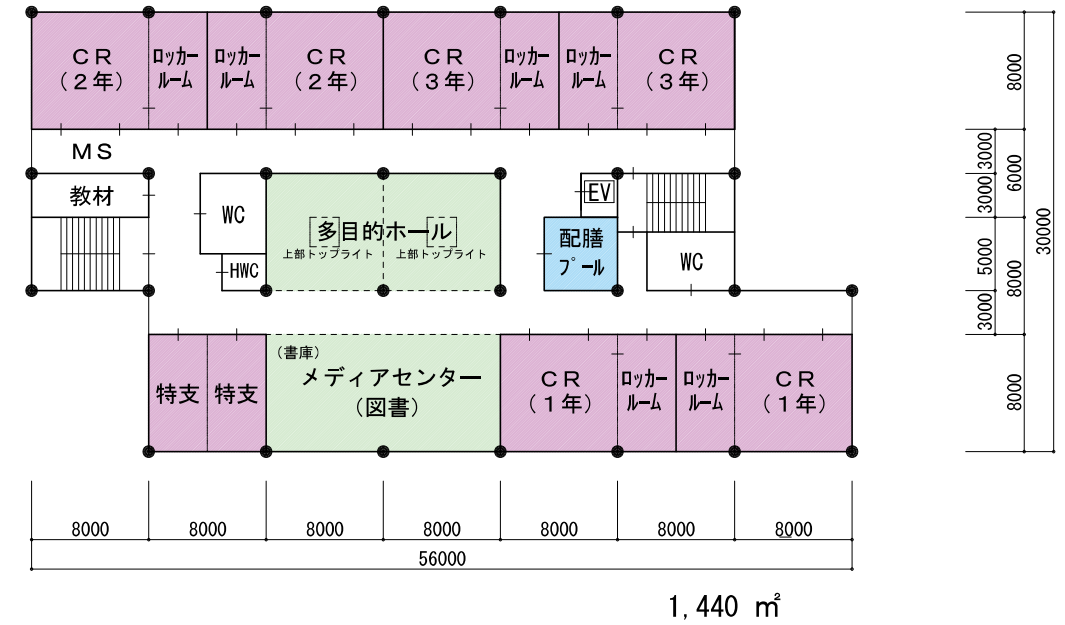
## ■凡例

- 普通教室・特別支援学級部門
- 特別教室部門
- 管理諸室部門

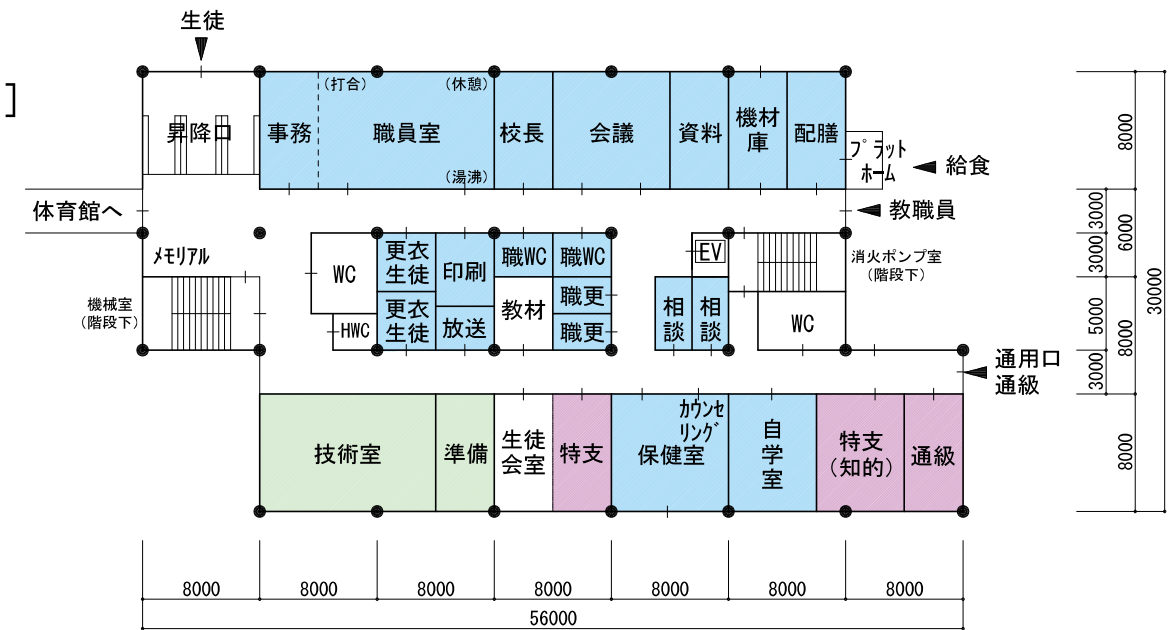
3階 平面図 [ S=1/500 ]



2階 平面図 [ S=1/500 ]



1階 平面図 [ S=1/500 ]



プランの特徴	—	教室の利用率の高い普通教室を2階に配置し、3階に特別教室を配置した案。 回遊型廊下により他学年の前を通過する動線が発生しない動線計画
自然採光・自然通風	○	採光・通風に優れた2階以上に生徒の主な生活空間となる普通教室を配置している。 一部、北側普通教室が発生する。
眺望できる共用空間の確保	○	生徒の主な生活空間となる普通教室から、木次の眺望を望める。
メディアセンターとの連携	○	メディアセンターを普通教室と同一階に配置しているため、各教室と連携が行いやすい。
総評	—	各部門のゾーニングにまとまりがある案。

1,440 m<sup>2</sup>  
合計 4,232 m<sup>2</sup> (≦4,257)

# D-3案 第2グラウンド接続案 [ S=1/500 ]

※今後の配置・平面作業のための検討資料で、参考図となります。



第1グラウンド

柔剣道場

屋内運動場

防球ネット

部室棟

生徒

昇降口

体育館へ

メモリアル

機械室  
(階段下)

キュービクル

土

付け替え後 市道  
敷地内歩道

事務 (打合) 職員室 (休憩) 校長 (湯沸) 会議 資料 機材庫 配膳

プラットフォーム 給食

WC 更衣生徒 印刷 職WC 職WC EV 消火ポンプ室 かんていリンク (階段下) 保健室

HWC 更衣生徒 放送 教材 職更 職更 相談 相談 WC 教職員

通用口  
通級

多目的室 (生徒会室) 自学室 特支 (知的) 通級

駐車場 (19台)  
(来客用)

造成範囲

9780

8

5

第2グラウンド

芝生・農園

駐車場 (49台)  
(木次中学校用)

鉄棒・遊具

テニスコート

10

10

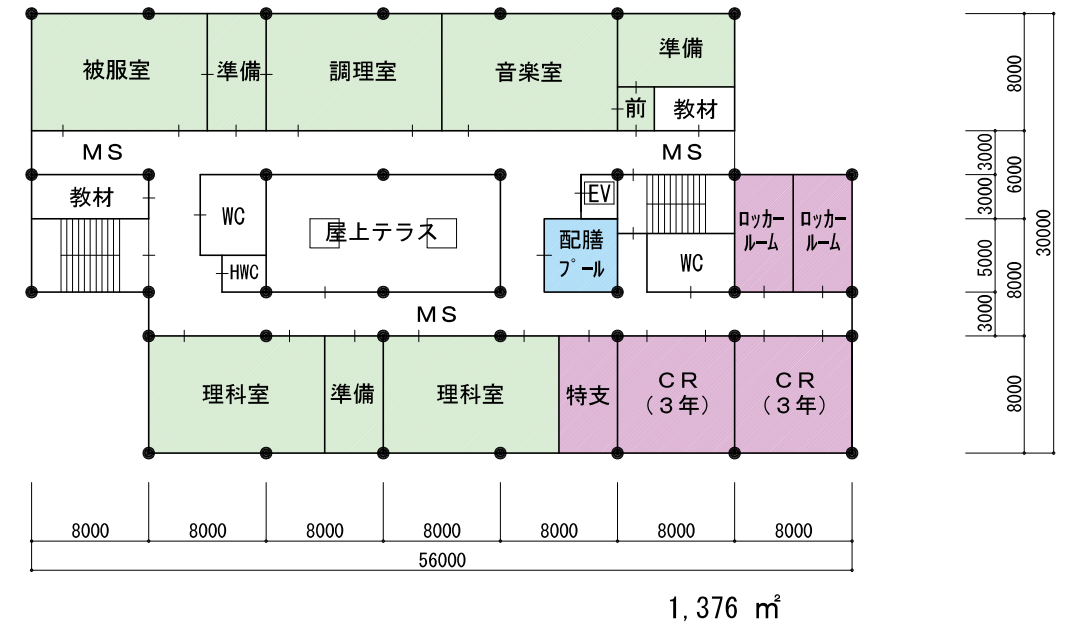
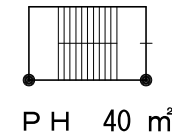
13

16

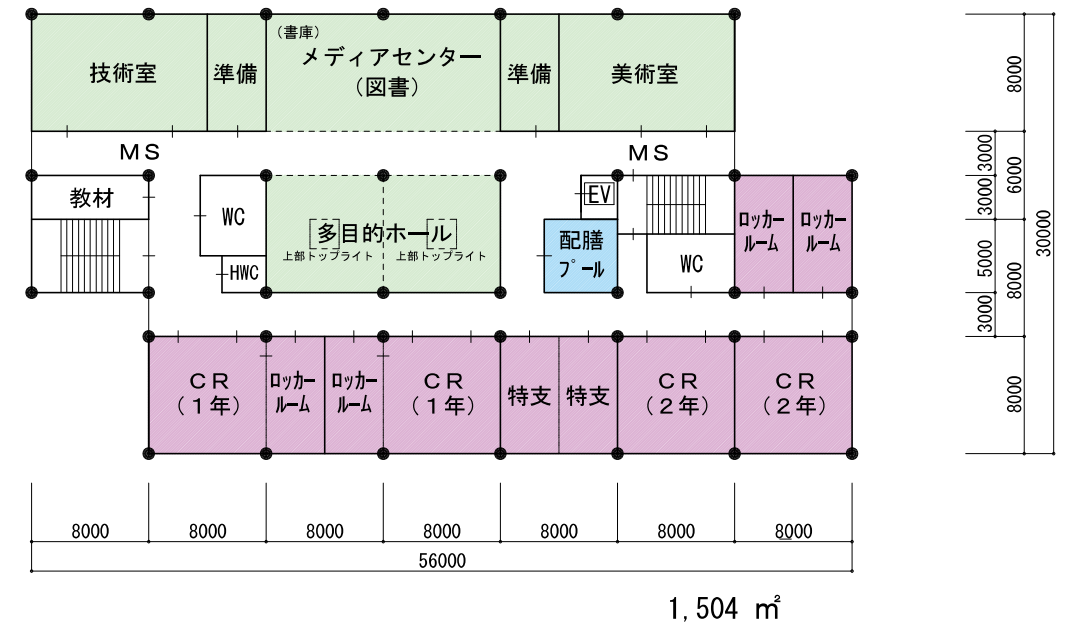
# D-3案 第2グラウンド接続案 [ S=1/500 ]

- 凡例
- 普通教室・特別支援学級部門
  - 特別教室部門
  - 管理諸室部門

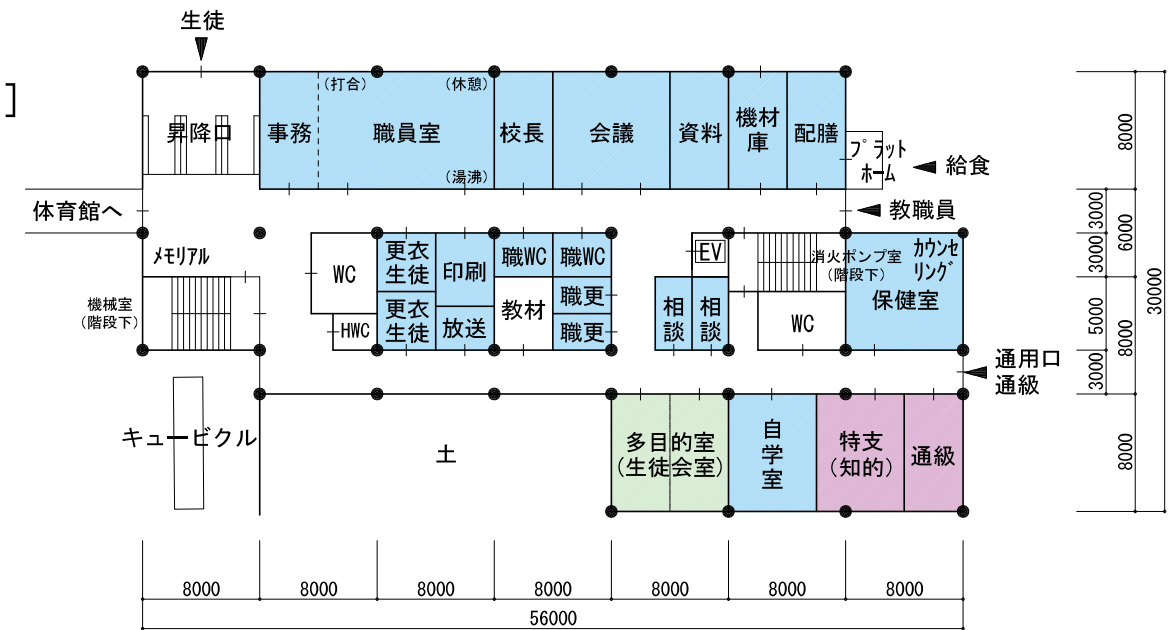
3階 平面図 [ S=1/500 ]



2階 平面図 [ S=1/500 ]



1階 平面図 [ S=1/500 ]



プランの特徴	—	2階の特別支援学級から、直接外へ（農園へ）出られる案。 回遊型廊下により他学年の前を通過する動線が発生しない動線計画
自然採光・自然通風	○	採光・通風に優れる2階以上に生徒の主な生活空間となる普通教室を配置している。 一部、北側普通教室が発生する。
眺望できる共用空間の確保	○	多学年の共用空間である2階メディアセンターからの木次の街並みへの眺望をできる。
メディアセンターとの連携	○	メディアセンターを普通教室と同一階に配置しているため、各教室と連携が行いやすい。
総評	—	第2グラウンドへのアクセス性を確保した案。また、造成コストの縮減が可能な案。

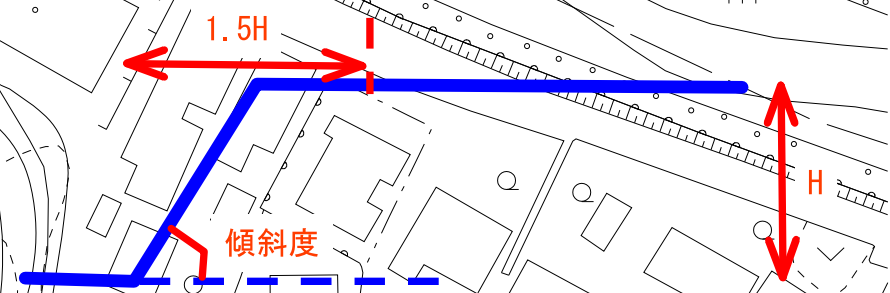
合計 4,232 m<sup>2</sup> (≦4,257)

■ がいけ地条例のライン 整理

崖地条例のライン  
64.73 標高 (国土地理院地図より算出)

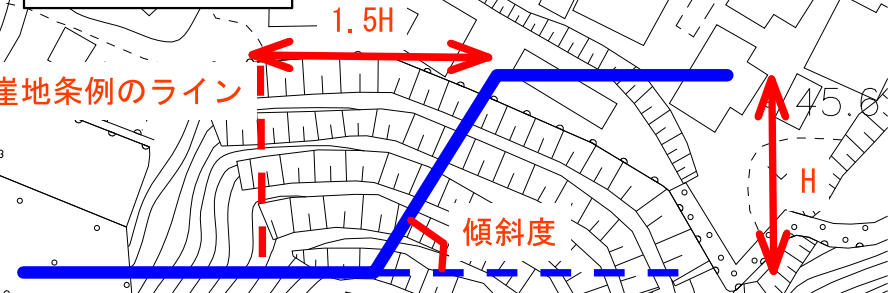
■ 崖の上の場合

崖地条例のライン

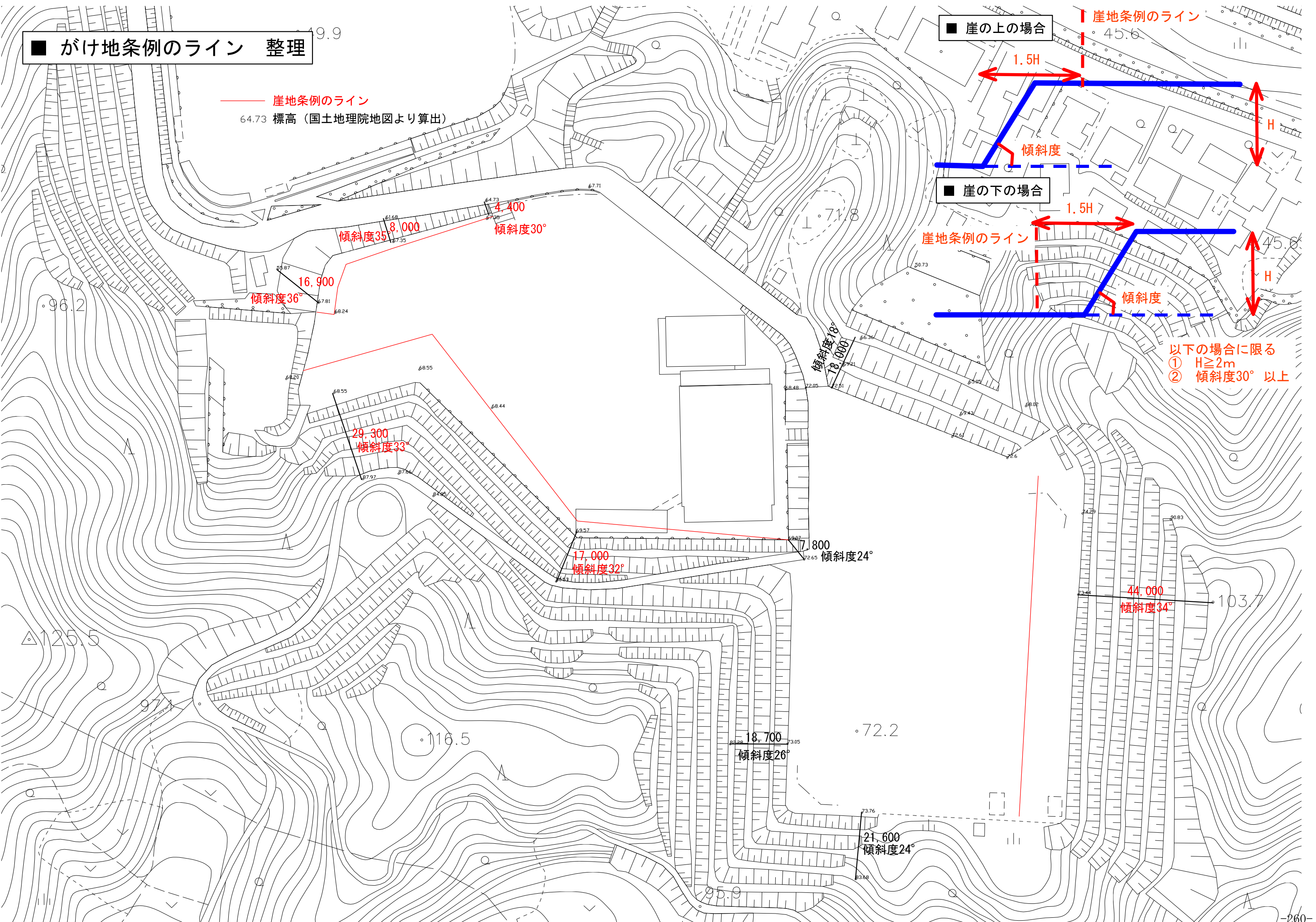


■ 崖の下の場合

崖地条例のライン

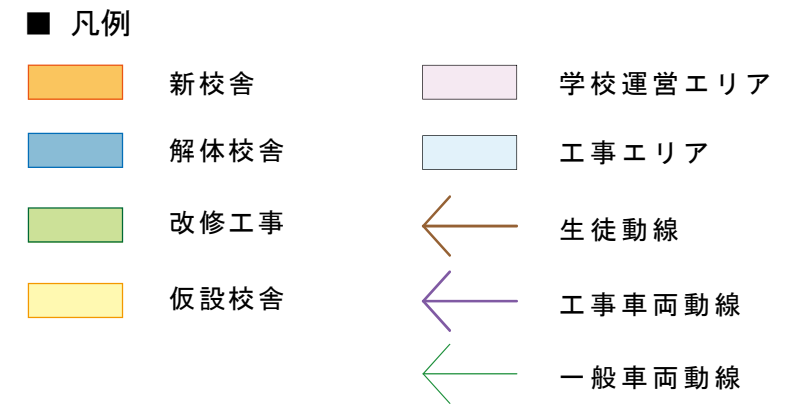
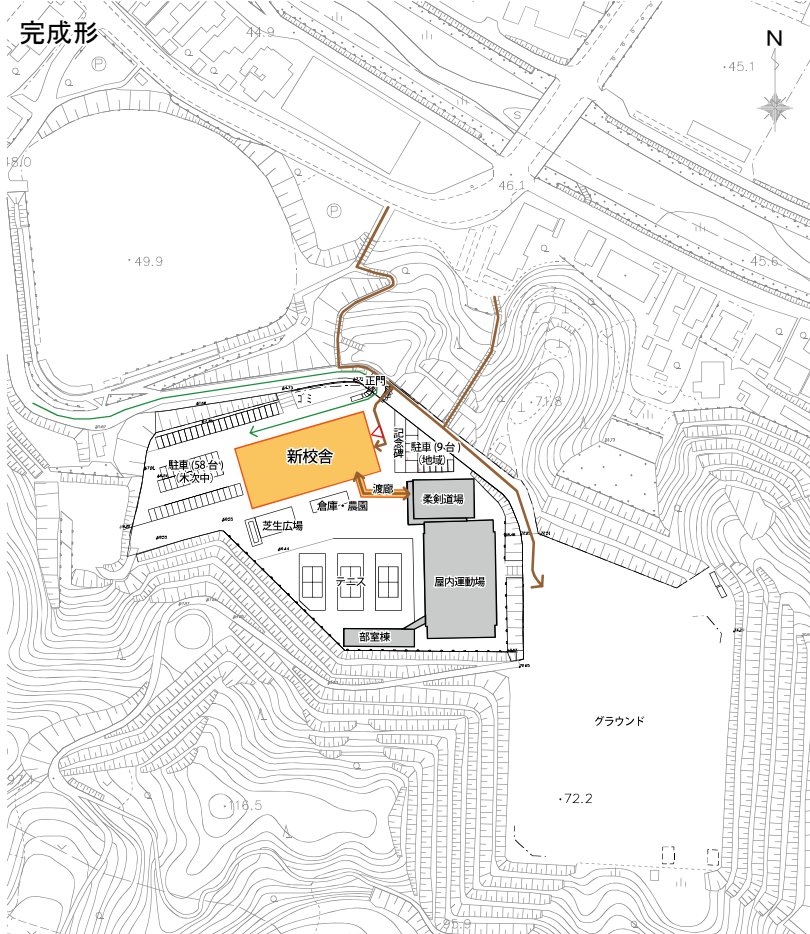
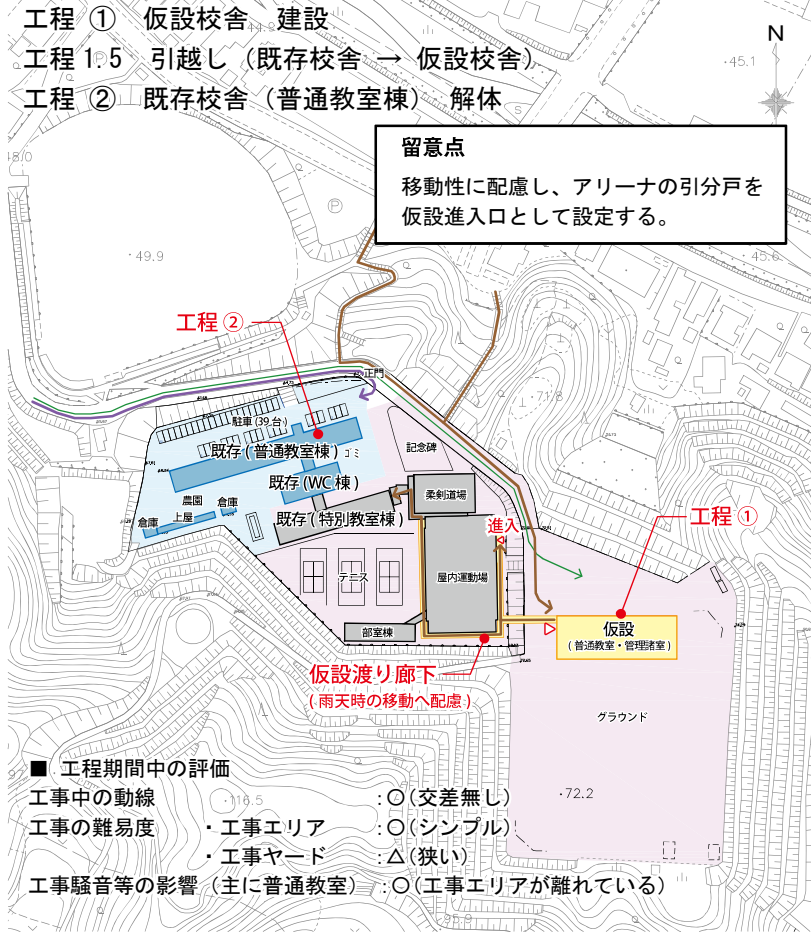


以下の場合に限る  
① H ≥ 2m  
② 傾斜度30° 以上



# ローリング計画図 (A案 分割建替案)

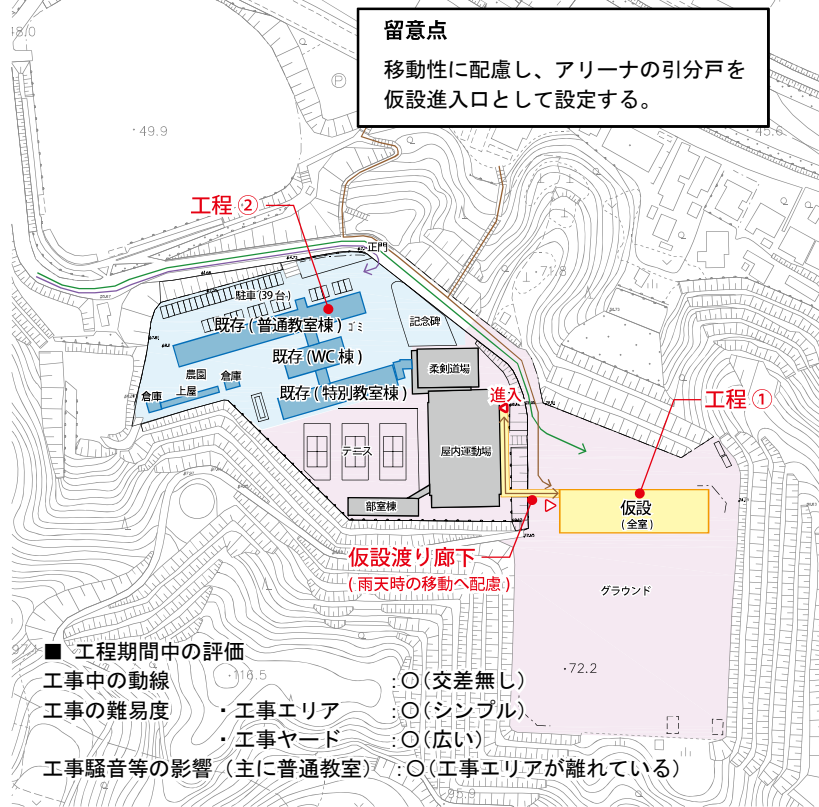
## A案 分割建替 S=1/3000



# ローリング計画図 (B案 一括建替案)

**B案**  
一括建替  
S=1/3000

- 工程 ① 仮設校舎 建設
- 工程 1.5 引越し (既存校舎 → 仮設校舎)
- 工程 ② 既存校舎 (全棟) 解体



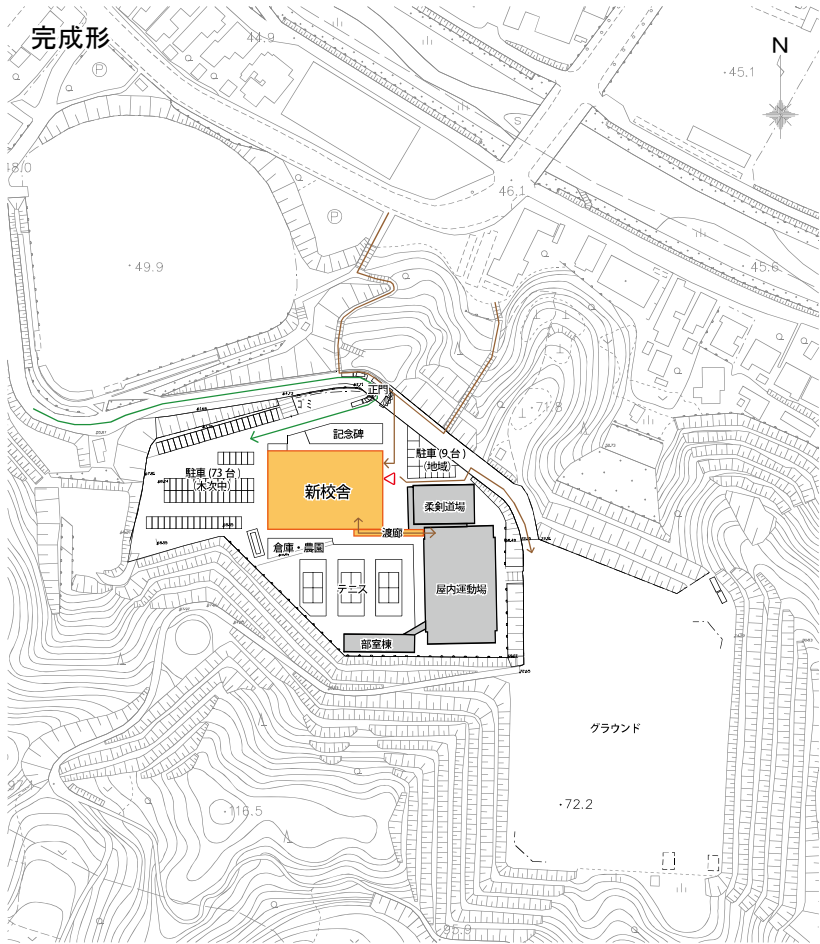
- 工程 ③ ・新校舎 建設
- ・屋内運動場等 改修



- 工程 3.5 引越し (仮設校舎 → 新校舎)
- 工程 ④ 仮設校舎 解体



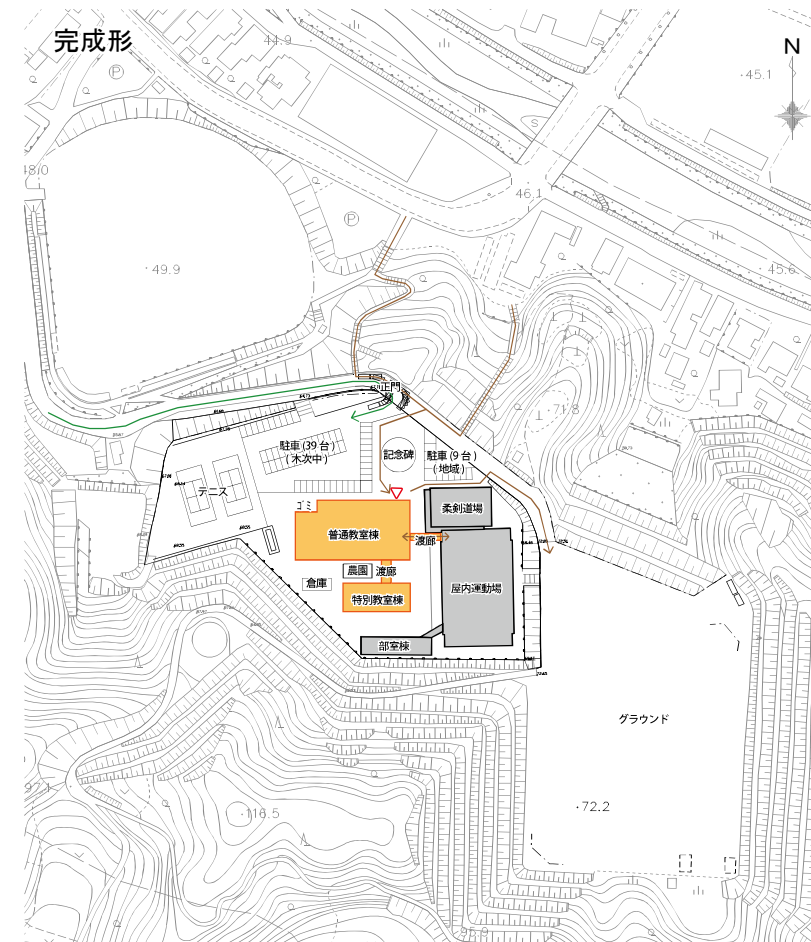
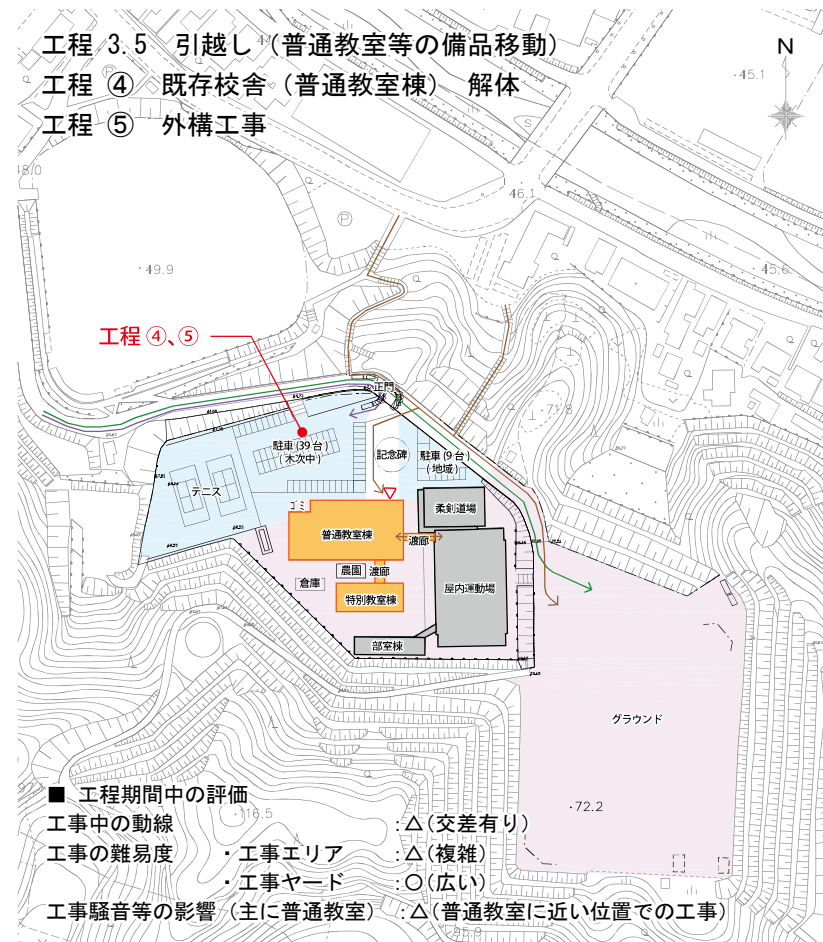
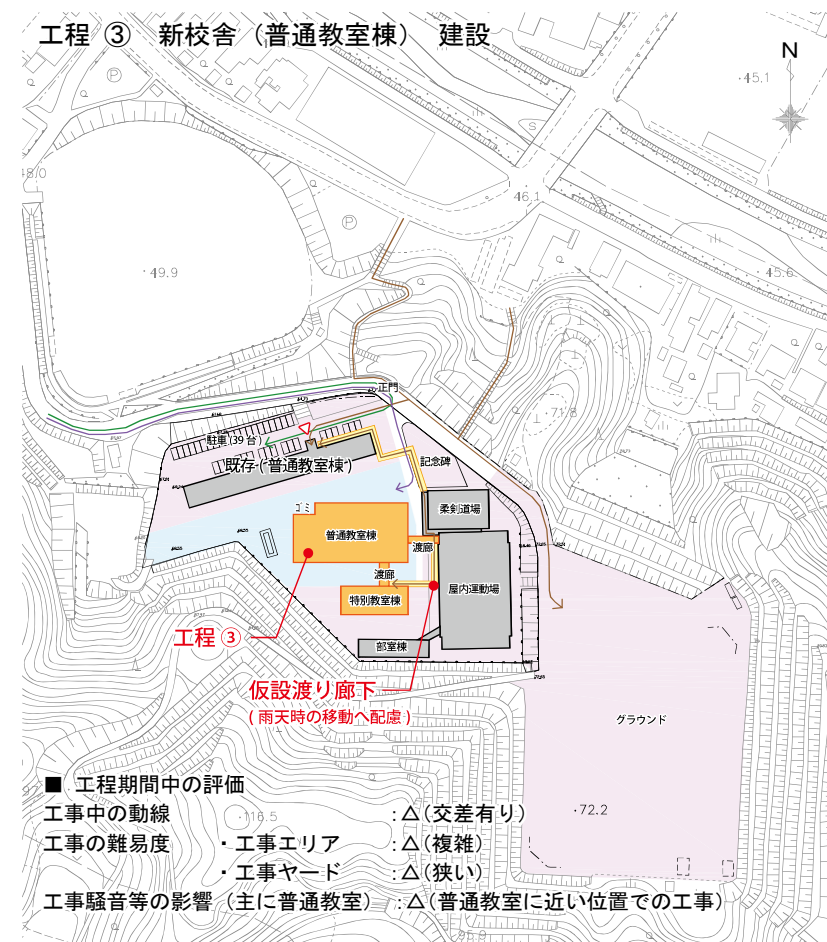
完成形



- 凡例
- 新校舎
  - 解体校舎
  - 改修工事
  - 仮設校舎
  - 学校運営エリア
  - 工事エリア
  - 生徒動線
  - 工事車両動線
  - 一般車両動線

# ローリング計画図 (C案 仮設無し案)

**C案**  
仮設無し  
S=1/3000

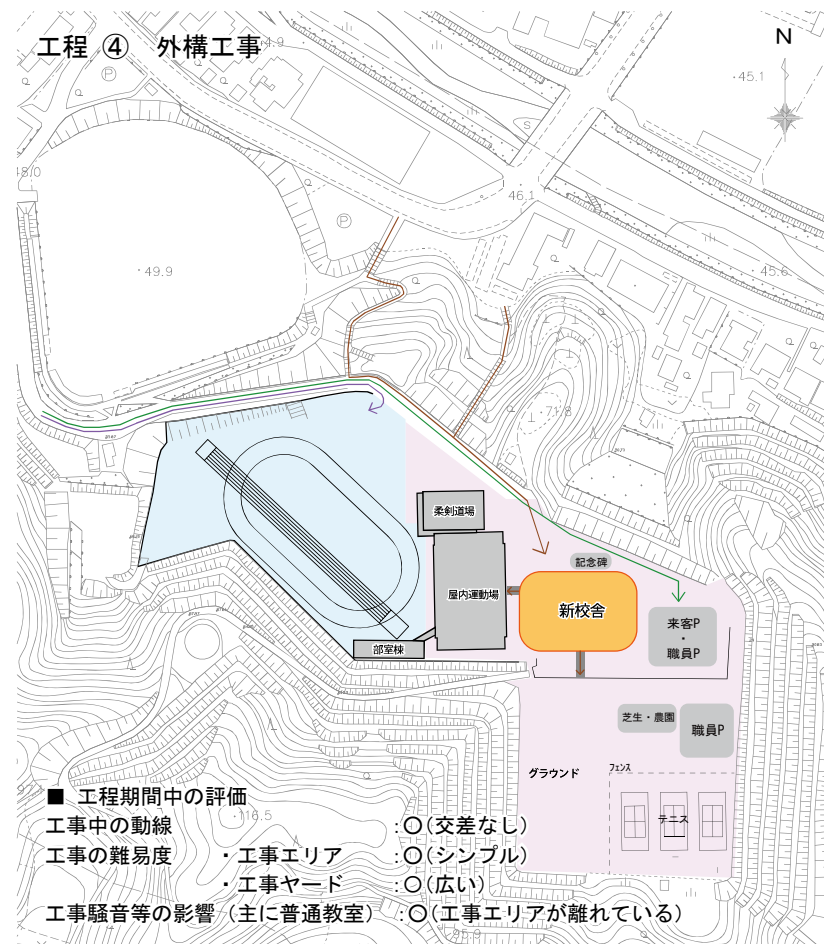
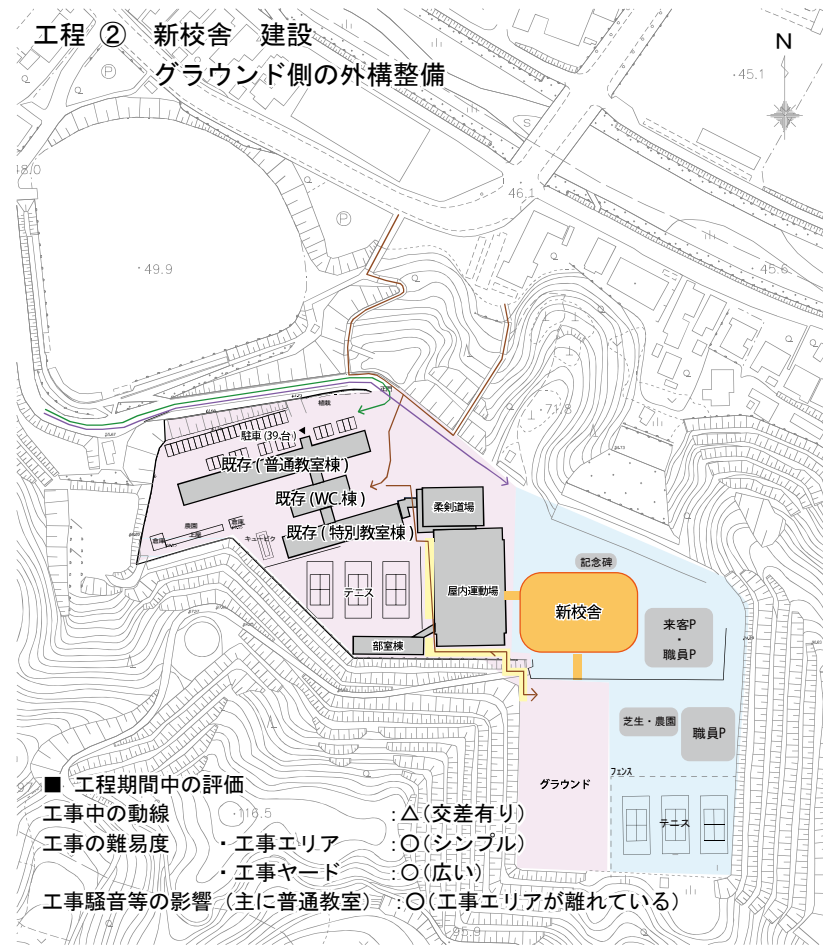
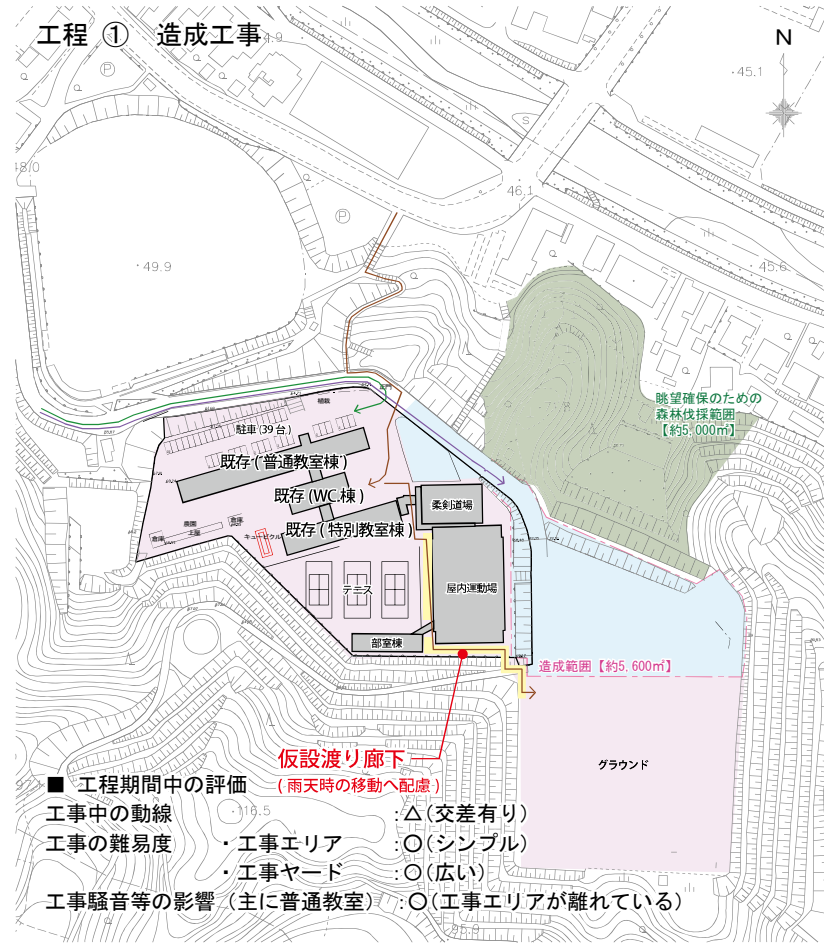


- 凡例
- 新校舎
  - 解体校舎
  - 改修工事
  - 仮設校舎
  - 学校運営エリア
  - 工事エリア
  - 生徒動線
  - 工事車両動線
  - 一般車両動線

# ローリング計画図 (D案 グラウンド整地案)

## D案

S=1/3000

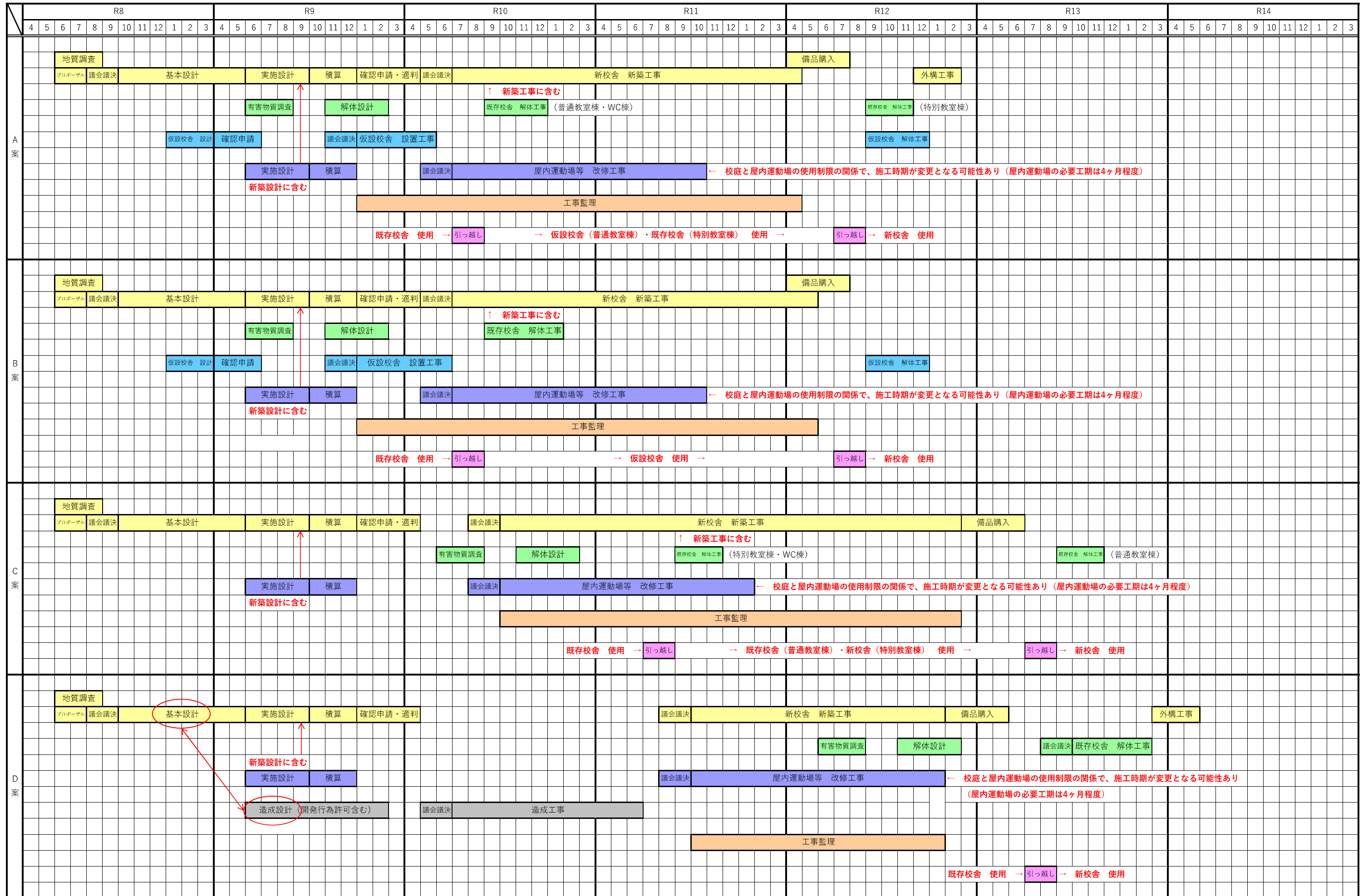


### 凡例

- |  |      |  |         |
|--|------|--|---------|
|  | 新校舎  |  | 学校運営エリア |
|  | 解体校舎 |  | 工事エリア   |
|  | 改修工事 |  | 生徒動線    |
|  | 仮設校舎 |  | 工事車両動線  |
|  |      |  | 一般車両動線  |

概略工程表 (案)

※1億5千万円以上の契約となる場合は議会議決が必要



A-概算事業費 工種内訳

■ 木次中学校 概算事業費 工種内訳

【想定条件】 配置D案（造成案）

構造： RC造

階数：3階建て

工期：16ヵ月

【大内訳】

項目	数量	直接工事費（円）	工事費（税込み）
A. 既存校舎 解体	4,460 m <sup>2</sup>	151,210,000	196,470,000
B. 新校舎 建設（建築）	4,257 m <sup>2</sup>	1,365,860,000	1,837,990,000
C. 新校舎 建設（電気）	4,257 m <sup>2</sup>	137,840,000	217,260,000
D. 新校舎 建設（機械）	4,257 m <sup>2</sup>	159,830,000	239,320,000
E. 新校舎 建設（外構）※建・電・機 共	14,270 m <sup>2</sup>	375,730,000	488,210,000
F. 屋内運動場・武道場・部室棟 大規模改修工事	2,285 m <sup>2</sup>	229,880,000	333,900,000
G. 造成費用	1 式	179,830,000	400,060,000
H. 基本・実施設計料			191,070,000
I. 工事監理料			97,020,000
計			<b>4,001,300,000</b>

【工種別内訳】

A. 既存校舎 解体	数量	平米単価（円/m <sup>2</sup> ）	直接工事費（円）
01 直接仮設	4,460 m <sup>2</sup>	7,329	32,690,000
02 撤去	4,460 m <sup>2</sup>	19,717	87,940,000
03 発生材処理	4,460 m <sup>2</sup>	6,856	30,580,000
直接工事費	4,460 m <sup>2</sup>	33,902	151,210,000
B. 新校舎 建設（建築）	数量	平米単価（円/m <sup>2</sup> ）	直接工事費（円）
01 直接仮設工事	4,257 m <sup>2</sup>	10,826	46,090,000
02 土工事	4,257 m <sup>2</sup>	3,501	14,900,000
03 地業工事	4,257 m <sup>2</sup>	27,926	118,880,000
04 鉄筋工事	4,257 m <sup>2</sup>	25,082	106,770,000
05 コンクリート工事	4,257 m <sup>2</sup>	29,393	125,130,000
06 型枠工事	4,257 m <sup>2</sup>	31,098	132,390,000
07 鉄骨工事	4,257 m <sup>2</sup>	4,458	18,980,000
08 防水工事	4,257 m <sup>2</sup>	5,625	23,950,000
09 石工事	4,257 m <sup>2</sup>	65	280,000
10 タイル工事	4,257 m <sup>2</sup>	498	2,120,000
11 木工事	4,257 m <sup>2</sup>	8,842	37,640,000
12 屋根及びとい工事	4,257 m <sup>2</sup>	17,053	72,590,000
13 金属工事	4,257 m <sup>2</sup>	8,110	34,520,000
14 左官工事	4,257 m <sup>2</sup>	4,715	20,070,000
15 建具・ガラス工事	4,257 m <sup>2</sup>	65,278	277,890,000
16 塗装	4,257 m <sup>2</sup>	4,540	19,330,000
17 内外装工事	4,257 m <sup>2</sup>	20,817	88,620,000
18 ユニット及びその他工事	4,257 m <sup>2</sup>	45,698	194,530,000
19 昇降機設備	4,257 m <sup>2</sup>	7,323	31,180,000
直接工事費	4,257 m <sup>2</sup>	325	1,365,860,000

■ 木次中学校 概算事業費 工種内訳

【想定条件】 配置D案（造成案）

構造： RC造

階数：3階建て

工期：16ヵ月

C. 新校舎 建設（電気）	数量	平米単価（円/㎡）	直接工事費（円）
01 動力設備	4,257 ㎡	756	3,220,000
02 電灯設備	4,257 ㎡	20,995	89,380,000
03 コンセント設備	4,257 ㎡	1,974	8,400,000
04 構内交換設備	4,257 ㎡	2,355	10,020,000
05 情報用空配管設備	4,257 ㎡	256	1,090,000
06 放送設備	4,257 ㎡	2,453	10,440,000
07 トイレ呼出設備	4,257 ㎡	70	300,000
08 インターホン設備	4,257 ㎡	45	190,000
09 テレビ共同受信設備	4,257 ㎡	43	180,000
10 電気錠	4,257 ㎡	213	910,000
11 防犯用空配管設備	4,257 ㎡	371	1,580,000
12 自動火災報知機設備	4,257 ㎡	1,185	5,050,000
13 太陽光発電設備	4,257 ㎡	1,664	7,080,000
<b>直接工事費</b>	4,257 ㎡	32,380	137,840,000
D. 新校舎 建設（機械）	数量	平米単価（円/㎡）	直接工事費（円）
01 空調設備	4,257 ㎡	18,815	80,100,000
02 換気設備	4,257 ㎡	5,692	24,230,000
03 衛星器具設備	4,257 ㎡	5,008	21,320,000
04 給水設備	4,257 ㎡	1,926	8,200,000
05 排水設備	4,257 ㎡	4,166	17,740,000
06 給湯設備	4,257 ㎡	345	1,470,000
07 消化設備	4,257 ㎡	1,161	4,940,000
08 ガス設備	4,257 ㎡	429	1,830,000
<b>直接工事費</b>	4,257 ㎡	37,542	159,830,000
E. 新校舎 建設（外構）※建・電・機 共	数量	平米単価（円/㎡）	直接工事費（円）
建01 屋外舗装	14,270 ㎡	4,619	65,910,000
建02 屋外排水	14,270 ㎡	993	14,170,000
建03 囲障	14,270 ㎡	4,196	59,880,000
建04 植栽	14,270 ㎡	46	650,000
建05 工作物その他	14,270 ㎡	3,713	52,980,000
電01 受変電設備	14,270 ㎡	6,014	85,810,000
電02 構内配電線路	14,270 ㎡	722	10,300,000
電03 構内通信線路	14,270 ㎡	939	13,400,000
機01 屋外給水設備	14,270 ㎡	2,362	33,710,000
機02 屋外排水設備	14,270 ㎡	900	12,850,000
機03 屋外ガス設備	14,270 ㎡	456	6,510,000
機04 浄化槽設備	14,270 ㎡	1,371	19,560,000
<b>直接工事費</b>	14,270 ㎡	26,330	375,730,000

■ 木次中学校 概算事業費 工種内訳

【想定条件】 配置D案（造成案）  
 構造： RC造  
 階数：3階建て  
 工期：16ヵ月

F. 屋内運動場・武道場・部室棟 大規模改修工事	数量	平米単価（円/㎡）	直接工事費（円）
01 断熱性能を向上（外壁への断熱材設置等）	2,285 ㎡	63,466	145,020,000
02 空調設備の新設	2,285 ㎡	26,937	61,550,000
03 トイレの洋式化、乾式化	2,285 ㎡	796	1,820,000
04 令和4年度 特定建築物定期調査結果報告書の内容	2,285 ㎡	354	810,000
05 利便性向上に資する意見	2,285 ㎡	31	70,000
06 直接仮設一式	2,285 ㎡	9,020	20,610,000
<b>直接工事費</b>	2,285 ㎡	100,604	229,880,000
G. 造成工事	数量	単価	直接工事費（円）
01 直接仮設	202 m	16,900	3,410,000
02 切土	22,400 ㎡	273	6,120,000
03 土留め壁	171 m	74,447	12,730,000
04 残土処分	22,400 ㎡	4,250	123,760,000
05 雨水排水工事	389 m	8,840	3,440,000
06 その他	1 式		8,870,000
07 眺望確保のための森林伐採	5,000 ㎡	4,300	21,500,000
<b>直接工事費</b>	1 式		179,830,000
※測量業務	1 式		4,000,000
※設計・監理費	1 式		40,000,000
H. 基本・実施設計料			
I. 工事監理料			

## B-概算事業費 明細・仕様関係

### ■ 木次中学校 屋内運動場等の大規模改修に伴う概算事業費 (251218 ①中央部への扉追加)

#### ① 断熱性能を向上 (外壁への断熱材設置、外壁面に存在する建具の性能向上、中央部への扉追加 等)

内容	場所	直接工事費	作業日数
建具の改修	屋内運動場 (スチール建具取り換え・アルミ建具ガラス交換)	55,520,000	16日
〃	武道場 (アルミ建具ガラス交換)	2,840,000	5日
断熱の設置 (壁・屋根)	屋内運動場	69,880,000	22日
〃	武道場	16,780,000	22日
	小計	145,020,000	

#### ② 空調設備の新設

内容	場所	直接工事費	作業日数
空調設備の設置	屋内運動場 アリーナ	44,750,000	22日
〃	〃 職員控室	1,190,000	2日
〃	武道場 柔剣道場	15,610,000	5日
	小計	61,550,000	

#### ③ トイレの洋式化、乾式化

内容	場所	直接工事費	作業日数
床のタイルをシートへ変更	屋内トイレ	370,000	7日
和式便器を洋式便器へ変更	屋内・屋外トイレ	1,280,000	4日
手洗いの自動水洗化	屋内トイレ	170,000	1日
	小計	1,820,000	

#### ④ 令和4年度 特定建築物定期調査結果報告書で報告された内容 (外壁の補修 等)

内容	場所	直接工事費	作業日数
外装仕上げの補修	屋内運動場 外部	140,000	5日
縦樋破損部の補修	〃	340,000	2日
軒天脱落部の補修	〃	210,000	1日
錆止め塗装	屋内運動場 外部、部室棟	120,000	3日
	小計	810,000	

#### ⑤ 利便性向上に資する意見

内容	場所	直接工事費	作業日数
アンプ室への小窓 (W600 x H 800) の追加	屋内運動場 アンプ保管庫	70,000	4日
	小計	70,000	

#### ⑥ 直接仮設一式 ※足場が必要な工事を行う際に、発生する金額 (①や④)

内容	場所	直接工事費	作業日数
直接仮設 一式	主に外壁まわり (外部足場、清掃、養生 等)	20,610,000	設置・解体 各3日
	小計	20,610,000	
	合計	229,880,000	

■ 木次中学校 屋内運動場等改修のための概算算出

■ 改修の方向性

- ① 断熱性能を向上（外壁への断熱材設置、外壁面に存在する建具の性能向上 等）
- ② 空調設備の新設
- ③ トイレの洋式化、乾式化
- ④ 令和4年度 特定建築物定期調査結果報告書で報告された内容（外壁の補修 等）
- ⑤ 利便性向上に資する意見

■ 金額の調整方法

見積・設計金額・公表価格 ⇒ x 0.8  
 積算資料・物価本 ⇒ x 1.0

■ 物価上昇率

物価上昇計算 の ■ 新営予算単価を参照

■ 屋内運動場 改修項目

場所	方向性	大内訳	小内訳	単価	m・㎡・数量	物価上昇率	小計	備考
アリーナ	①	アルミ建具	AW-1 ガラス交換 (W500xH1,200)	17,850	9	1.607577735	258,257	Low-E5+A6+ST5
アリーナ	①	アルミ建具	AW-3 ガラス交換 (W1,700xH1,200)	68,400	2	1.607577735	219,917	Low-E5+A6+ST5
アリーナ	①	アルミ建具	AW-4 ガラス交換 (W1,700xH1,200)	68,400	1	1.607577735	109,958	Low-E5+A6+ST5
アリーナ	①	アルミ建具	AW-6 アルミパネル交換 (W1,700xH350)	18,832	16	1.607577735	484,382	
アリーナ	①	スチール建具	SW-1 撤去+新設	3,247,927	7	1.329545455	30,227,868	建具全撤去 アルミ建具+ガラスLow-E5+A6+ST5 新設
アリーナ	①	スチール建具	SW-2 撤去+新設	3,247,927	1	1.329545455	4,318,267	建具全撤去 アルミ建具+ガラスLow-E5+A6+ST5 新設
アリーナ	①	スチール建具	SW-3 撤去+新設	6,482,494	2	1.329545455	17,237,542	建具全撤去 アルミ建具+ガラスLow-E5+A6+ST5 新設
アリーナ	①	スチール建具	中央 SD新設 (防火設備) (W1,900x2,000) 既存扉取り替え	501,600	4	1.329545455	2,667,600	
外壁まわり	①	壁断熱 (乾式)	(2・3FL以上) 外断熱 新設 (既設外壁下地撤去+ 断熱外壁下地、外装材新設)	23,062	669.76	1.329545455	20,535,814	
外壁まわり	①	壁断熱 (湿式)	(1FL~2・3FL) 外断熱 新設 (湿式外断熱工法)	11,600	367.32	1.329545455	5,665,076	
外壁まわり	①	屋根断熱 かぶせ工法	屋外側に断熱を施工	24,240	1355.2	1.329545455	43,675,632	
アリーナ	②	冷暖房設備	空調設備 新設	33,656,000	1	1.329545455	44,747,182	
屋内便所	③	床	タイル 撤去	4,000	25.5	1.767691116	180,304	
	③	床	ビニル床シート 新設	4,210	25.5	1.767691116	189,770	
屋内・屋外便所	③	便器	和式便器 撤去+洋式便器 新設	240,000	4	1.329545455	1,276,364	
屋内・屋外便所	③	手洗い	自動水洗 新設	26,300	4	1.607577735	169,117	
職員控室	②	冷暖房設備	空調設備 新設	31,302	28.65	1.329545455	1,192,343	
柔剣道場	①	アルミ建具	AW-1 ガラス交換 (W3,450xH2,000)	233,530	1	1.607577735	375,418	Low-E5+A6+ST5
柔剣道場	①	アルミ建具	AW-2 ガラス交換 (W2,850xH2,000)	193,090	4	1.607577735	1,241,629	Low-E5+A6+ST5
柔剣道場	①	アルミ建具	AW-3 ガラス交換 (W2,850xH1,000)	97,045	1	1.607577735	156,007	Low-E5+A6+ST5
柔剣道場	①	アルミ建具	AW-4 ガラス交換 (W500xH1,500)	26,275	2	1.607577735	84,478	Low-E5+A6+ST5
柔剣道場	①	アルミ建具	AD-1 ガラス交換 (W3,450xH2,100)	244,988	1	1.607577735	393,837	Low-E5+A6+ST5
柔剣道場	①	アルミ建具	AD-2 ガラス交換 (W3,450xH2,040)	249,706	1	1.607577735	401,422	Low-E5+A6+ST5
柔剣道場	①	アルミ建具	AD-3 ガラス交換 (W1,650xH2,040)	114,232	1	1.607577735	183,637	Low-E5+A6+ST5
外壁まわり	①	壁断熱 (湿式)	外断熱 新設 (湿式外断熱工法)	11,600	242.281	1.329545455	3,736,634	
外壁まわり	①	屋根断熱 かぶせ工法		26,160	375	1.329545455	13,042,841	
柔剣道場	②	冷暖房設備	空調設備 新設	31,302	375	1.329545455	15,606,578	アリーナの冷暖房設備より平米単価を算出し、計上
外壁まわり	④	外装仕上げの補修	外装材の剥がれ補修	1,860	48	1.607577735	143,525	
外壁まわり	④	縦樋破損部の補修	破損部 SUS管100φ 撤去+新設	19,230	10	1.767691116	339,927	
外壁まわり	④	軒天脱落部の補修	軒天 新設	3,820	31.52	1.767691116	212,841	
赤錆が発生している鉄骨部	④	錆止め塗装	錆止め塗料の塗布	240	300	1.607577735	115,746	
アンプ室	⑤	アンプ室への小窓の追加	SDの追加	42,473	1	1.607577735	68,278	

■ 屋内運動場改修 物価上昇比 計算表 (新営予算単価の平米単価の上昇比より計算) ※全ての工種で、最も高い数値を採用 (オレンジ塗)

分類	工種	令和4年度		令和7年度		上昇比 (令和7年度/令和4年度)	1年あたりの上昇比 (上昇比^3(年))	令和4年度から令和10年度		令和7年度から令和10年度	
		体育館 (10)	S-1	体育館 (10)	S-1			(着工予定年) までの上昇率	(着工予定年) までの上昇率	(着工予定年) までの上昇率	(着工予定年) までの上昇率
建築	地業	○		○		-	-	-	-	-	-
	躯体	117,530		138,990		1.182592	1.057495	1.398523	1.322487	1.182592	
	仕上げ	114,950		136,480		1.187299	1.058896	1.409679	1.331272	1.187299	
	その他	○		○		-	-	-	-	-	-
	小計	232,480		275,470		1.184919	1.058188	1.404033	1.326828	1.184919	
電気	電力設備	18,500		22,030		1.190811	1.059939	1.418030	1.337841	1.190811	
	受変電自家発電設備	-		-		-	-	-	-	-	
	通信設備	3,930		4,850		1.234097	1.072629	1.522995	1.419870	1.234097	
	電話交換設備	-		-		-	-	-	-	-	
	その他	○		○		-	-	-	-	-	
小計	22,430		26,880		1.198395	1.062185	1.436151	1.352073	1.198395		
機械	空気調和設備	1,760		2,340		1.329545	1.099599	1.767691	1.607578	1.329545	
	給排水衛生設備	4,700		6,210		1.321277	1.097315	1.745772	1.590949	1.321277	
	消火設備	○		○		-	-	-	-	-	
	エレベーター設備	-		-		-	-	-	-	-	
	その他	○		○		-	-	-	-	-	
小計	6,460		8,550		1.323529	1.097938	1.751730	1.595473	1.323529		
合計	261,370		310,900		1.189501	1.059551	1.414914	1.335391	1.189501		

[シート名：屋内運動場概算 明細] 物価上昇率の数値として使用 (全工種共通)

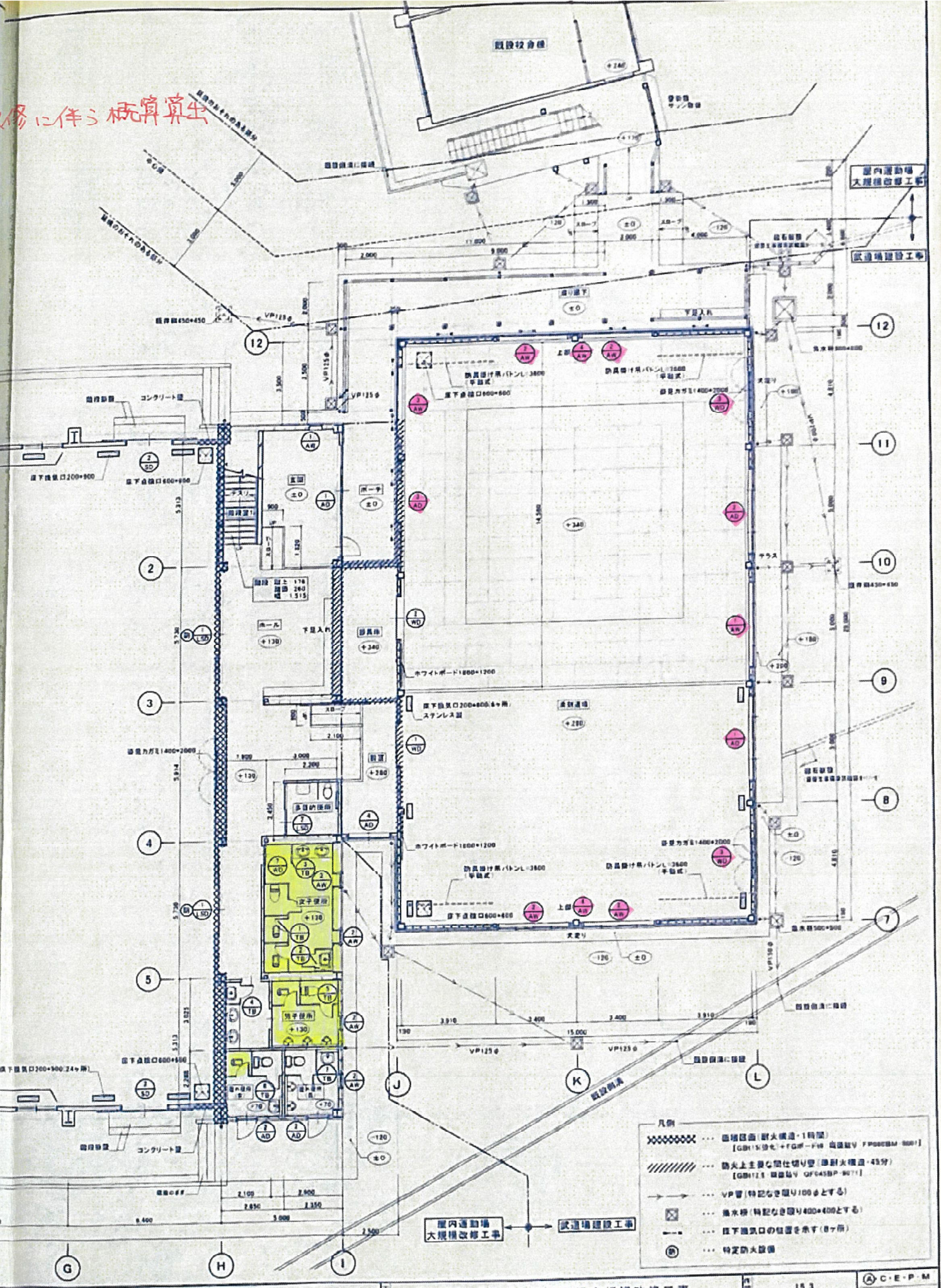
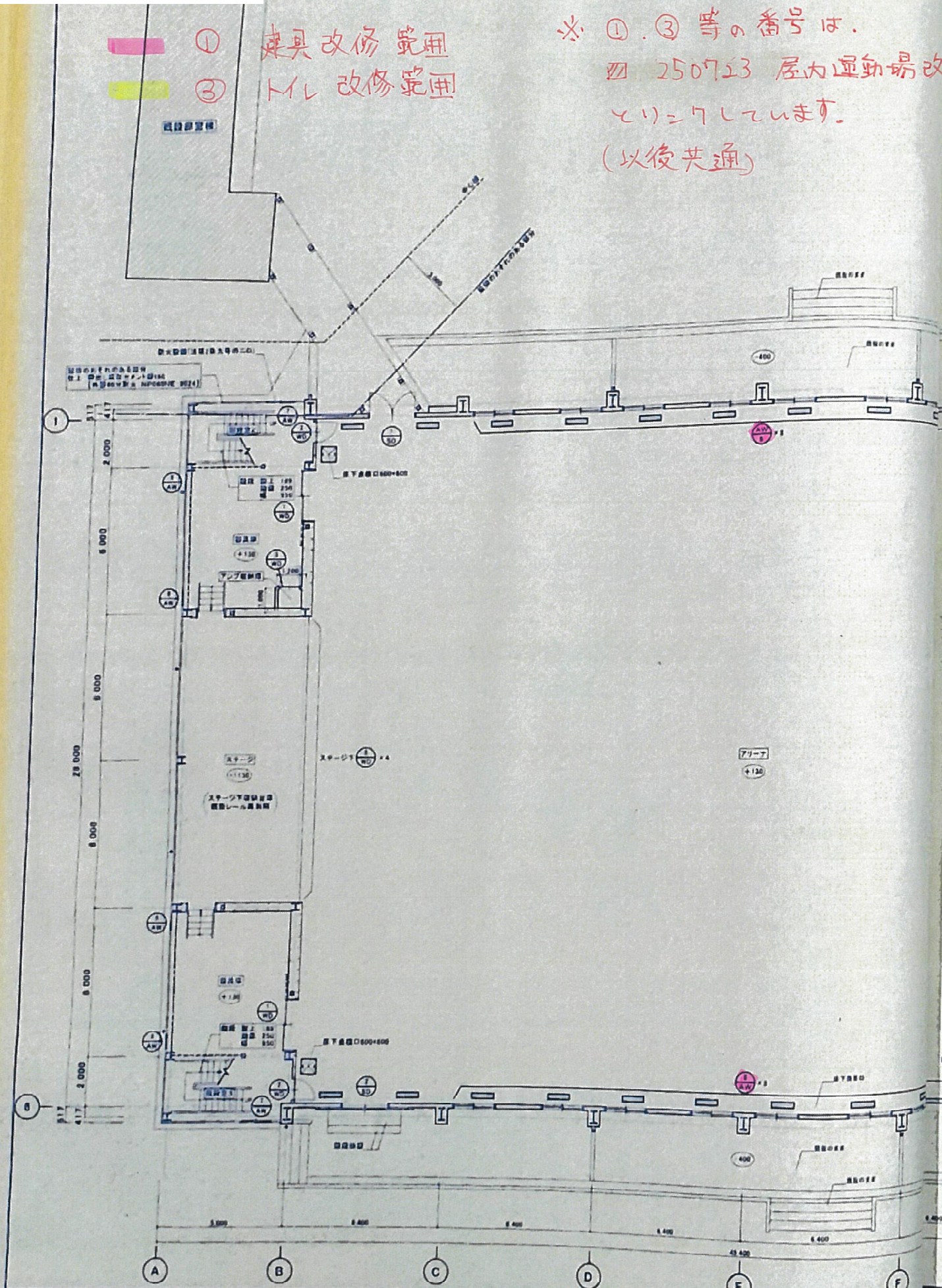
■ 新校舎 物価上昇比 計算表 (新営予算単価の平米単価の上昇比より計算) ※全ての工種で、最も高い数値を採用 (オレンジ塗)

分類	工種	令和2年度 (円/m <sup>2</sup> )	令和8年度 (円/m <sup>2</sup> )	上昇比 (令和8年度/令和2年度)	1年あたりの上昇比 (上昇比^(1/6))	5年分の上昇比 (令和5年~10年)
		庁舎 (5) RC-4	庁舎 (5) RC-4			(1年あたりの上昇比^5)
建築	地業					
	躯体	73300	101580	1.385812	1.055887	1.31
	仕上げ	68110	87510	1.284833	1.042656	1.23
	その他					
	小計	141410	189090	1.337176	1.049618	1.27
電気	電力設備	29970	42480	1.417417	1.059863	1.34
	受変電自家発電設備					
	通信設備	6750	9200	1.362963	1.052965	1.29
	電話交換設備					
	その他					
小計	36720	51680	1.407407	1.058612	1.33	
機械	空気調和設備	50940	70230	1.378681	1.054979	1.31
	給排水衛生設備	10720	15190	1.416978	1.059808	1.34
	消火設備					
	エレベーター設備					
	その他					
小計	61660	85420	1.385339	1.055827	1.31	
合計	239790	326190	1.360315	1.052624	1.29	

[シート名：概算工事費 まとめ] 物価上昇率の数値として使用 (全工種共通)

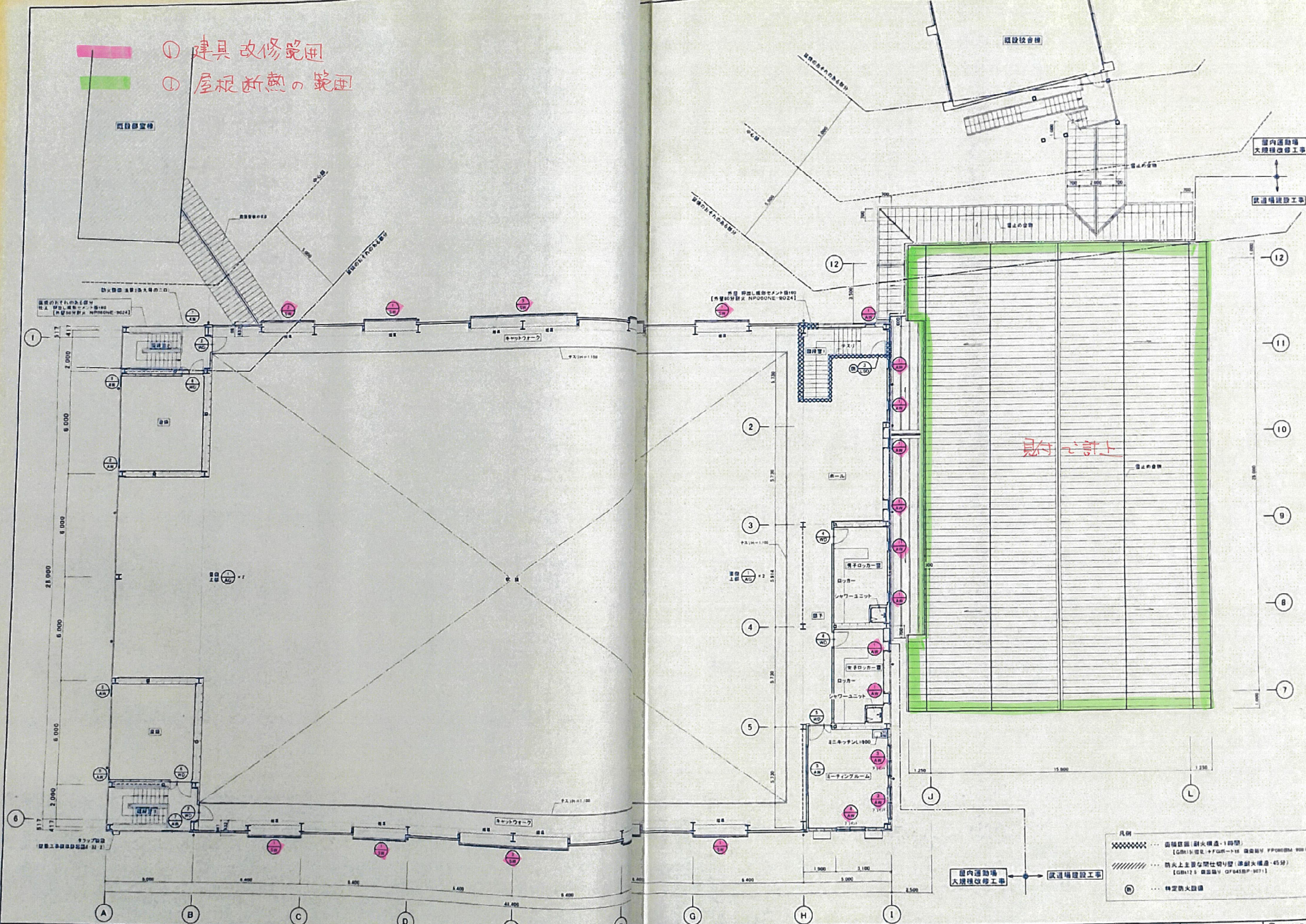
- ① 建具改修範囲
- ③ トイレ改修範囲

※ ①、③等の番号は、  
 四 250723 屋内運動場改修に伴い概算算出  
 してあります。  
 (以後共通)



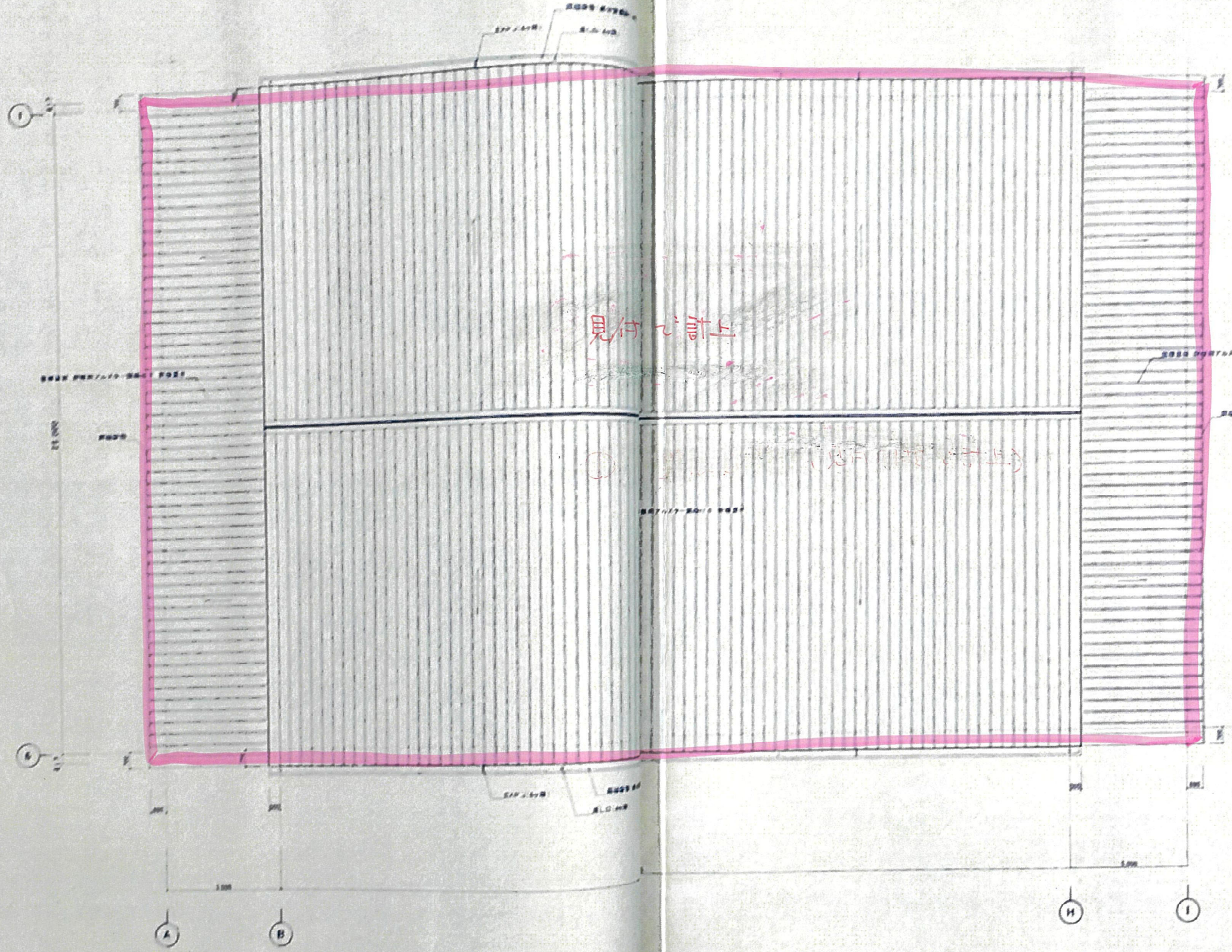
- 凡例
- XXXXXXXXX ... 階層区分(耐火構造・1時間)  
 [GBH150L+FGH-FH 高層部V F0000M 0011]
  - ////// ... 防火上主要な仕切り壁(耐火構造・45分)  
 [GBH12.8 高層部V QF045BP 0011]
  - ... VP管(特記なき限り100φとする)
  - ⊠ ... 排水栓(特記なき限り400×400とする)
  - ... 地下換気口の位置を示す(8ヶ所)
  - ⊙ ... 特定防火設備

- ① 建具改修範囲
- ② 屋根断熱の範囲



- 凡例
- XXXXXX ... 屋根断熱(耐火構造・1時間)  
【GBH15 厚さ 150mm・1.5倍 重量約 1.5kg/m<sup>2</sup>】
  - ////// ... 防火上主要な区画仕切り壁(耐火構造・45分)  
【GBH12.5 重量約 0.7kg/m<sup>2</sup>】
  - ... 特定防火設備

① 屋根断熱の範囲



設計事務所  
ARCHITECTS' OFFICE

〒400-0001 名古屋市中区 1-13-13  
 建築士事務所 電話 1338  
 建築士登録 247881 第 5 号

本校中学校屋内運動場大規模改修工事

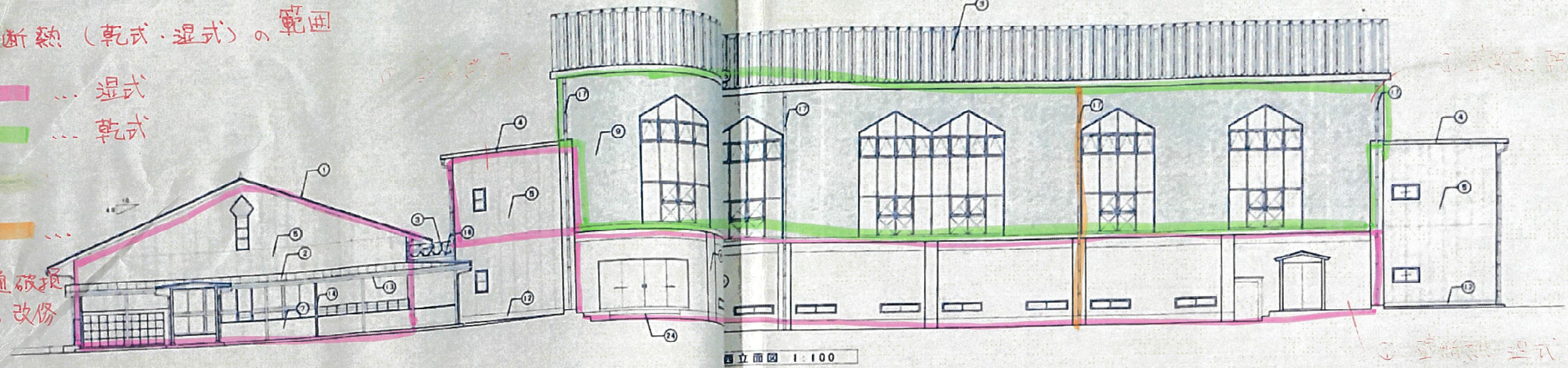
屋根伏図 1/100

15.1	14
------	----

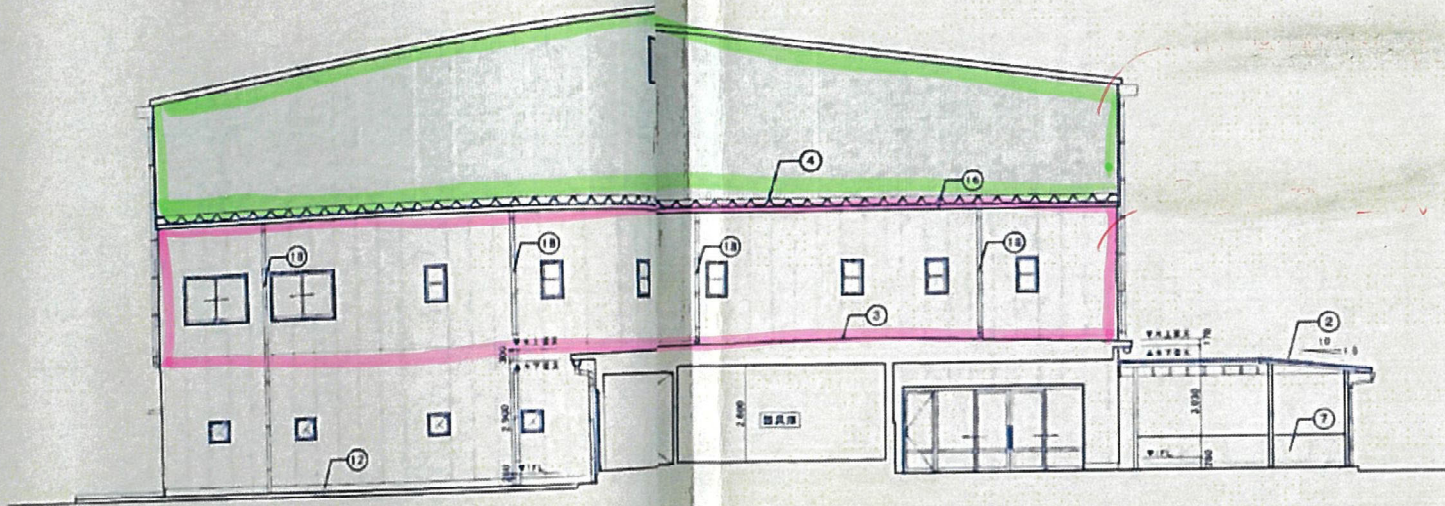
① 壁断熱 (乾式・湿式) の範囲

■ ... 湿式  
■ ... 乾式

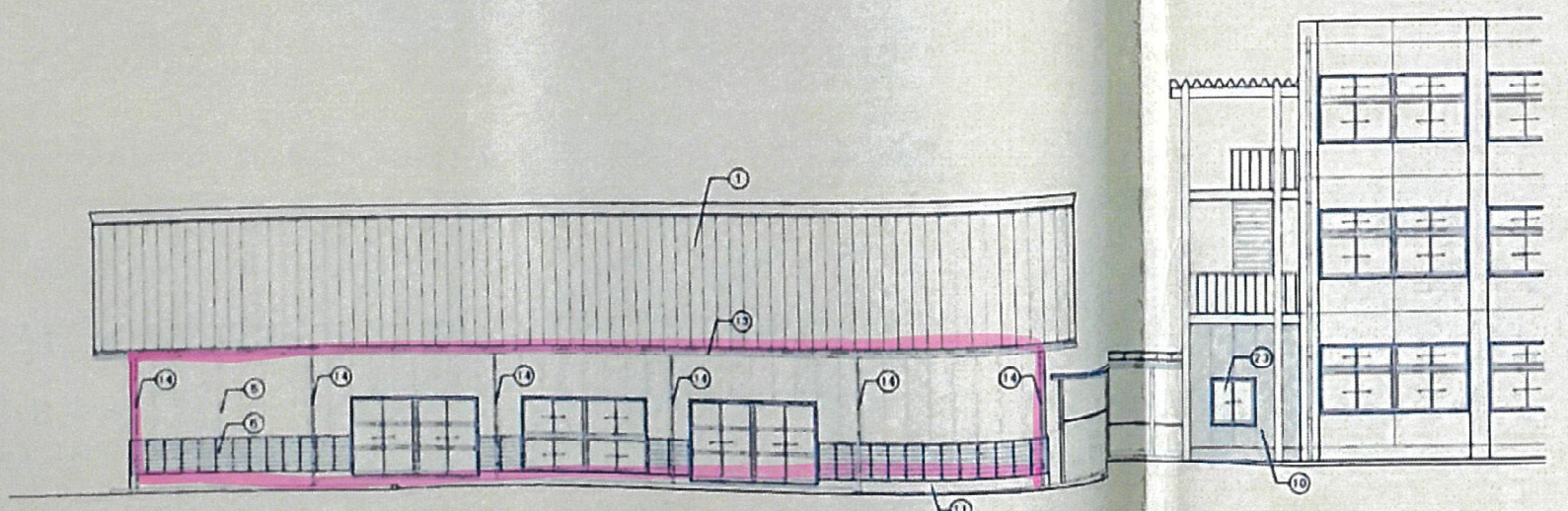
④ 壁損壊部  
の改修



西立面図 1:100



北立面図 1:100



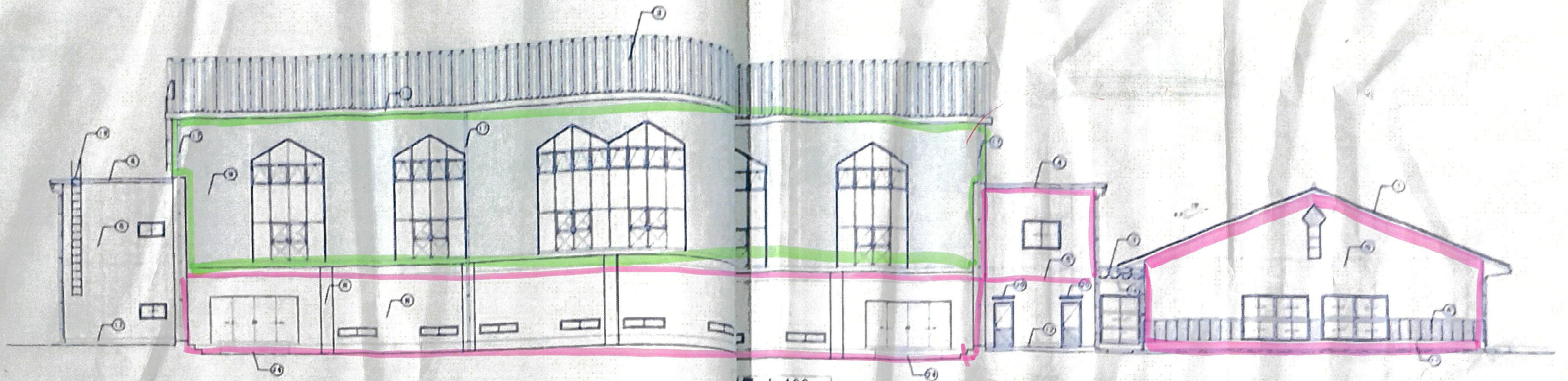
北立面図 1:100

\* 工事区分は平面図による

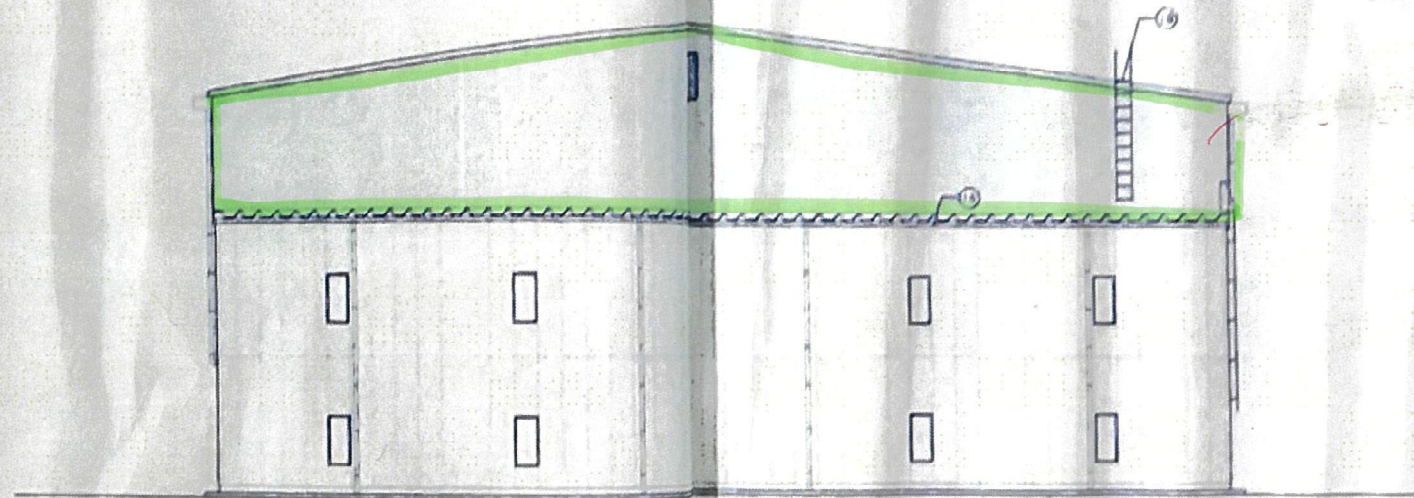
① 屋根 カラステンレス10.4 長尺瓦葺き(丸棟)	⑬ 軒樋 塩ビ(角型)住宅用
② 屋根 耐候用アルスター鋼板10.4 長尺瓦葺き(丸棟)	⑭ タテ樋 塩ビ(丸型)60φ 受け金物#1000
③ 屋根 耐候用アルスター鋼板11.0 折板葺き	⑮ 軒樋 ステンレス箱樋
④ 屋根 耐候用アルスター鋼板10.8 折板葺き	⑯ 軒樋 塩ビ(角型)折板用
⑤ 壁 押出し成形セメント板100 特殊アクリル樹脂塗膜	⑰ タテ樋 塩ビ(丸型)100φ 受け金物#1000
⑥ 壁 押出し成形セメント板112 キンラヂコール塗り 耐火塗料#450	⑱ タテ樋 塩ビ(丸型)75φ 受け金物#1000
⑦ 壁 壁 コンクリート打ちし 特殊アクリル樹脂塗膜 化粧目地	⑲ タテ樋新設 5U525φ・22φ(建築工事標準詳細#-32-2)
⑧ 壁 既設壁洗浄の上、リシン吹付17	⑳ 窓 樹脂窓 D440 * W1010
⑨ 壁 角部サイディング張り 耐候用アルスター鋼板10.5	㉑ ステンレス製下樋取口(420*170)
⑩ 壁 両面ラスモルタル塗り リシン吹付17 鉄骨下地 C-40*30*10+2.3#450	㉒ 耐候用アルスター鋼板10.8
⑪ 柱間リ モルタル継ぎ目上	㉓ 既設サッシ取替(アルミ製)
⑫ 柱間リ モルタル継ぎ目引き	㉔ 階間新設 コンクリート壁にて押さえ 塗布せよ

建築設計事務所  
ARCHITECTS' OFFICE  
〒690-0887 松江市殿町97 電話(0652)25-2222(代)  
一級建築士事務所登録 島根 1338  
一級建築士登録242983 坂本 祐三

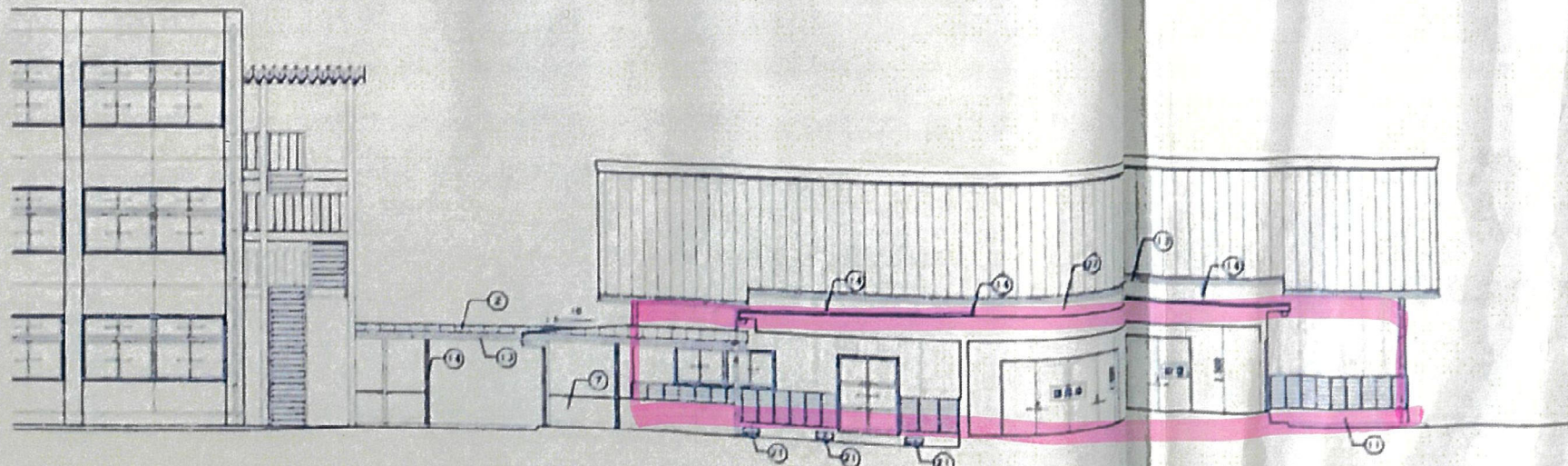
木次中学校屋内運動場大規模改修工事  
153  
A-C-E-P-M  
15  
立面図(1)  
1:100



断面図 1/100



断面図 1/100



南立面図 1/100

※ 工事区分は平面図による

1) 屋根 カウチステンレスの4 使用瓦補修(天板)	16) 断熱 塩ビ 保温 断熱用
2) 屋根 断熱用アルスター断熱材の4 使用瓦補修(天板)	17) ラーフ 塩ビ(天板) 800 使用量約11000
3) 屋根 断熱用アルスター断熱材の4 使用量約	18) 断熱 ステンレス断熱
4) 屋根 断熱用アルスター断熱材の4 使用量約	19) 断熱 塩ビ 保温 断熱用
5) 壁 押出し成形セメント1000 特殊アクリル樹脂塗料	20) ラーフ 塩ビ(天板) 1000 使用量約11000
6) 壁 押出し成形セメント1000 特殊アクリル樹脂塗料	21) ラーフ 塩ビ(天板) 750 使用量約11000
7) 壁 コンクリート打設し 特殊アクリル樹脂塗料 地盤面	22) ラーフ断熱 200x200 220 使用量約11000
8) 壁 断熱用アルスター断熱材の4 使用量約	23) 断熱 塩ビ 保温 断熱用
9) 壁 角部サイディング張り 断熱用アルスター断熱材の4	24) ステンレス保温断熱用断熱材(天板)
10) 壁 断熱用アルスター断熱材の4 使用量約	25) 断熱用アルスター断熱材の4
11) 壁 断熱用アルスター断熱材の4 使用量約	26) 断熱用アルスター断熱材の4
12) 壁 断熱用アルスター断熱材の4 使用量約	27) 断熱用アルスター断熱材の4
	28) 断熱用アルスター断熱材の4
	29) 断熱用アルスター断熱材の4
	30) 断熱用アルスター断熱材の4
	31) 断熱用アルスター断熱材の4
	32) 断熱用アルスター断熱材の4
	33) 断熱用アルスター断熱材の4
	34) 断熱用アルスター断熱材の4
	35) 断熱用アルスター断熱材の4

築設計事務所  
ARCHITECTS' OFFICE

〒650-0887 神戸市東灘区 築設計事務所  
TEL 078-242-2222 代  
FAX 078-242-2222  
〒650-0887 神戸市東灘区 築設計事務所  
TEL 078-242-2222 代  
FAX 078-242-2222

本次中学校屋内運動場大規模改修工事

立面図(2)

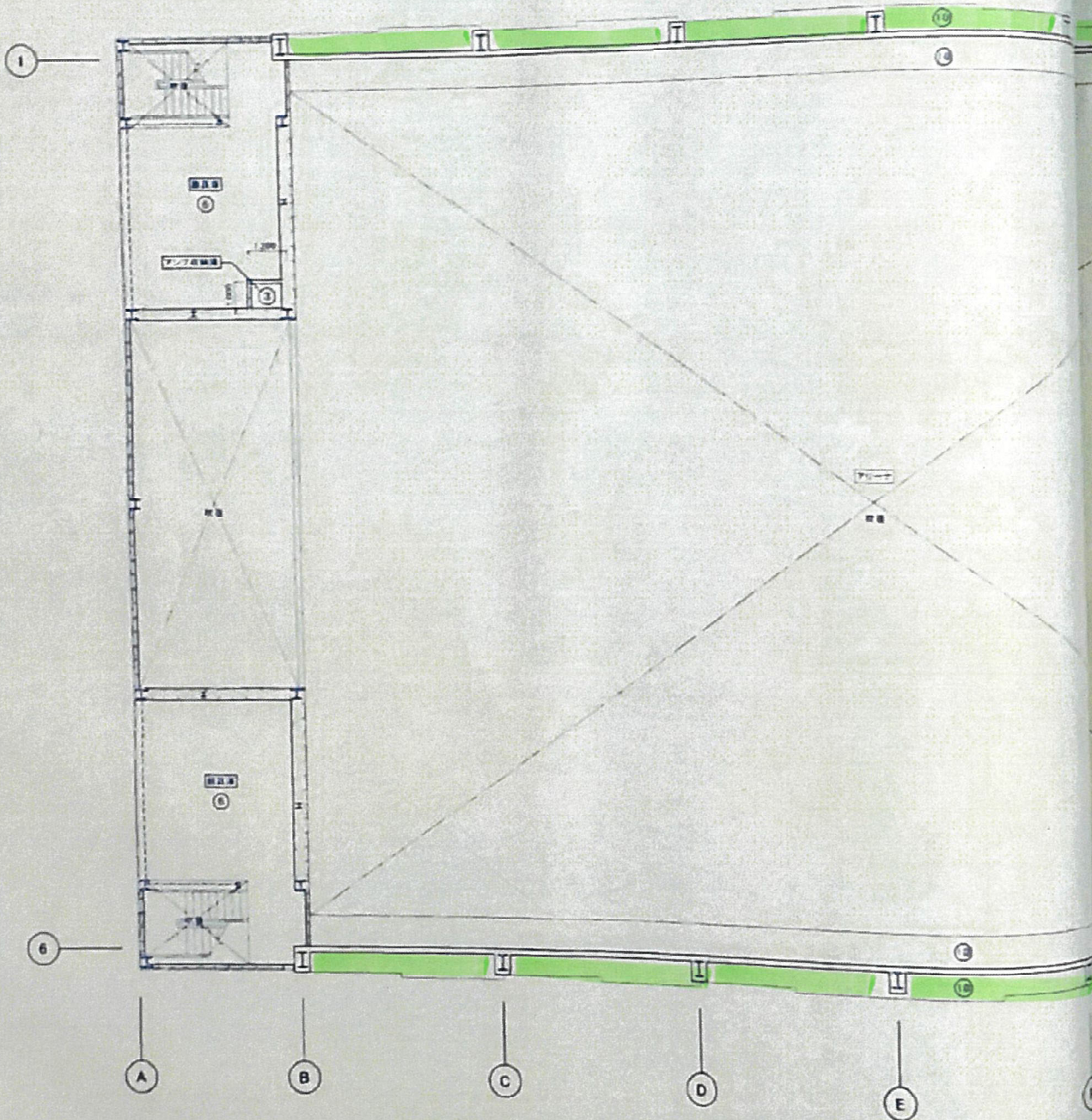
1/100

153

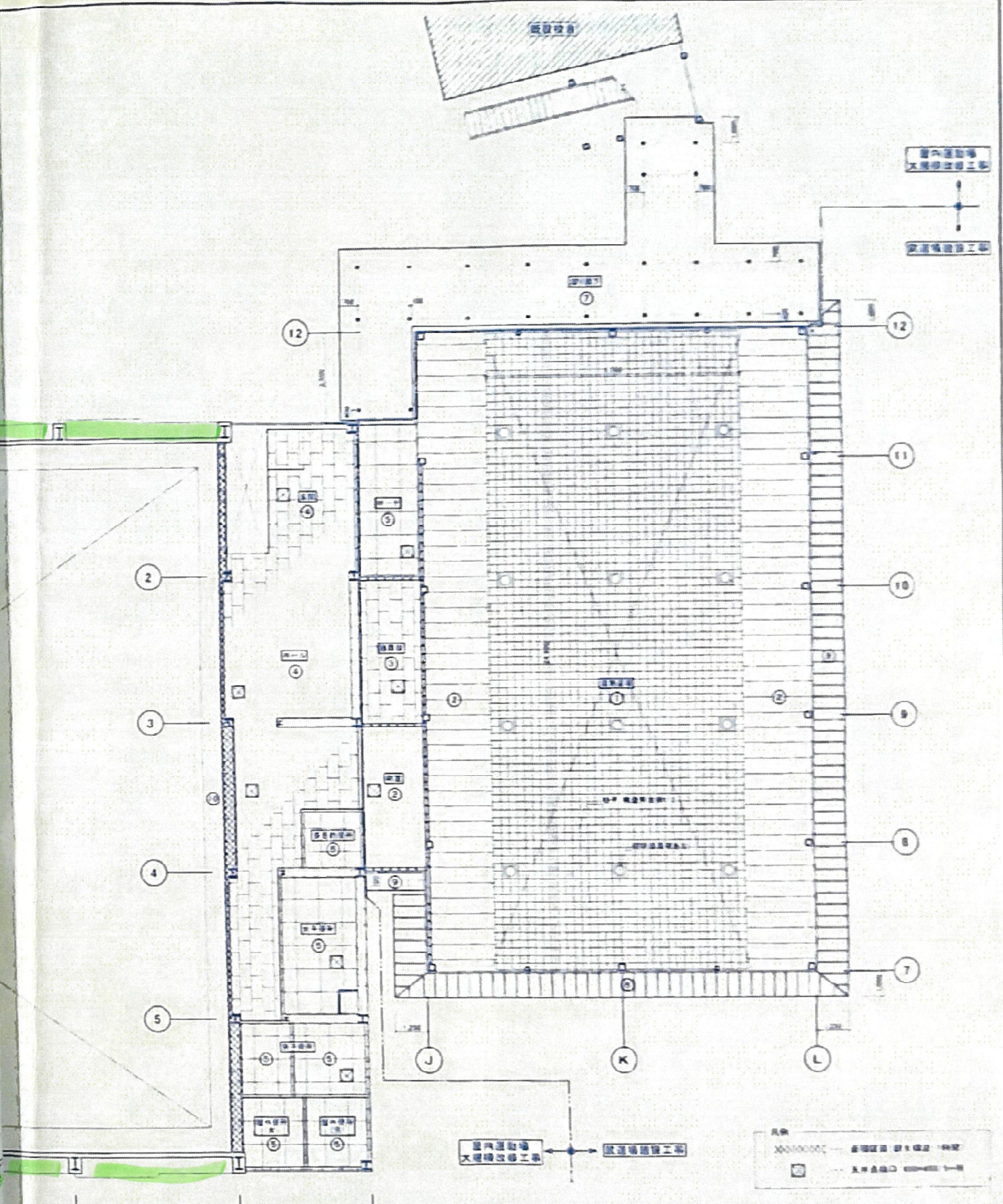
ARCHITECTS' OFFICE

18

④ 外装仕上げの補修



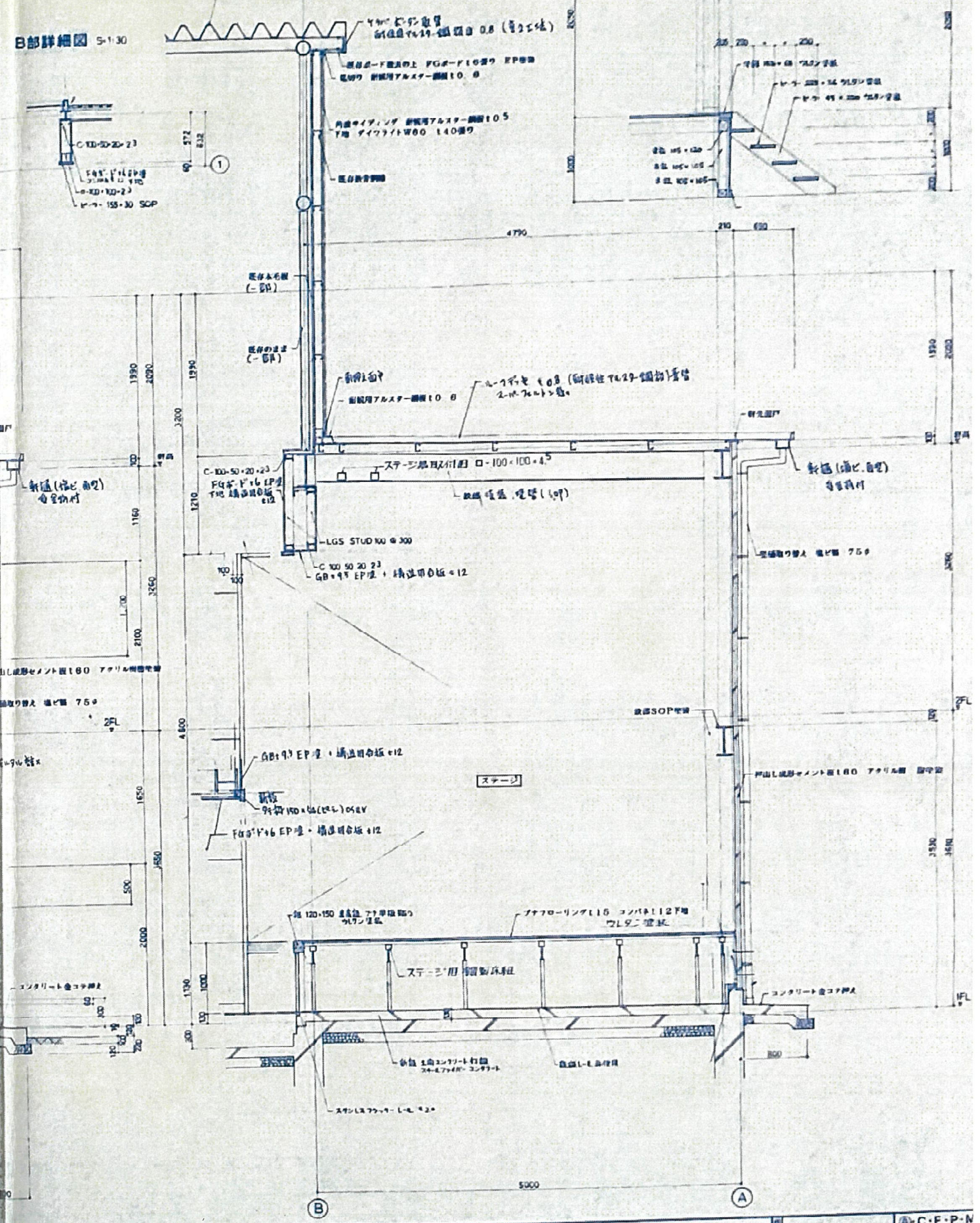
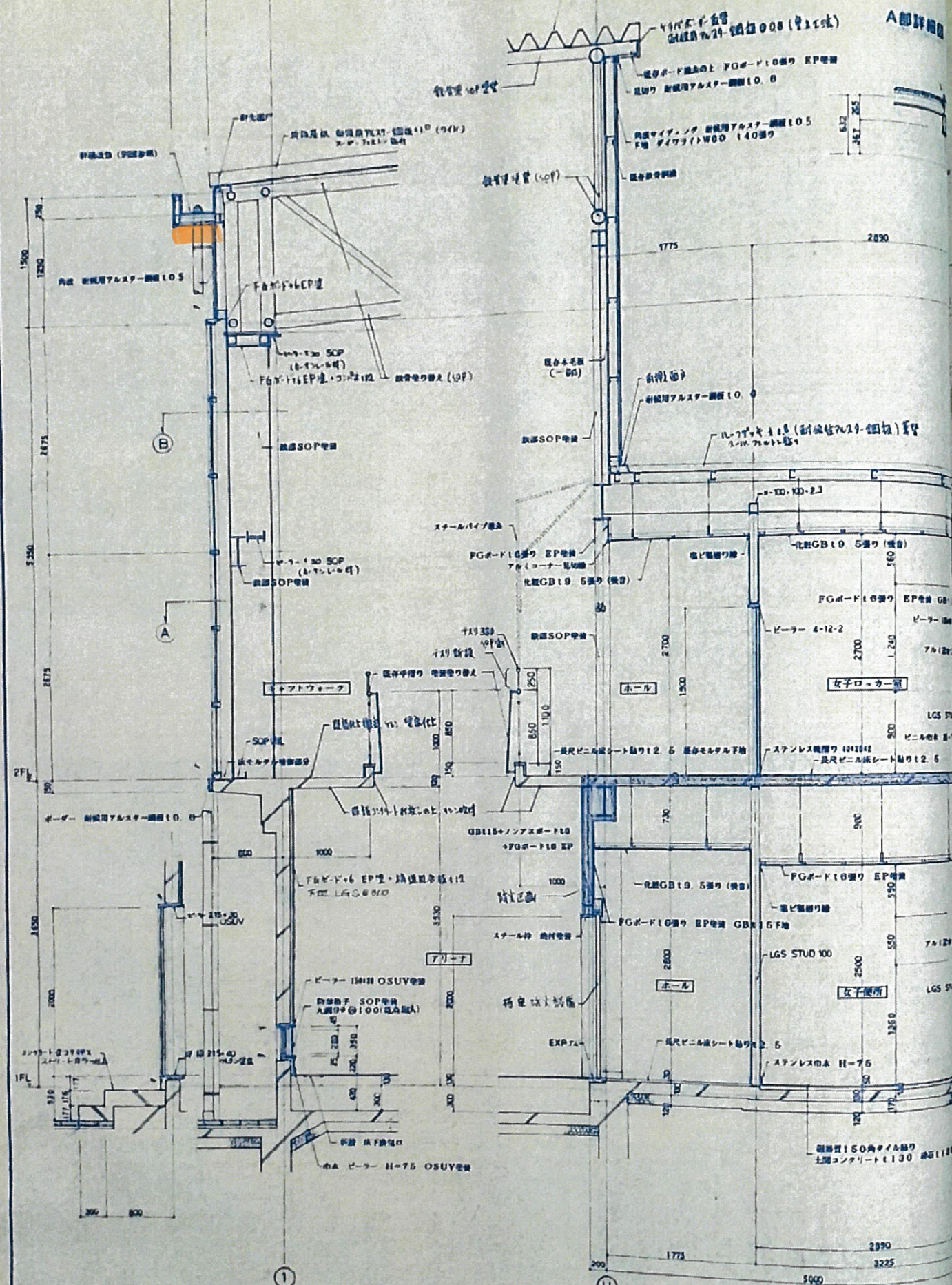
1階天井伏図 1/100



凡例  
 ○○○○○○ 基礎部分の構造  
 □ 天井開口部

1 鉄骨造り SPC 造り	7 鉄骨造り SPC 造り
2 構造用合板12 耐震壁 OSIV 準耐火	8 FGM-100 特殊アクリル樹脂塗料
3 GB 化粧仕上	9 耐震用アクリル
4 GB 化粧仕上	10 耐震用コンクリート塗料
5 FGM-100 SPC 造り	
6 コンクリート基礎	

① 軒天脱落部の補修



260130 造成数量 変更 49.9



排水溝 (389.2)

根切範囲  
(約5.60m)  
深4m

土留め (土留め70.7)

+10  
68.8

+4  
72.2

■ 造成工事 概算仕様

工種	適用	条件	数式	数量	単位	単価(円)	金額	構成比	備考	日当り作業量	作業月数	×稼働率1.8
直接仮設	仮囲い設置・撤去	丸パイプ土中打込み式H=3.0m、損料300日間分		202	m2	16,900	3,410,000	2.3%				
切土	オープン掘削(土砂)			22,400	m3	273	6,120,000	4.1%		710 m3/日	1.1ヶ月	2.0ヶ月
土留め②	切土法面整形+平ブロック張	切土勾配1:1.0、法長L=7.07m	$7.07 \text{ m}^2/\text{m} \times 10,530 \text{ 円}/\text{m}^2$	171	m	74,447	12,730,000	8.5%	山口県(土木)では、切土は下から法長1.5mをブロック張で1.5m以上は種子吹付ですが、安全側として全法長を張ブロックとしています	237 m2/日	0.2ヶ月	0.4ヶ月
残土処分	積込+運搬+処分	積込150円/m3+運搬2600円/m3+処分1500円/m3		22,400	m3	5,525	123,760,000	82.8%		510 m3/日	1.5ヶ月	2.7ヶ月
雨水排水工事	BF300、基礎砕石あり			389	m	8,840	3,440,000	2.3%		43 m/日	0.4ヶ月	0.8ヶ月
直接工事費 計							149,460,000	100.0%				
共通費	間接工事費+一般管理費等	直接工事費×80%	$149,460,000 \text{ 千円} \times 80\%$				119,570,000					
消費税	(直接工事費+共通費)×10%		$269,030,000 \text{ 千円} \times 10\%$				26,903,000					
工事費(税込み)	直接工事費+共通費+消費税						295,933,000					

■ 眺望のための森林伐採 概算仕様

		今回想定			
		数量	単位	単価	金額
伐採・集積・積込	皆伐	5,000	m2	1,950	9,750,000
伐採・集積・積込	間伐	0	m2	1,950	0
計		5,000	m2		
場外運搬	10t深箱車 運搬距離10km以下	1,250	m3	1,170	1,462,500
処分費	伐木	833	m3	7,800	6,497,400
処分費	根株	417	m3	9,100	3,794,700
処分費	竹根				
土留めブロック		200	m	74,447	14,889,420
計	税別				21,500,000
				1000m2当り	4,300,000
		1,250	m3		
	1000m2当り	250	m3		
	伐木	67%			
	根株	33%			
共通費込み (x1.8)					38,700,000
工事費 (税込み)					42,570,000

# 見 積 書

令和7年12月5日

雲南市教育委員会 御中

見積者

広島市西区楠木町四丁目14番2号  
株式会社教育施設研究所広島事務所  
執行役員所長 向井 達則

業務名：木次中学校建設事業 校舎改築 基本・実施設計業務

【延床面積】新校舎：4,257㎡、既存校舎：4,460㎡

内 訳

名 称	数量	単位	単価	計(円)	備 考
○直接人件費（基本設計）					
・ 総合（意匠）	201	人日	40,300	8,100,300	
・ 構造	47	人日	40,300	1,894,100	
・ 設備	58	人日	40,300	2,337,400	
小計（基本設計）	306	人日	40,300	12,331,800	
○諸経費	1	式		13,564,980	
○技術費	1	式		3,803,220	
<b>基本設計合計</b>	<b>1</b>	<b>式</b>		<b>29,700,000</b>	①
○直接人件費（実施設計）					
・ 総合（意匠）	402	人日	40,300	16,200,600	
・ 構造	119	人日	40,300	4,795,700	
・ 設備	153	人日	40,300	6,165,900	
・ 積算	169	人日	40,300	6,810,700	
小計（実施設計）	843	人日	40,300	33,972,900	
○諸経費	1	式		37,370,190	
○技術費	1	式		10,656,910	
○解体設計（既存校舎）	1	式		7,500,000	
<b>実施設計合計</b>	<b>1</b>	<b>式</b>		<b>89,500,000</b>	②
<b>合計</b>				<b>119,200,000</b>	①+②
<b>消費税相当額（10%）</b>				<b>11,920,000</b>	
<b>総 合 計</b>				<b>131,120,000</b>	

※日額単価は「令和7年度 設計業務委託等技術者単価 技師C」によります

【見積条件】

※業務の追加や変更等、または特別経費が発生した際は、別途見積り・精算をさせていただきます。

※本見積書の有効期限は見積書の日付から3か月以内とします。

※本見積りに追加業務は含まれておりません。

## 見 積 書

令和7年12月5日

雲南市教育委員会 御中

見積者

広島市西区楠木町四丁目14番2号  
株式会社教育施設研究所広島事務所  
執行役員所長 向井 達則

業務名：木次中学校建設事業 校舎改築 基本・実施設計業務（追加業務）

【延床面積】新校舎：4,257㎡、既存校舎：4,460㎡

内 訳

名 称	数量	単位	単価	計(円)	備 考
○直接人件費（追加業務）					
・透視図作成（外観2枚・内観3枚）	20	人日	40,300	806,000	※5カット
・省エネルギー関係計算書作成	32	人日	40,300	1,289,600	※標準入力法
・関係各署協議・議事録作成	20	人日	40,300	806,000	
・建築確認申請手続き業務	36	人日	40,300	1,450,800	
・省エネ適判申請手続き業務	26	人日	40,300	1,047,800	
・構造適判申請手続き業務	30	人日	40,300	1,209,000	
・コスト縮減検討書作成	5	人日	40,300	201,500	
・消防用設備等計画書（協議含）	25	人日	40,300	1,007,500	
・工事費概算書	4	人日	40,300	161,200	
・工事工程表作成	4	人日	40,300	161,200	
・リサイクル計画書	5	人日	40,300	201,500	
・建築関係法令調査書	10	人日	40,300	403,000	
・エコスクール・プラスの支援措置 における事業計画書の作成	30	人日	40,300	1,209,000	
小計（追加業務）	247	人日	40,300	9,954,100	
○諸経費	1	式		10,949,510	
○技術費	1	式		3,096,390	
合計				24,000,000	
消費税相当額（10%）				2,400,000	
総合計				26,400,000	

※日額単価は「令和7年度 設計業務委託等技術者単価 技師C」によります

## 【見積条件】

※業務の追加や変更等、または特別経費が発生した際は、別途見積り・精算をさせていただきます。

※本見積書の有効期限は見積書の日付から3か月以内とします。

※申請手数料は含まれておりません。

# 見 積 書

令和7年12月5日

雲南市教育委員会 御中

見積者

広島市西区楠木町四丁目14番2号  
株式会社教育施設研究所広島事務所  
執行役員所長 向井 達則

**業務名 : 木次中学校建設事業 校舎改築 工事監理・意図伝達業務**

【延床面積】新校舎 : 4,257㎡、既存校舎 : 4,460㎡

内 訳

名 称	数量	単位	単価	計(円)	備 考
○直接人件費（意図伝達）					
・ 総合（意匠）	115	人日	40,300	4,634,500	
・ 構造	29	人日	40,300	1,168,700	
・ 設備	40	人日	40,300	1,612,000	
小計（意図伝達）	184	人日	40,300	7,415,200	
○諸経費	1	式		8,156,720	
○技術費	1	式		2,328,080	
<b>意図伝達合計</b>	<b>1</b>	<b>式</b>		<b>17,900,000</b>	①
○直接人件費（工事監理）					
・ 総合（意匠）	240	人日	40,300	9,672,000	
・ 構造	51	人日	40,300	2,055,300	
・ 設備	115	人日	40,300	4,634,500	
小計（工事監理）	406	人日	40,300	16,361,800	
○諸経費	1	式		17,997,980	
○技術費	1	式		5,140,220	
○特別経費（常駐監理：16か月）	1	式		17,600,000	
<b>工事監理合計</b>	<b>1</b>	<b>式</b>		<b>57,100,000</b>	②
<b>合計</b>				<b>75,000,000</b>	①+②
<b>消費税相当額（10%）</b>				<b>7,500,000</b>	
<b>総 合 計</b>				<b>82,500,000</b>	

※日額単価は「令和7年度 設計業務委託等技術者単価 技師C」によります

**【見積条件】**

※業務の追加や変更等、または特別経費が発生した際は、別途見積り・精算をさせていただきます。

※本見積書の有効期限は見積書の日付から3か月以内とします。









# C-年度別支出計画

## ■ 木次中学校 年度別支出計画

【想定条件】  
 配置D案（グラウンド造成案）  
 構造：RC造  
 階数：3階建て

（令和8年度 算出根拠）

	㎡	工事費（税込み）		令和8年度													
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
既存校舎 解体	4,460	196,470,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
新校舎 建設（建築）	4,257	1,837,990,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
新校舎 建設（電気）	4,257	217,260,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
新校舎 建設（機械）	4,257	239,320,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
新校舎 建設（外構）	14,270	488,210,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
屋内運動場・武道場・部室棟 大規模改修工事	2,285	333,900,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
造成費用		400,060,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
基本・実施設計料		191,070,000	累計進捗							6.7%	13.3%	20.0%	26.7%	33.3%		40.0%	
			積み上げ金額							12,740,000	25,480,000	38,210,000	50,950,000	63,690,000		76,430,000	
工事監理料		97,020,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
計		4,001,300,000															令和8年度 76,430,000

基本・実施設計料  
 基本設計+実施設計（詳細図の作成）まで  
 基本・実施設計の全体業務の内、作業量を8割程度と想定  
 ↓  
 金額の8割を業務期間（12か月）で按分

■ 木次中学校 年度別支出計画

【想定条件】  
 配置D案（グラウンド造成案）  
 構造：RC造  
 階数：3階建て

（令和9年度 算出根拠）

	㎡	工事費（税込み）		令和9年度												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
既存校舎 解体	4,460	196,470,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
新校舎 建設（建築）	4,257	1,837,990,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
新校舎 建設（電気）	4,257	217,260,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
新校舎 建設（機械）	4,257	239,320,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
新校舎 建設（外構）	14,270	488,210,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
屋内運動場・武道場・部室棟 大規模改修工事	2,285	333,900,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
造成費用		400,060,000	累計進捗			1.1%	2.2%	3.3%	4.4%	5.6%	6.7%	7.8%	8.9%	10.0%		
			積み上げ金額			4,450,000	8,890,000	13,340,000	17,780,000	22,230,000	26,670,000	31,120,000	35,560,000	40,010,000		
基本・実施設計料		191,070,000	累計進捗	46.7%	53.3%	60.0%	66.7%	73.3%	80.0%	82.9%	85.7%	88.6%	91.4%	94.3%	97.1%	
			積み上げ金額	89,170,000	101,900,000	114,640,000	127,380,000	140,120,000	152,860,000	158,320,000	163,770,000	169,230,000	174,690,000	180,150,000	185,610,000	
工事監理料		97,020,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
計		4,001,300,000														令和9年度 149,190,000

基本・実施設計料  
 積算+申請業務  
 基本・実施設計の全体業務の内、作業量を2割程度と想定  
 ↓  
 設計金額の2割を業務期間（7か月）で按分

造成関係  
 ・造成設計（4000000円）を、設計期間9ヵ月で按分

■ 木次中学校 年度別支出計画

【想定条件】  
 配置D案（グラウンド造成案）  
 構造：RC造  
 階数：3階建て

（令和10年度 算出根拠）

	㎡	工事費（税込み）		令和10年度													
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
既存校舎 解体	4,460	196,470,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
新校舎 建設（建築）	4,257	1,837,990,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
新校舎 建設（電気）	4,257	217,260,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
新校舎 建設（機械）	4,257	239,320,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
新校舎 建設（外構）	14,270	488,210,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
屋内運動場・武道場・部室棟 大規模改修工事	2,285	333,900,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
造成費用		400,060,000	累計進捗				17.5%	25.0%	32.5%	40.0%	47.5%	55.0%	62.5%	70.0%	77.5%		
			積み上げ金額				70,010,000	100,020,000	130,020,000	160,020,000	190,030,000	220,030,000	250,040,000	280,040,000	310,050,000		
基本・実施設計料		191,070,000	累計進捗	100.0%													
			積み上げ金額	191,070,000													
工事監理料		97,020,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
計		4,001,300,000															令和10年度 275,500,000

■ 木次中学校 年度別支出計画

【想定条件】  
配置D案（グラウンド造成案）  
構造：RC造  
階数：3階建て

(令和11年度 算出根拠)

	㎡	工事費（税込み）		令和11年度												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
既存校舎 解体	4,460	196,470,000	累計進捗								20.0%	40.0%	60.0%	80.0%	100.0%	
			積み上げ金額								39,290,000	78,590,000	117,880,000	157,180,000	196,470,000	
新校舎 建設（建築）	4,257	1,837,990,000	累計進捗													0.0%
			積み上げ金額													670,000
新校舎 建設（電気）	4,257	217,260,000	累計進捗													0.0%
			積み上げ金額													0
新校舎 建設（機械）	4,257	239,320,000	累計進捗													0.0%
			積み上げ金額													0
新校舎 建設（外構）	14,270	488,210,000	累計進捗													※建築工事に
			積み上げ金額													
屋内運動場・武道場・部室棟 大規模改修工事	2,285	333,900,000	累計進捗													※建築工事に
			積み上げ金額													
造成費用		400,060,000	累計進捗	85.0%	92.5%	100.0%										
			積み上げ金額	340,050,000	370,060,000	400,060,000										
基本・実施設計料		191,070,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
工事監理料		97,020,000	累計進捗								4.8%	9.5%	14.3%	19.0%	23.8%	28.6%
			積み上げ金額									4,620,000	9,240,000	13,860,000	18,480,000	23,100,000
計		4,001,300,000														令和11年度 314,870,000

造成工事  
・造成工事費を工事期間（12ヵ月）で按分

解体・新校舎・改修工事  
・既存校舎 解体  
・新校舎建設（建築・電気・機械）  
※外構・屋体等改修工事は、建築工事に含む  
解体工事：金額を工期で按分  
新校舎工事：弊社実績に基づき、工事進捗（%）を算定し、各工事費と進捗（%）の積で各月の金額を算出。

工事監理  
・工事監理費を工事監理期間21ヵ月で按分

■ 木次中学校 年度別支出計画

【想定条件】  
配置D案（グラウンド造成案）  
構造：RC造  
階数：3階建て

（令和12年度 算出根拠）

	㎡	工事費（税込み）	令和12年度														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
既存校舎 解体	4,460	196,470,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
新校舎 建設（建築）	4,257	1,837,990,000	累計進捗	0.4%	2.1%	5.2%	8.9%	14.2%	20.2%	25.0%	30.8%	37.6%	47.7%	57.9%	72.0%		
			積み上げ金額	10,850,000	54,800,000	137,790,000	235,860,000	377,730,000	537,870,000	665,560,000	818,250,000	1,000,200,000	1,268,160,000	1,541,260,000	1,915,800,000		
新校舎 建設（電気）	4,257	217,260,000	累計進捗	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	1.3%	4.0%	6.4%	9.1%	15.7%	25.5%	49.6%	72.3%		
			積み上げ金額	0	0	0	144,840	2,867,832	8,646,948	13,977,060	19,770,660	34,109,820	55,328,880	107,760,960	157,151,400		
新校舎 建設（機械）	4,257	239,320,000	累計進捗	1.3%	10.4%	14.1%	21.7%	26.6%	29.5%	31.4%	34.6%	41.3%	56.5%	66.6%	79.3%		
			積み上げ金額	3,190,000	24,890,000	33,820,000	51,850,000	63,660,000	70,520,000	75,110,000	82,900,000	98,920,000	135,140,000	159,390,000	189,700,000		
新校舎 建設（外構）	14,270	488,210,000	累計進捗	含む													
			積み上げ金額														
屋内運動場・武道場・部室棟 大規模改修工事	2,285	333,900,000	累計進捗	含む													
			積み上げ金額														
造成費用		400,060,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
基本・実施設計料		191,070,000	累計進捗														
			積み上げ金額														
工事監理料		97,020,000	累計進捗	33.3%	38.1%	42.9%	47.6%	52.4%	57.1%	61.9%	66.7%	71.4%	76.2%	81.0%	85.7%		
			積み上げ金額	32,340,000	36,960,000	41,580,000	46,200,000	50,820,000	55,440,000	60,060,000	64,680,000	69,300,000	73,920,000	78,540,000	83,160,000		
計		4,001,300,000															令和12年度 2,317,420,000

■ 木次中学校 年度別支出計画

【想定条件】  
 配置D案（グラウンド造成案）  
 構造：RC造  
 階数：3階建て

（令和13年度 算出根拠）

	㎡	工事費（税込み）		令和13年度												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
既存校舎 解体	4,460	196,470,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
新校舎 建設（建築）	4,257	1,837,990,000	累計進捗	82.0%	95.1%	100.0%										
			積み上げ金額	2,181,810,000	2,529,760,000	2,660,100,000										
新校舎 建設（電気）	4,257	217,260,000	累計進捗	87.1%	99.0%	100.0%										
			積み上げ金額	189,305,880	215,087,400	217,260,000										
新校舎 建設（機械）	4,257	239,320,000	累計進捗	87.5%	94.0%	100.0%										
			積み上げ金額	209,480,000	224,960,000	239,320,000										
新校舎 建設（外構）	14,270	488,210,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
屋内運動場・武道場・部室棟 大規模改修工事	2,285	333,900,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
造成費用		400,060,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
基本・実施設計料		191,070,000	累計進捗													
			積み上げ金額													
工事監理料		97,020,000	累計進捗	90.5%	95.2%	100.0%										
			積み上げ金額	87,780,000	92,400,000	97,020,000										
計		4,001,300,000														令和13年度 867,890,000